

**長久手市公共施設等総合管理計画**  
**<資料編>**

**平成 30 年 3 月改訂**  
**長久手市**

# 目次

## 【長久手市公共施設カルテ】

施設カルテの見方	2
<b>1. 学校教育施設</b>	<b>6</b>
<b>1. 1. 小学校</b>	<b>6</b>
長久手小学校	6
西小学校	7
東小学校	8
北小学校	9
南小学校	10
市が洞小学校	11
<b>1. 2. 中学校</b>	<b>12</b>
長久手中学校	12
南小学校	13
北小学校	14
<b>1. 3. その他学校教育施設</b>	<b>15</b>
長久手給食センター	15
<b>2. 保健・福祉施設</b>	<b>16</b>
<b>2. 1. 高齢福祉施設</b>	<b>16</b>
福祉の家	16
高齢者生きがいセンター	17
茜中規模老人憩の家	18
楓小規模老人憩の家	19
中規模老人憩の家椿荘	20
色金小規模老人憩の家	21
中規模老人憩の家永和荘	22
睦小規模老人憩の家	23
中規模老人憩の家さつき荘	24
<b>2. 2. 保健施設</b>	<b>25</b>
保健センター	25
<b>3. 産業施設</b>	<b>26</b>
<b>3. 1. 農業施設</b>	<b>26</b>

田園バレー交流施設 .....	26
農産物集出荷場 .....	27
農村環境改善センター .....	28

#### **4. 市民文化施設** **29**

##### **4. 1. 集会施設** **29**

長久手交流プラザ .....	29
まちづくりセンター .....	30
西小校区共生ステーション .....	31
向畑集会所 .....	32
色金集会所 .....	33
白針集会所 .....	34
先達集会所 .....	35
北浦集会所 .....	36
三ヶ峯集会所 .....	37
西ノ根集会所 .....	38
桜作集会所 .....	39
久保山集会所 .....	40
打越集会所 .....	41
下山集会所 .....	42
上川原集会所 .....	43
山野田集会所 .....	44
城屋敷集会所 .....	45
長配三丁目集会所 .....	46
丁子田集会所 .....	47
井堀熊田集会所 .....	48
長久手集会所（パークサイドヒルズ） .....	49
ほとぎの里交流館 .....	50

##### **4. 2. 文化施設** **51**

文化の家 .....	51
------------	----

#### **5. スポーツ・レクリエーション施設** **52**

##### **5. 1. スポーツ施設** **52**

杵ヶ池体育館 .....	52
市民野球場 .....	53
スポーツの杜 .....	54
和弓場 .....	55

<b>6. 行政施設</b>	<b>56</b>
<b>6. 1. 庁舎等</b>	<b>56</b>
市役所 .....	56
<b>6. 2. 消防施設</b>	<b>57</b>
消防本部 .....	57
<b>6. 3. 清掃施設</b>	<b>58</b>
清掃センター .....	58
<b>6. 4. 防災・防犯施設</b>	<b>59</b>
セーフティステーション .....	59
西部防災倉庫 .....	60
南部防災倉庫 .....	61
<b>7. 社会教育施設</b>	<b>62</b>
<b>7. 1. 図書館</b>	<b>62</b>
中央図書館 .....	62
<b>7. 2. 博物館等</b>	<b>63</b>
長久手古戦場野外活動施設 .....	63
<b>7. 3. その他社会教育施設</b>	<b>64</b>
色金山歴史公園茶室 .....	64
平成こども塾 .....	65
<b>8. 子育て支援施設</b>	<b>66</b>
<b>8. 1. 児童館</b>	<b>66</b>
青少年児童センター .....	66
児童福祉センター（上郷児童館） .....	67
長久手西児童館 .....	68
下山児童館 .....	69
長久手南児童館 .....	70
交通児童遊園 .....	71
<b>8. 2. 保育園</b>	<b>72</b>
上郷保育園 .....	72
色金保育園 .....	73
長湫東保育園 .....	74
長湫西保育園 .....	75
長湫北保育園 .....	76
長湫南保育園 .....	77
市が洞保育園・市が洞児童館 .....	78

<b>8. 3. 学童保育所</b>	<b>79</b>
長久手学童保育所 .....	79
長久手長南学童保育所.....	80
長久手北学童保育所 .....	81
市が洞学童保育所 .....	82
<b>9. その他</b>	<b>83</b>
<b>9. 1. 駐輪場</b>	<b>83</b>
杵ヶ池公園駅第1自転車等駐車場.....	83

## 【長久手市の公共施設のあり方に関するアンケート調査結果報告書】

<b>1. アンケート調査の概要</b>	<b>86</b>
(1) 調査の目的 .....	86
(2) 実施状況.....	86
<b>2. アンケートの回収票の信頼性</b>	<b>87</b>
<b>3. 有効回答数</b>	<b>88</b>
<b>4. 集計結果</b>	<b>88</b>
(1) 回答者属性.....	88
(2) 公共施設の利用実態について .....	91
(3) 今後の公共施設のあり方について.....	95

## 【長久手市公共施設等に関する市民からの提言について】

### (平成 29 年度公共施設のあり方検討市民ワーキング開催結果)

<b>1. 公共施設のあり方検討市民ワーキングの概要</b>	<b>149</b>
<b>2. 公共施設に関する提言（ワーキングのまとめ）</b>	<b>153</b>
<b>3. 各回開催結果（ニュースレター）</b>	<b>157</b>

<本資料について>

- 本資料は、長久手市公共施設等総合管理計画の策定及び改訂にあたり、公共施設の状況を収集・更新した『長久手市公共施設カルテ』、市民の実態把握を行った『長久手市の公共施設のあり方に関するアンケート調査結果報告書』、市民に公共施設について考えてもらうために行ったワークショップの結果を取りまとめた『長久手市公共施設等に関する市民からの提言について』及び『財務シミュレーション』を、別冊資料編として取りまとめたものです。
- 施設カルテは、長久手市公共施設等総合管理計画の対象施設のうち公共施設について、施設概要や施設コスト、資産構成などを、施設ごとにまとめたものです。
- 施設カルテのデータは原則として、平成 29 年 3 月 31 日（平成 28 年度末）現在の情報を掲載しています。
- 施設カルテは調査時点以降の施設の増減等を加味していないため、現時点の情報と一致しない場合があります。

# 長久手市公共施設カルテ

施設名称を記載しています。

**施設名称： 長久手小学校**

平成28年度決算における、当該施設に投じたコスト（施設費用、事業関連費用）及び当該施設に対する資本的支出を記載しています。

施設の現況写真です。

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	8,042
	維持管理費 物件費	25,860
	維持管理費 経費	105
	減価償却費	25,750
	維持補修費	5,571
施設費用 合計		65,327
事業関連費用	サービス人件費	12,442
	サービス物件費	15,402
	サービス経費	3,431
事業関連費用 合計		31,275
費用合計		96,602
資本的支出		

当該施設に属する資産を取得した際の、債務残高を記載しています。

**施設概要**

施設の概要を記載しています。

所在地	岩作中縄手40番地1		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	小学校
主管課	教育総務課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	5862㎡
建築年度	昭和44年度	棟数	6
耐用年数	47年	稼働年数	47年
建物取得価額等	1,385,354千円	建物減価償却累計額	1,109,258千円
管理形態	直営	建物減価償却率	80.07%
土地の所有	市	利用対象者数	607人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	3	40	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	交流プラザ南	岩作組合前
	徒歩18分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:20~16:50	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	43	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	60,176	81,700	0	141,876

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手小学校用地	土地	752,024	752,024
校舎北東	建物	282,725	0
校舎北西	建物	292,400	9,357
校舎南東	建物	191,995	31,487
校舎南西	建物	238,005	54,741
体育館	建物	252,310	58,031
倉庫	建物	15,015	9,610
プール	工作物	105,602	26,634

当該施設に属する市有の土地、建物及び工作物（一部施設は機械器具も記載）の明細表です。期末簿価は、平成28年度末時点における資産の簿価（残存価値）を示しています。

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
電気保安設備改修工事	建物付属設備	1,473	1,374
階段手摺取付工事	建物	987	965
特別支援学級アコースティックドア設置工事	建物	567	555
バリアフリー改修工事	建物	100,601	100,601
バリアフリー改修附帯工事	建物	10,749	10,749

当該施設に属する市有の建物及び工作物（一部施設は機械器具も記載）に対する、資本的支出（当該資産の価値を高め、または耐久性を増すこと）の明細表です。期末簿価は、平成28年度末時点における資産の簿価（残存価値）を示しています。

**備考**

- ・ H25 トイレ改修
- ・ H26 体育館非構造部材耐震化
- ・ H27 手すり設置
- ・ H28 EV2基、スロープ設置
- ・ H28 バリアフリー改修

施設カルテ調査時点以降の情報や施設概要の注釈等、補足となる情報を記載しています。



## 施設カルテ 主な項目の説明

### ◆施設概要

#### ・主管課

… 当該施設を管理している主管課を記載しています。

#### ・建築年度、延床面積、主たる構造、棟数

… 固定資産台帳を基に、主たる施設の建築年度、延床面積、主たる構造及び棟数を記載しています。

#### ・管理形態

… 施設の管理形態を記載しています。凡例は次のとおりです。

直営	…	施設管理を全て職員が行っている状態
一部委託	…	施設管理の一部を委託により行っている状態
委託	…	施設管理を委託により行っている状態
指定管理	…	施設管理を指定管理により行っている状態
民営	…	施設管理を市以外が行っている状態

#### ・土地の所有

… 施設敷地の土地の所有を記載しています。凡例は次のとおりです。

市	…	敷地の全ての土地を市が所有している状態
一部民間	…	敷地の一部を、民間からの借地により使用している状態
民間	…	敷地の全部を、民間からの借地により使用している状態

#### ・利用人数

… 施設を利用する人数を記載しています。利用実態が不明な場合は、「不明」と記載しています。なお、施設類型により、利用対象者数及び延利用者数のいずれかに区分するものとし、考え方は次のとおりとしています。

【利用人数の考え方】	
(ア) 利用対象者を尺度とする施設	
…	施設利用の主対象がほぼ限られている施設 (各小中学校、各保育園)
(イ) 延利用者数を尺度とする施設	
…	不特定多数の市民等が利用することができる施設

- ・ 駐車場
  - … 来客用・運営用の別に記載しています。なお、来客用と運営用の区分がない場合には、内数となる台数をカッコ書きで記載しています。
  
- ・ アクセス
  - … 各施設の所在地、地区及び交通アクセス（リニモ、N-バス、名鉄バス）を記載しています。なお、各交通手段の徒歩圏内の目安は概ね 30 分以内とし、30 分を超過する場合には「-」を記載しています。
  
- ・ 運営人数
  - … 施設を運営する人数を記載しています。記載範囲は次のとおりです。
 

職員	… 正職員、嘱託職員、臨時的任用職員
教員	… 教員、講師等
委託従事者	… 受託業者（指定管理）が直接雇用し、かつ当該施設において業務を実施させている者
  
- ・ 施設稼働率
  - … 貸館施設ごとの利用率を記載しています。
  
- ・ 耐震化状況
  - … 主たる建築物における、耐震化への適合状況を記載しています。凡例は次のとおりです。
 

耐震基準	… 新耐震基準に適合している。なお、耐震補強の結果、新耐震基準に適合した場合も含まれます。
耐震補強実施	… 旧耐震基準に適合し、耐震補強を実施している。
耐震診断実施	… 旧耐震基準に適合し、耐震診断を実施している。
  
- ・ 防災
  - ① 避難所指定
    - … 避難所の指定状況を記載しています
  - ② 代替電源設備
    - … 外部からの電源供給が途絶えた場合の代替電源設備の設置状況を記載しています。
  - ③ 備蓄倉庫
    - … 防災備蓄倉庫の設置状況を記載しています。
  - ④ 冷暖房設備

… 冷暖房設備（業務用・家庭用問わず）の設置状況を記載しています。

⑤調理設備

… 調理設備（業務用・家庭用問わず）の設置状況を記載しています。

・バリアフリー

… バリアフリー設備の設置状況を記載しています。

・環境配慮

①建物緑化

… 建物緑化の状況を記載しています。建物緑化については、屋上緑化及び壁面緑化を行っている場合には「○」としています。ただし、夏季におけるグリーンカーテン等、常設でない壁面緑化は対象外としています。

②太陽光発電設備、自然エネルギー設備、雨水利用設備

… 環境配慮設備（太陽光発電設備、自然エネルギー設備、雨水利用設備）の設置状況を記載しています。

◆ 債務残高

・地方債

… 各施設に係る地方債の状況について、期首残高及び期中増減を記載しています。

## 施設名称：長久手小学校

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	8,007
	維持管理費 物件費	25,860
	維持管理費 経費	105
	減価償却費	25,750
	維持補修費	5,571
施設費用 合計		65,293
事業関連費用	サービス人件費	12,442
	サービス物件費	15,402
	サービス経費	3,431
事業関連費用 合計		31,275
費用合計		96,568
資本的支出		111,351

### 施設概要

所在地	岩作中縄手40番地1		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	小学校
主管課	教育総務課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	5862㎡
建築年度	昭和44年度	棟数	6
耐用年数	47年	稼働年数	47年
建物取得価額等	1,385,354千円	建物減価償却累計額	1,109,258千円
管理形態	直営	建物減価償却率	80.07%
土地の所有	市	利用対象者数	607人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	3	40	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	交流プラザ南	岩作組合前
	徒歩18分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:20~16:50	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	43	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	60,176	81,700	0	141,876

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手小学校用地	土地	752,024	752,024
校舎北東	建物	282,725	0
校舎北西	建物	292,400	9,357
校舎南東	建物	191,995	31,487
校舎南西	建物	238,005	54,741
体育館	建物	252,310	58,031
倉庫	建物	15,015	9,610
プール	工作物	105,692	26,634

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
電気保安設備改修工事	建物付属設備	1,473	1,374
階段手摺取付工事	建物	987	965
特別支援学級アコーディオンドア設置工事	建物	567	555
バリアフリー改修工事	建物	100,601	100,601
バリアフリー改修附帯工事	建物	10,749	10,749

### 備考

・H25 トイレ改修
・H26 体育館非構造部材耐震化
・H27 手すり設置
・H28 EV2基、スロープ設置
・H28 バリアフリー改修

# 施設名称：西小学校

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	4,620
	維持管理費 物件費	25,074
	維持管理費 経費	105
	減価償却費	29,438
	維持補修費	6,369
施設費用 合計		65,605
事業関連費用	サービス人件費	15,585
	サービス物件費	15,095
	サービス経費	4,960
事業関連費用 合計		35,640
費用合計		101,245
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	打越901番地		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	小学校
主管課	教育総務課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	6118㎡
建築年度	昭和51年度	棟数	6
耐用年数	47年	稼働年数	40年
建物取得価額等	1,332,174千円	建物減価償却累計額	1,146,656千円
管理形態	直営	建物減価償却率	86.07%
土地の所有	市	利用対象者数	497人
複合施設(機能)	放課後子ども教室		
	直営		
駐車場	来客用	運営用	
	6	32	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	久保山	長久手口
	徒歩5分	徒歩3分	徒歩2分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:25~16:55	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	28	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
-			

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	57,814	0	0	57,814

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
西小学校用地	土地	1,818,721	1,818,721
校舎北	建物	717,455	86,095
校舎南	建物	355,610	66,143
体育館	建物	230,460	32,725
倉庫	建物	7,942	0
揚水場	建物	3,975	0
揚水場	建物	16,165	0
プール	工作物	90,477	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
特別支援学級アコーディオンドア設置工事	建物	567	555

## 備考

・H25 トイレ改修
・H26 体育館非構造部材耐震化

## 施設名称： 東小学校

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	3,350
	維持管理費 物件費	20,607
	維持管理費 経費	105
	減価償却費	30,764
	維持補修費	6,655
施設費用 合計		61,481
事業関連費用	サービス人件費	11,499
	サービス物件費	10,803
	サービス経費	3,142
事業関連費用 合計		25,444
費用合計		86,925
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	前熊前山174番地		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	小学校
主管課	教育総務課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	4071㎡
建築年度	昭和55年度	棟数	4
耐用年数	47年	稼働年数	36年
建物取得価額等	1,248,588千円	建物減価償却累計額	711,761千円
管理形態	直営	建物減価償却率	57.01%
土地の所有	市	利用対象者数	238人
複合施設(機能)	放課後子ども教室	児童クラブ	
	直営	直営	
駐車場	来客用	運営用	
	6	27	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	改善センター	長久手福祉の家
	徒歩15分	徒歩3分	徒歩13分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:20~16:50	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	23	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	374,006	0	0	374,006

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
東小学校用地	土地	662,400	662,400
校舎	建物	660,480	137,380
校舎(増築)	建物	346,939	339,307
体育館	建物	211,600	44,013
倉庫	建物	10,880	598
倉庫	建物	2,978	164
プール	工作物	84,810	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
コンピューター室移設工事	建物	2,268	2,218
既存校舎バリアフリー工事	建物	10,418	10,189
既存校舎都市ガス引込工事	建物付属設備	30,622	28,570
放課後子ども教室開設準備工事	建物	3,024	2,957

### 備考

- ・H26・27増築工事に合わせて、障害者対応EV設置
- ・H27.9に「人にやさしい街づくり条例」適合(加7-、手すり、点字ブロック設置)

# 施設名称：北小学校

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	7,656
	維持管理費 物件費	28,449
	維持管理費 経費	116
	減価償却費	38,345
	維持補修費	8,296
施設費用 合計		82,861
事業関連費用	サービス人件費	13,466
	サービス物件費	15,643
	サービス経費	3,962
事業関連費用 合計		33,071
費用合計		115,933
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	池田77番地		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	小学校
主管課	教育総務課	地区	北小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7806㎡
建築年度	昭和58年度	棟数	8
耐用年数	47年	稼働年数	33年
建物取得価額等	1,661,960千円	建物減価償却累計額	827,478千円
管理形態	直営	建物減価償却率	49.79%
土地の所有	市	利用対象者数	861人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	5	47	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	落合	草掛
	徒歩15分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:25~16:55	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	50	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	266,110	0	10,029	256,081

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
北小学校用地	土地	829,171	829,171
旧校舎東	建物	673,985	184,672
旧校舎西	建物	241,500	156,492
新校舎	建物	362,370	314,537
体育館	建物	249,080	73,728
渡り廊下	建物	20,514	16,452
倉庫	建物	7,777	311
配膳室	建物	5,036	4,130
揚水場	建物	16,312	652
プール	工作物	86,959	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
屋内運動場非構造部材等耐震化工事	建物	63,957	62,550
トイレ改修工事	建物	17,246	16,867
トイレ改修工事	建物付属設備	17,415	16,249
階段手摺取付工事	建物	4,183	4,091

## 備考

- ・H26、H27 トイレ改修
- ・H27 体育館改修
- ・H27 手すり設置

## 施設名称：南小学校

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	4,826
	維持管理費 物件費	28,789
	維持管理費 経費	105
	減価償却費	43,497
	維持補修費	9,410
施設費用 合計		86,628
事業関連費用	サービス人件費	18,404
	サービス物件費	21,415
	サービス経費	5,981
事業関連費用 合計		45,800
費用合計		132,428
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	喜婦嶽702番地		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	小学校
主管課	教育総務課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	8180㎡
建築年度	昭和62年度	棟数	6
耐用年数	47年	稼働年数	29年
建物取得価額等	1,779,877千円	建物減価償却累計額	962,115千円
管理形態	直営	建物減価償却率	54.06%
土地の所有	市	利用対象者数	673人
複合施設(機能)	放課後子ども教室		
	直営		
駐車場	来客用	運営用	
	5	38	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	長配一丁目	砂子
	徒歩10分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:25~16:55	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	38	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	117,958	0	2,261	115,697

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
南小学校用地	土地	2,069,645	2,069,645
校舎中西	建物	750,135	288,052
校舎北	建物	314,545	127,705
校舎中東	建物	117,605	47,748
校舎南	建物	267,935	185,411
体育館	建物	240,120	86,923
倉庫	建物	5,985	257
プール	工作物	88,360	4,241

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
屋内運動場非構造部材等耐震化工事	建物	63,131	61,742
トイレ改修工事	建物	19,662	19,182
トイレ改修工事	建物付属設備	18,084	16,872
窓転落防止手摺取付工事	建物	758	741

### 備考

・H26、H27 トイレ改修
・H27 体育館改修
・H27 手すり設置



## 施設名称： 市が洞小学校

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	11,344
	維持管理費 物件費	39,651
	維持管理費 経費	116
	減価償却費	58,610
	維持補修費	12,680
施設費用 合計		122,400
事業関連費用	サービス人件費	19,530
	サービス物件費	22,868
	サービス経費	6,714
事業関連費用 合計		49,113
費用合計		171,513
資本的支出		1,134

### 施設概要

所在地	市が洞一丁目1203番地		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	小学校
主管課	教育総務課	地区	市が洞小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	11465㎡
建築年度	平成19年度	棟数	10
耐用年数	47年	稼働年数	9年
建物取得価額等	2,439,754千円	建物減価償却累計額	385,468千円
管理形態	直営	建物減価償却率	15.80%
土地の所有	市	利用対象者数	1112人
複合施設(機能)	児童クラブ 直営		
駐車場	来客用	運営用	
	6	87	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	たいようの杜	市が洞
	徒歩20分	徒歩2分	徒歩4分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:25~16:55	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	55	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	445,941	0	10,150	435,791

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
市が洞小学校用地	土地	1,864,809	1,864,809
校舎	建物	773,119	620,041
校舎	建物	176,557	141,599
校舎	建物	176,557	141,599
校舎	建物	176,557	141,599
校舎	建物	765,185	714,683
塔	建物	25,391	19,221
体育館	建物	285,179	228,714
倉庫	建物	10,427	4,140
倉庫	建物	7,634	3,031
倉庫	建物	11,595	8,777
プール	工作物	98,422	68,305

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
屋内運動場非構造部材等耐震化工事	建物	30,419	29,750
駐車場整備工事	工作物	1,296	1,166
相談室設置工事	建物	1,134	1,134

### 備考

--

**施設名称： 長久手中学校**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	8,734
	維持管理費 物件費	28,699
	維持管理費 経費	514
	減価償却費	43,888
	維持補修費	9,495
施設費用 合計		91,329
事業関連費用	サービス人件費	14,906
	サービス物件費	20,404
	サービス経費	5,394
事業関連費用 合計		40,704
費用合計		132,033
資本的支出		144,417

**施設概要**

所在地	岩作平子38番地		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	中学校
主管課	教育総務課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	8468㎡
建築年度	昭和49年度	棟数	5
耐用年数	47年	稼働年数	42年
建物取得価額等	2,037,626千円	建物減価償却累計額	1,555,261千円
管理形態	直営	建物減価償却率	76.33%
土地の所有	市	利用対象者数	393人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	8	37	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	長久手中学校	大久手橋
	徒歩16分	徒歩5分	徒歩8分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:10~16:40	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	36	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	123,846	97,300	1,668	219,478

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手中学校用地	土地	1,171,863	1,171,863
校舎南	建物	881,551	86,392
校舎北	建物	370,394	52,596
校舎(特別教室)	建物	304,500	150,423
体育館	建物	307,050	36,846
クラブハウス	建物	22,875	5,033
プール	工作物	86,664	0

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
建物改修工事(北校舎)	建物	1,199	1,173
トイレ改修工事	建物	5,639	5,485
トイレ改修工事	建物付属設備	11,418	10,653
電気保安設備改修工事	建物付属設備	2,933	2,737
バリアフリー改修工事	建物	70,984	70,984
建物改修工事(校舎南)	建物	71,181	71,181
建物改修附帯工事(特別教室棟)	建物	2,253	2,253

**備考**

- ・H25、H26 トイレ改修
- ・H27 体育館改修
- ・H28 EV2基、ｽｰﾌﾟ設置
- ・H28年度～30年度 大規模改修工事

## 施設名称：南中学校

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	3,677
	維持管理費 物件費	29,494
	維持管理費 経費	530
	減価償却費	47,151
	維持補修費	10,201
施設費用 合計		91,052
事業関連費用	サービス人件費	20,585
	サービス物件費	27,724
	サービス経費	7,644
事業関連費用 合計		55,953
費用合計		147,006
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	長配二丁目1901番地		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	中学校
主管課	教育総務課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	8256㎡
建築年度	昭和59年度	棟数	9
耐用年数	47年	稼働年数	32年
建物取得価額等	2,046,853千円	建物減価償却累計額	1,283,521千円
管理形態	直営	建物減価償却率	62.71%
土地の所有	市	利用対象者数	713人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	8	57	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	長配二丁目	長久手南中学校
	徒歩11分	徒歩6分	徒歩6分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:10~16:40	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	50	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	121,350	0	0	121,350

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
南中学校用地	土地	2,807,690	2,807,690
校舎南	建物	811,625	240,241
校舎北	建物	598,601	243,032
校舎(特別教室)	建物	30,906	8,376
体育館	建物	351,260	103,973
武道場	建物	106,605	55,008
揚水場	建物	20,072	0
エレベーター棟	建物	5,625	3,398
便所(棟)	建物	6,169	247
機械室(棟)	建物	5,040	549
プール	工作物	98,000	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
屋内運動場非構造部材等耐震化工事	建物	81,709	79,911
トイレ改修工事	建物	29,242	28,598
トイレ改修工事	建物付属設備	31,125	29,040
南館都市ガス配管工事	建物付属設備	1,022	953

### 備考

・H25、H26 トイレ改修
・H27 体育館改修

## 施設名称：北中学校

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	2,758
	維持管理費 物件費	29,818
	維持管理費 経費	519
	減価償却費	38,465
	維持補修費	8,322
施設費用 合計		79,882
事業関連費用	サービス人件費	12,969
	サービス物件費	19,381
	サービス経費	4,263
事業関連費用 合計		36,613
費用合計		116,494
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	東原80番地1		
施設分類(大)	学校教育施設	施設分類(中)	中学校
主管課	教育総務課	地区	北小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	10885㎡
建築年度	平成24年度	棟数	4
耐用年数	47年	稼働年数	4年
建物取得価額等	1,536,647千円	建物減価償却累計額	134,104千円
管理形態	直営	建物減価償却率	8.73%
土地の所有	市	利用対象者数	543人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	22	48	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	落合	落合
	徒歩22分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:10~16:40	-	-
運営人数	教職員数	委託従事者数	
	41	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
	-	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	雨水利用		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	1,164,085	0	54,381	1,109,704

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
北中学校用地	土地	1,144,481	1,144,481
校舎	建物	1,113,000	1,015,056
体育館・武道場	建物	369,383	336,877
クラブハウス	建物	26,698	24,349
体育器具庫	建物	6,351	5,513
プール	工作物	56,095	48,466

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
屋内運動場非構造部材等耐震化工事	建物	19,833	19,397
トイレ等改修工事	建物	745	729
中庭出窓開放角度制限金具取付工事	建物	637	623

### 備考

・H27 体育館改修
------------

# 施設名称：長久手給食センター

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	13,502
	維持管理費 物件費	66,826
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	135,286
	維持補修費	29,268
施設費用 合計		244,882
事業関連費用	サービス人件費	472,205
	サービス物件費	472,019
	サービス経費	59
事業関連費用 合計		944,282
費用合計		1,189,164
資本的支出		1,026

## 施設概要

所在地	岩作中権代 1 1 番地 3		
施設分類 (大)	学校教育施設	施設分類 (中)	その他学校教育施設
主管課	給食センター	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	3540.24㎡
建築年度	平成23年度	棟数	1
耐用年数	31年	稼働年数	5年
建物取得価額等	541,386千円	建物減価償却累計額	89,159千円
管理形態	直営	建物減価償却率	16.47%
土地の所有	市	利用対象者数	6688人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	2	40	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	市民テニスコート	大久手橋
	徒歩20分	徒歩5分	徒歩5分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:00~16:45	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	13	35	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	○	○	○(一部)
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	○		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	710,328	0	40,192	670,135

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
給食センター用地	土地	254,309	254,309
給食センター	建物	540,360	451,200
給食センター (電気・機械)	建物付属設備	621,704	413,433
給食センター (外構)	工作物	34,352	17,176
給食センター (厨房設備)	物品 (機械器具)	574,831	215,562

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
会議室間仕切改修工事	建物	1,026	1,026

## 備考

・バリアフリー：点字ブロックは玄関入口まで

施設名称： 福祉の家

施設外観



温泉交流施設



デイサービスセンター



障がい者福祉施設



施設概要

所在地				前熊下田 1 7 1 番地			
施設分類 (大)		保健・福祉施設	施設分類 (中)		高齢福祉施設		
主管課		長寿課	地区		東小学校区		
主たる構造		鉄筋コンクリート造	延床面積		7897.16㎡		
建築年度		平成14年度	棟数		1		
耐用年数		47年	稼働年数		14年		
建物取得価額等		2,452,849千円	建物減価償却累計額		755,477千円		
管理形態		一部委託	建物減価償却率		30.80%		
土地の所有		市	年間延利用者数		494248人		
施設別利用者数		温泉交流施設	デイサービスセンター	障がい者福祉施設			
		469057人	4297人	4487人			
		福祉の家	16407人				
複合施設 (機能)		温泉交流施設	デイサービスセンター	障がい者福祉施設			
		指定管理	指定管理	指定管理			
駐車場		来客用	運営用				
		507	26				
アクセス		リニモ	Nーバス	名鉄バス			
		芸大通/公園西	福祉の家	長久手福祉の家			
		徒歩25分	徒歩0分	徒歩1分			
運営時間		温泉交流施設	デイサービスセンター	障がい者福祉施設			
		9:00~23:00	9:00~17:00	9:00~17:00			
		福祉の家	9:00~21:00				
運営人数		職員数	委託従事者数				
		1	55				
施設稼働率		工房1	工房2	ITルーム			
		39.1%	7.2%	12.1%			
		会議室	集会室	機能回復訓練室			
		43.1%	67.2%	58.0%			
耐震化状況		耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施			
		○	-	-			
防災		避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫			
		○(福祉)	○	○			
		冷暖房設備	調理設備				
		○	○				
バリアフリー		障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ			
		○	○	○			
		自動ドア	手すり	点字ブロック			
		○	○	○			
環境配慮		建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー			
		-	○	○			
		雨水利用	○				
		○					

施設別コスト

(単位：千円)

大分類		中分類	金額	福祉の家	温泉交流施設	デイサービスセンター	障がい者福祉施設
施設費用	維持管理費	人件費	12,535	5,785	0	0	6,750
	維持管理費	物件費	177,652	177,652	0	0	0
	維持管理費	経費	2,110	2,110	0	0	0
	減価償却費		58,165	58,165	0	0	0
	維持補修費		12,584	12,584	0	0	0
施設費用 合計			6,750	0	0	0	6,750
事業関連費用	サービス人件費		79,939	28,801	844	1,350	48,945
	サービス物件費		18,091	0	0	1,628	16,463
	サービス経費		564,144	0	3,391	0	560,753
事業関連費用 合計			633,374	0	4,235	2,978	626,161
費用合計			640,124	0	4,235	2,978	632,911
資本的支出			109,285	109,285	0	0	0

債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	118,866	41,000	69,918	89,948

資産構成

(単位：千円)

資産名称		勘定科目	取得価額	期末簿価
福祉の家用地		土地	121,688	121,688
福祉の家駐車場用地		土地	1,078,299	1,078,299
福祉の家		建物	2,452,849	1,697,372
太陽光発電施設付キャノピー		工作物	37,011	7,994
温泉スタンド		工作物	17,535	0
EV充電スタンド		工作物	2,376	1,844

資本的支出

(単位：千円)

資産名称		勘定科目	取得価額	期末簿価
進入路改良		工作物	4,044	0
グラウンドゴルフ場整備		工作物	9,374	9,374
屋上改修・太陽光発電設備等整備		物品 (機械器具)	28,475	26,795
屋上改修・太陽光発電設備等整備		物品 (機械器具)	96,368	96,368
槽水位計、止水栓等の新設等		建物付属設備	3,543	3,543

備考

## 施設名称： 高齢者生きがいセンター

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	4,219
	維持管理費 物件費	8,278
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	8,077
	維持補修費	1,747
施設費用 合計		22,321
事業関連費用	サービス人件費	2,531
	サービス物件費	0
	サービス経費	29,088
事業関連費用 合計		31,620
費用合計		53,941
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作城内98番地		
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	938㎡
建築年度	平成3年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	25年
建物取得価額等	269,233千円	建物減価償却累計額	201,925千円
管理形態	指定管理	建物減価償却率	75.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	24113人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	-	-	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	市役所	長久手市役所
	徒歩15分	徒歩0分	徒歩1分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	-	土日祝、12/28~1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	8	
施設稼働率	会議室	和室	
	60.7%	52.4%	
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
高齢者生きがいセンター	建物	269,233	67,308

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・高齢者生きがいセンター用地は市役所用地に含む。
--------------------------

# 施設名称： 茜中規模老人憩の家

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	216
	維持管理費 物件費	193
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		409
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		409
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	打越 1 1 0 4 番地		
施設分類 (大)	保健・福祉施設	施設分類 (中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	108㎡
建築年度	昭和55年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	36年
建物取得価額等	24,192千円	建物減価償却累計額	24,192千円
管理形態	委託	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	1951人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	久保山	長久手口
	徒歩8分	徒歩5分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月、12/28~1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	広間・和室		
	75.2%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
茜中規模老人憩の家	建物	24,192	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考

・平成17年度に実施した観小規模老人憩の家の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された憩の家の耐震基準を「○」とした。



# 施設名称： 楓小規模老人憩の家

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	196
	維持管理費 物件費	175
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		371
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		371
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	東狭間405番地		
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	99㎡
建築年度	昭和53年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	37年
建物取得価額等	21,952千円	建物減価償却累計額	21,952千円
管理形態	委託	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	1374人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運管用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	戸田谷	武蔵塚
	徒歩6分	徒歩3分	徒歩6分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00～17:00	9:00～17:00	月、12/28～1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	広間・和室		
	36.6%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
楓小規模老人憩の家	建物	21,952	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 供用開始：昭和54年度</li> <li>・ 平成17年度に耐震診断を実施した結果、「適切」との結果。</li> </ul>
---

## 施設名称： 中規模老人憩の家椿荘

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	212
	維持管理費 物件費	190
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	237
	維持補修費	51
施設費用 合計		691
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		691
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	石田136番地		
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	106㎡
建築年度	昭和56年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	34年
建物取得価額等	23,744千円	建物減価償却累計額	23,744千円
管理形態	委託	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	968人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	椿荘前	長久手文化の家
	徒歩13分	徒歩0分	徒歩2分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月、12/28~1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	和室・洋間		
	51.6%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
中規模老人憩の家椿荘	建物	23,744	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・供用開始：昭和57年度

## 施設名称： 色金小規模老人憩の家

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	408
	維持管理費 物件費	365
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		773
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		773
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作南島50番地		
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	97㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	36年
建物取得価額等	21,728千円	建物減価償却累計額	21,728千円
管理形態	委託	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	487人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	2	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	交流プラザ南	岩作組合前
	徒歩19分	徒歩5分	徒歩5分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月、12/28~1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	広間・和室		
	21.2%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
環境配慮	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
色金小規模老人憩の家用地	土地	23,967	23,967
色金小規模老人憩の家	建物	21,728	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・供用開始：昭和55年度

**施設名称： 中規模老人憩の家永和荘**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	214
	維持管理費 物件費	191
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	719
	維持補修費	156
施設費用 合計		1,280
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		1,280
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	秋ノ洞2330番地1		
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	108㎡
建築年度	昭和58年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	33年
建物取得価額等	23,968千円	建物減価償却累計額	23,728千円
管理形態	委託	建物減価償却率	99.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	513人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	ライスセンター	熊張
	徒歩25分	徒歩6分	徒歩10分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月、12/28~1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	会議室・和室		
	53.6%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
環境配慮	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
中規模老人憩の家永和荘	建物	23,968	240

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

--

# 施設名称： 睦小規模老人憩の家

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	194
	維持管理費 物件費	173
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		368
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		368
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	助六761番地		
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	97㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	36年
建物取得価額等	21,728千円	建物減価償却累計額	21,728千円
管理形態	委託	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	650人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運管用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	北熊東	公園西駅
	徒歩10分	徒歩3分	徒歩9分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月、12/28~1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	広間・和室		
	87.9%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
睦小規模老人憩の家	建物	21,728	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考

・ 供用開始：昭和55年度  
 ・ 平成17年度に実施した睦小規模老人憩の家の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された憩の家の耐震基準を「○」とした。

## 施設名称： 中規模老人憩の家さつき荘

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	246
	維持管理費 物件費	220
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	712
	維持補修費	154
施設費用 合計		1,332
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		1,332
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	前熊前山1 4番地1		
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	高齢福祉施設
主管課	長寿課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	106㎡
建築年度	昭和58年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	32年
建物取得価額等	23,744千円	建物減価償却累計額	22,794千円
管理形態	委託	建物減価償却率	96.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	465人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	前寺公民館	長久手福祉の家
	徒歩17分	徒歩2分	徒歩9分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月、12/28~1/4
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	洋間・和室		
	60.5%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
雨水利用			
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
中規模老人憩の家さつき荘用地	土地	3,789	3,789
中規模老人憩の家さつき荘	建物	23,744	950

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・ 供用開始：昭和59年度  
 ・ 平成17年度に実施した槻小規模老人憩の家の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された憩の家の耐震基準を「○」とした。

# 施設名称： 保健センター

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	5,739
	維持管理費 物件費	9,656
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	8,132
	維持補修費	1,759
施設費用 合計		25,286
事業関連費用	サービス人件費	111,208
	サービス物件費	416,435
	サービス経費	69,167
事業関連費用 合計		596,811
費用合計		622,097
資本的支出		0

## 施設概要

所在地		岩作城内101番地1	
施設分類(大)	保健・福祉施設	施設分類(中)	保健施設
主管課	健康推進課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1681㎡
建築年度	平成12年度	棟数	1
耐用年数	50年	稼働年数	16年
建物取得価額等	399,000千円	建物減価償却累計額	127,680千円
管理形態	直営	建物減価償却率	32.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	15293人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	-	-	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	市役所	長久手市役所
	徒歩20分	徒歩1分	徒歩1分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:30~17:15	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	30	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	○	○	○
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
保健センター	建物	399,000	271,320

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考

・保健センター用地は市役所用地に含む。

**施設名称： 田園バレー交流施設**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	2,286
	維持管理費 物件費	12,089
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	12,070
	維持補修費	2,611
施設費用 合計		29,057
事業関連費用	サービス人件費	1,858
	サービス物件費	200
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		2,057
費用合計		31,114
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	前熊下田134番地		
施設分類(大)	産業施設	施設分類(中)	農業施設
主管課	みどりの推進課	地区	東小学校区
主たる構造	木造	延床面積	1305㎡
建築年度	平成18年度	棟数	4
耐用年数	24年	稼働年数	10年
建物取得価額等	278,526千円	建物減価償却累計額	108,634千円
管理形態	指定管理	建物減価償却率	39.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	455193人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	239	26	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	芸大通/公園西	福祉の家	長久手福祉の家
	徒歩25分	徒歩0分	徒歩1分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~18:00	9:00~18:00	毎月第1月曜日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	48	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	○		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
田園バレー用地	土地	206,039	206,039
農産物直売所、地域食材供給施設	建物	240,352	149,499
交流館	建物	21,280	12,470
休憩所	建物	10,324	4,842
ふれあい農園付帯施設(休憩所)	建物	6,570	3,081
ふれあい農園(ビニールハウス)	工作物	6,300	0

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

--



## 施設名称： 農産物集出荷場

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	520
	維持補修費	112
施設費用 合計		632
事業関連費用	サービス人件費	1,072
	サービス物件費	1,669
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		2,740
費用合計		3,373
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	前熊前山104番地1		
施設分類(大)	産業施設	施設分類(中)	農業施設
主管課	みどりの推進課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	428㎡
建築年度	昭和59年度	棟数	1
耐用年数	12年	稼働年数	9年
建物取得価額等	6,189千円	建物減価償却累計額	4,679千円
管理形態	直営	建物減価償却率	75.60%
土地の所有	市	利用対象者数	40人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	20	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	改善センター	-
	徒歩20分	徒歩1分	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	8:30~12:00	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	○		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
農産物集出荷場用地	土地	76,802	76,802
農産物集出荷場	建物	6,189	1,510

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

- ・平成19年12月10日に中古資産として無償取得。
- ・簡便法により取得後の耐用年数を算出。
- ・建築時の取得原価が不明のため、再調達原価を算出の上、取得時の残存価額を算出。

## 施設名称： 農村環境改善センター

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	3,495
	維持管理費 物件費	6,497
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	3,636
	維持補修費	787
施設費用 合計		14,415
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		14,415
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	前熊前山173番地		
施設分類(大)	産業施設	施設分類(中)	農業施設
主管課	たつせがある課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	628㎡
建築年度	昭和61年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	30年
建物取得価額等	121,204千円	建物減価償却累計額	109,084千円
管理形態	委託	建物減価償却率	90.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	26065人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	23	1	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	改善センター	-
	徒歩15分	徒歩0分	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~21:00	9:00~21:00	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	7	
施設稼働率	多目的ホール	会議室	教養室
	62.5%	30.5%	6.9%
	農事相談室	多目的広場	
	0.0%	36.0%	
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
農村環境改善センター用地	土地	290,098	290,098
農村環境改善センター	建物	121,204	12,120

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

--

## 施設名称：長久手交流プラザ

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	3,495
	維持管理費 物件費	7,080
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	6,317
	維持補修費	1,367
施設費用 合計		18,258
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		18,258
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作東中1番地3		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	522㎡
建築年度	昭和48年度	棟数	1
耐用年数	31年	稼働年数	20年
建物取得価額等	215,889千円	建物減価償却累計額	126,331千円
管理形態	委託	建物減価償却率	58.52%
土地の所有	市	年間延利用者数	21984人
複合施設(機能)	市防災倉庫		
駐車場	来客用	運営用	
	30	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	交流プラザ南	岩作組合前
	-	徒歩1分	徒歩1分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~22:00	9:00~22:00	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	7	
施設稼働率	多目的室	大会議室	中会議室1
	32.3%	13.1%	33.1%
	中会議室2	小会議室	
21.3%	17.6%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
○	-	-	
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
交流プラザ用地	土地	131,235	131,235
交流プラザ	建物	215,889	89,558

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・平成8年度に中古資産として取得。
・中古資産として、簡便法により取得後の耐用年数を算出。

**施設名称： まちづくりセンター**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	3,495
	維持管理費 物件費	7,535
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	2,237
	維持補修費	484
施設費用 合計		13,751
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		13,751
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	武蔵塚101番地3		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	523㎡
建築年度	平成17年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	11年
建物取得価額等	74,550千円	建物減価償却累計額	24,602千円
管理形態	一部委託	建物減価償却率	33.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	22158人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	17	2	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	まちづくりセンター	長久手古戦場駅
	徒歩7分	徒歩1分	徒歩7分
運営時間	平日・土	日祝	定休日
	9:00~21:00	9:00~17:00	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	3	5	
施設稼働率	集会室1	集会室2	活動室
	29.2%	40.4%	100.0%
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
まちづくりセンター用地	土地	169,646	169,646
まちづくりセンター	建物	74,550	49,949

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

・平日15時以降及び日・祝日はシルバー人材センターに施設管理業務を委託
・活動室：1団体が1年度の間、占有して利用

**施設名称： 西小校区共生ステーション**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	6,110
	維持管理費 物件費	9,943
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	1,069
	維持補修費	231
施設費用 合計		17,354
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		17,354
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	五合池2209番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	342㎡
建築年度	平成25年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	3年
建物取得価額等	35,648千円	建物減価償却累計額	3,208千円
管理形態	直営	建物減価償却率	9.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	26626人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	JAと共用	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	-	塚田
	-	-	徒歩0分
運営時間	日~木	金土	定休日
	9:00~17:00	9:00~21:00	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	6	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
地域共生ステーション	建物	35,648	32,440

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・金曜17時以降要予約</li> <li>・あいち尾東長久手西支店建物内にあり。</li> </ul>
--

## 施設名称： 向畑集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	433
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	12
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		445
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		445
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作向畑65番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.24㎡
建築年度	昭和53年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	38年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	1	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	平子	-
	-	徒歩5分	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
向畑集会所用地	土地	6,129	6,129
向畑集会所	建物	5,280	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

## 施設名称：色金集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		206
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		206
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作色金39番地1		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.25㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	37年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	色金山北	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
色金集会所	建物	5,280	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

# 施設名称： 白針集会所

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	53
	維持補修費	11
施設費用 合計		270
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		270
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	岩作白針13番地1		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.42㎡
建築年度	昭和57年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	34年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	6	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	立花	隅田
	-	徒歩3分	徒歩7分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
白針集会所	建物	5,280	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考



## 施設名称： 先達集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	158
	維持補修費	34
施設費用 合計		399
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		399
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	香桶 6 0 1 番地		
施設分類 (大)	市民文化施設	施設分類 (中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.25㎡
建築年度	昭和59年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	32年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,069千円
管理形態	民営	建物減価償却率	96.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	3	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	丸根	大久手橋
	徒歩10分	徒歩0分	徒歩0分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
先達集会所	建物	5,280	211

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

## 施設名称：北浦集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	536
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	15
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		551
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		551
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	北浦2580番地2		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.24㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	37年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	大草北	長久手大草
	-	徒歩2分	徒歩2分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	-	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
北浦集会所用地	土地	8,829	8,829
北浦集会所	建物	5,280	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

**施設名称： 三ヶ峯集会所**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	158
	維持補修費	34
施設費用 合計		399
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		399
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	岩作三ヶ峯2番地166		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.24㎡
建築年度	昭和59年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	32年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,069千円
管理形態	民営	建物減価償却率	96.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	三ヶ峯公園	三ヶ峯公園
	-	徒歩0分	徒歩0分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
三ヶ峯集会所	建物	5,280	211

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

・三ヶ峯集会所用地は三ヶ峯公園用地に含む。

## 施設名称：西ノ根集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		206
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		206
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	打越111番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.25㎡
建築年度	昭和53年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	38年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	10	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	西ノ根集会所	作田
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
西ノ根集会所	建物	5,280	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・耐震診断を実施した結果、「適切」との結果。
------------------------

## 施設名称：桜作集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		206
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		206
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	桜作1402番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.25㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	37年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	西ノ根集会所	作田
	徒歩8分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
桜作集会所	建物	5,280	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

# 施設名称：久保山集会所

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	198
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		203
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		203
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	久保山1523番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	65.61㎡
建築年度	昭和55年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	36年
建物取得価額等	5,200千円	建物減価償却累計額	5,200千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運管用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	長久手郵便局南	長久手郵便局
	-	徒歩3分	徒歩5分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
久保山集会所	建物	5,200	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

**施設名称： 打越集会所**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	194
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		200
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		200
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	打越1103番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	64.8㎡
建築年度	昭和55年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	36年
建物取得価額等	5,120千円	建物減価償却累計額	5,120千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	-	長久手口
	徒歩8分	-	徒歩5分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
打越集会所	建物	5,120	0

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

## 施設名称： 下山集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	198
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		203
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		203
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	下川原14番地40		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	北小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	65.92㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	37年
建物取得価額等	5,200千円	建物減価償却累計額	5,200千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	3	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	柙木	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
下山集会所	建物	5,200	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。



**施設名称： 上川原集会所**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	1,089
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	30
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		1,119
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		1,119
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	上川原1 8 番地 9		
施設分類 (大)	市民文化施設	施設分類 (中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	北小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	99.63㎡
建築年度	昭和56年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	35年
建物取得価額等	7,920千円	建物減価償却累計額	7,920千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	不明
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	2	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	西原橋	-
	-	徒歩3分	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
上川原集会所用地	土地	20,738	20,738
上川原集会所	建物	7,920	0

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

・耐震診断を実施した結果、「適切」との結果。
------------------------

## 施設名称： 山野田集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		206
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		206
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	砂子1516番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.15㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	37年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	長配二丁目	長久手南中学校
	徒歩15分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
山野田集会所	建物	5,280	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

### 施設名称： 城屋敷集会所

#### 施設外観



#### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	198
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		203
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		203
資本的支出		0

#### 施設概要

所在地	城屋敷1808番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	65.92㎡
建築年度	昭和55年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	36年
建物取得価額等	5,200千円	建物減価償却累計額	5,200千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	5	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	武蔵塚	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

#### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

#### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
城屋敷集会所	建物	5,200	0

#### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

#### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

# 施設名称：長配三丁目集会所

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	2,762
	維持管理費 物件費	1
	維持管理費 経費	75
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		2,838
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		2,838
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	長配三丁目 8 1 0 番地		
施設分類 (大)	市民文化施設	施設分類 (中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	南小学校区
主たる構造	木造	延床面積	91.9㎡
建築年度	昭和56年度	棟数	1
耐用年数	22年	稼働年数	35年
建物取得価額等	7,280千円	建物減価償却累計額	7,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	不明
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	菖蒲池	菖蒲池
	-	徒歩2分	徒歩2分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	○	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長配三丁目集会所用地	土地	65,428	65,428
長配三丁目集会所	建物	7,280	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

## 施設名称： 丁子田集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	476
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	13
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		489
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		489
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	丁子田15番地163		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	市が洞小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66.25㎡
建築年度	昭和53年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	38年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,280千円
管理形態	民営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	1	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	丁子田	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
丁子田集会所用地	土地	7,258	7,258
丁子田集会所	建物	5,280	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・西ノ根集会所及び上川原集会所の耐震診断結果が「適切」であったため、同時期に建築された集会所の耐震基準を「○」とした。

## 施設名称： 井堀熊田集会所

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	201
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	5
	減価償却費	158
	維持補修費	34
施設費用 合計		399
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		399
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	井堀 3 2 6 番地		
施設分類 (大)	市民文化施設	施設分類 (中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	市が洞小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	66㎡
建築年度	昭和58年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	33年
建物取得価額等	5,280千円	建物減価償却累計額	5,227千円
管理形態	民営	建物減価償却率	99.00%
土地の所有	民間	年間延利用者数	不明
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運管用	
	2	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	長久手住宅	長久手住宅
	-	徒歩2分	徒歩2分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
井堀熊田集会所	建物	5,280	53

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

--

## 施設名称：長久手集会所（パークサイドヒルズ）

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	224
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	6
	減価償却費	312
	維持補修費	68
施設費用 合計		609
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		609
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作三ヶ峯20番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	たつせがある課	地区	東小学校区
主たる構造	木造	延床面積	65.42㎡
建築年度	平成24年度	棟数	1
耐用年数	19年	稼働年数	4年
建物取得価額等	5,888千円	建物減価償却累計額	312千円
管理形態	民営	建物減価償却率	5.30%
土地の所有	市	年間延利用者数	不明
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	5	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	三ヶ峯公園	三ヶ峯公園
	-	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	不明	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
パークサイドヒルズ集会所	建物	5,888	5,576

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

**施設名称：ほとぎの里交流館**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	789
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	624
	維持補修費	135
施設費用 合計		1,548
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		1,548
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	市が洞三丁目2302		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	集会施設
主管課	みどりの推進課	地区	市が洞小学校区
主たる構造	木造	延床面積	150.75㎡
建築年度	平成26年度	棟数	1
耐用年数	22年	稼働年数	2年
建物取得価額等	13,568千円	建物減価償却累計額	1,248千円
管理形態	委託	建物減価償却率	9.20%
土地の所有	市	年間延利用者数	10833人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	市が洞/丁子田	市が洞
	徒歩30分	徒歩5分	徒歩5分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	9:00~17:00	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	1	5	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
ほとぎの里交流館用地	土地	3,531,709	3,531,709
ほとぎの里交流館	建物	13,568	12,319

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

--



施設名称：文化の家

施設外観



森のホール



風のホール



ガレリア



施設概要

所在地	野田農201番地		
施設分類(大)	市民文化施設	施設分類(中)	文化施設
主管課	文化の家	地区	北小学校区
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	17488㎡
建築年度	平成9年度	棟数	1
耐用年数	47年	稼働年数	19年
建物取得価額等	7,258,986千円	建物減価償却累計額	3,022,188千円
管理形態	直営	建物減価償却率	41.63%
土地の所有	市	年間延利用者数	436579人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
		302	0
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	文化の家	長久手文化の家北
	徒歩7分	徒歩0分	徒歩4分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~22:00	9:00~22:00	月曜日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	20	0	
施設稼働率	森のホール	風のホール	光のホール
	77.7%	83.4%	54.7%
	展示室	舞踊室	音楽室
	88.6%	98.4%	97.6%
	音楽スタジオ	美術室	食文化室
	92.5%	87.4%	77.6%
	生活工房	暗室	講義室1
	69.7%	16.1%	96.5%
	講義室2	会議室1	会議室2
	92.9%	96.1%	89.8%
	会議室3	和室1	和室2
	89.4%	53.9%	55.1%
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	○	○
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	○	○	○
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	○		

施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	35,244
	維持管理費 物件費	173,205
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	159,766
	維持補修費	34,564
	施設費用 合計	402,779
事業関連費用	サービス人件費	73,152
	サービス物件費	53,506
	サービス経費	68
	事業関連費用 合計	126,725
費用合計		529,504
資本的支出		65,496

債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	245,005	0	133,273	111,732

資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
文化の家用地	土地	2,113,965	2,113,965
文化の家	建物	7,230,115	4,207,927

資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
舞台照明無停電電源装置更新	建物付属設備	1,728	1,612
駐車場コーナーガード設置工事	工作物	1,242	1,118
大規模改修工事(建築)	建物	28,871	28,871
大規模改修工事(空調等)	建物付属設備	29,180	29,180
大規模改修工事(芝生駐車場改修)	工作物	5,200	5,200
大規模改修工事(舞台設備)	物品(機械器具)	2,246	2,246

備考


# 施設名称： 杵ヶ池体育館

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	2,133
	維持管理費 物件費	15,699
	維持管理費 経費	25
	減価償却費	17,411
	維持補修費	3,767
施設費用 合計		39,035
事業関連費用	サービス人件費	16,434
	サービス物件費	13,068
	サービス経費	7,860
事業関連費用 合計		37,362
費用合計		76,397
資本的支出		50,968

## 施設概要

所在地	杵ヶ池1001番地		
施設分類(大)	スポーツ・レクリエーション施設	施設分類(中)	スポーツ施設
主管課	生涯学習課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2998㎡
建築年度	昭和62年度	棟数	1
耐用年数	47年	稼働年数	29年
建物取得価額等	766,500千円	建物減価償却累計額	489,027千円
管理形態	一部委託	建物減価償却率	63.80%
土地の所有	市	延利用回数	18466回
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	110	1	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	杵ヶ池公園西	菖蒲池
	徒歩8分	徒歩3分	徒歩5分
運営時間	平日・土	日祝	定休日
	9:00~21:00	9:00~17:00	備考
運営人数	職員数	委託従事者数	
	8	0	
施設稼働率	アリーナ	柔剣道場	卓球室
	87.8%	67.4%	72.6%
	トレーニングルーム		
	88.0%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	○	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	○		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
体育館	建物	766,500	277,473
テニスコート	工作物	16,379	229

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
ボイラー設備緊急修繕工事	建物付属設備	2,495	2,495
砂入り人工芝テニスコート設置工事	工作物	48,473	48,473

## 備考

- ・定休日は毎月曜日(月曜日が祝日の時は翌平日、12月29日から1月4日まで)テニスコートのみ月曜日も利用可能。
- ・冷暖房設備は卓球室・会議室のみ有り。
- ・アリーナ、ジム、小体育館、会議室はスロープ対応。
- ・杵ヶ池体育館用地は杵ヶ池公園用地に含む。

# 施設名称： 市民野球場

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	2,586
	維持管理費 物件費	5,996
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	971
	維持補修費	210
施設費用 合計		9,763
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		9,763
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	岩作琵琶ヶ池 5 5 番地 1		
施設分類 (大)	スポーツ・レクリエーション施設	施設分類 (中)	スポーツ施設
主管課	生涯学習課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	199㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	22年	稼働年数	37年
建物取得価額等	48,556千円	建物減価償却累計額	35,931千円
管理形態	委託	建物減価償却率	74.00%
土地の所有	市	延利用回数	502回
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	51	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	芸大通	市民野球場前	トヨタ博物館前
	徒歩3分	徒歩1分	徒歩13分
運営時間	4月～11月	12月～3月	定休日
	9:00～21:00	9:00～18:00	備考
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	野球場		
	45.6%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	×	×	×
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	-	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
市民野球場用地	土地	381,569	381,569
管理事務所	建物	48,556	12,625
野球場	工作物	64,944	0

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

## 備考

・ 定休日は毎月曜日（月曜日が祝日の際は翌平日、12月29日から1月4日まで）。
--

## 施設名称： スポーツの杜

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	11,636
	維持管理費 物件費	43,391
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	42,353
	維持補修費	9,163
施設費用 合計		106,542
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		106,542
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	字岩廻間 2 7 2 6 番地		
施設分類 (大)	スポーツ・レクリエーション施設	施設分類 (中)	スポーツ施設
主管課	生涯学習課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	128㎡
建築年度	平成7年度	棟数	1
耐用年数	22年	稼働年数	21年
建物取得価額等	32,397千円	建物減価償却累計額	18,369千円
管理形態	委託	建物減価償却率	56.70%
土地の所有	民間	延利用回数	1102回
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	59	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	スポーツの杜	長久手大草
	-	徒歩1分	徒歩5分
運営時間	4月～11月	12月～3月	定休日
	9:00～21:00	9:00～18:00	備考
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率	野球場	多目的	
	45.1%	52.7%	
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	-	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
管理棟	建物	32,397	14,028
多目的広場	工作物	583,592	166,907
野球場	工作物	633,813	181,271

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・定休日は毎月曜日（月曜日が祝日の際は翌平日、12月29日から1月4日まで）。

施設名称： 和弓場

施設外観



施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	561
	維持補修費	121
施設費用 合計		683
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		683
資本的支出		0

施設概要

所在地	武蔵塚 2 0 5 番地		
施設分類(大)	スポーツ・レクリエーション施設	施設分類(中)	スポーツ施設
主管課	生涯学習課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	116㎡
建築年度	昭和59年度	棟数	1
耐用年数	47年	稼働年数	32年
建物取得価額等	25,520千円	建物減価償却累計額	17,966千円
管理形態	委託	建物減価償却率	70.40%
土地の所有	市	年間延利用者数	6697人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	長久手古戦場	長久手古戦場
	徒歩3分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00(備考)	9:00~17:00(備考)	月曜日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	1	1	
施設稼働率	和弓場		
	99.7%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	-	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
和弓場	建物	25,520	7,554

資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

備考

- ・運営時間：事前申込あれば日曜を除き21：00まで
- ・運営人数：郷土資料室管理人が和弓場管理人を兼ねる。
- ・和弓場用地は古戦場公園用地を含む。

施設名称：市役所

施設外観



公民館



子育て支援センター



施設概要

所在地	岩作城内60番地1		
施設分類(大)	行政施設	施設分類(中)	庁舎等
主管課	財政課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7172.48㎡
建築年度	昭和43年度	棟数	11
耐用年数	50年	稼働年数	48年
建物取得価額等	2,355,650千円	建物減価償却累計額	1,489,221千円
管理形態	直営	建物減価償却率	63.22%
土地の所有	市	年間延利用者数	132589人
施設別利用者数	公民館	子育て支援センター	市役所
	43323人	24676人	64590人
複合施設(機能)	公民館	子育て支援センター	0
	直営	直営	
駐車場	来客用	運営用	
	401	(210)	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	市役所	長久手市役所
	徒歩20分	徒歩1分	徒歩1分
運営時間	公民館	子育て支援センター	市役所
	9:00~21:00	9:00~17:00	8:30~17:15
運営人数	職員数	委託従事者数	
	354	26	
施設稼働率(公民館)	学習室1	学習室2	教養会議室
	54.5%	49.5%	53.7%
	研修室	講義室	和風会議室
	68.0%	50.6%	50.6%
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	○	○
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

備考

<ul style="list-style-type: none"> <li>S62 本庁舎増築</li> <li>H13 西庁舎改修</li> <li>H15 本庁舎耐震</li> <li>H20 西庁舎耐震</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センター複合機能は次の2つ。 家庭児童相談室 ファミリーサポートセンター</li> <li>市役所用地には、高齢者生きがいセンター用地及び保健センター用地を含む。</li> <li>運営用駐車場の台数は来客用台数を含む。</li> </ul>
--	---

施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額	市役所	公民館	子育て支援センター
施設費用	維持管理費 人件費	57,851	53,753	0	4,098
	維持管理費 物件費	205,538	204,096	0	1,442
	維持管理費 経費	9,688	9,683	0	5
	減価償却費	65,538	65,538	0	0
	維持補修費	14,179	14,179	0	0
	施設費用 合計	352,794	347,249	0	5,545
事業関連費用	サービス人件費	1,291,319	1,271,578	11,362	8,379
	サービス物件費	644,947	639,918	4,755	275
	サービス経費	2,732,069	2,730,275	1,787	7
	事業関連費用 合計	4,668,335	4,641,770	17,904	8,661
費用合計		5,021,129	4,989,020	17,904	14,206
資本的支出		0	212,034	0	0

債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	34,000	46,000	0	80,000

資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
市役所用地	土地	984,679	984,679
市役所駐車場用地	土地	576,608	576,608
本庁舎	建物	494,794	19,792
本庁舎(増築)	建物	443,231	186,157
西庁舎	建物	641,700	102,672
北庁舎	建物	99,501	80,695
東庁舎	建物	39,600	0
仮庁舎	建物	86,214	86,214
2階建て書庫	建物	9,240	6,801
土木倉庫	建物	3,336	1,244
S書庫	建物	2,333	870
連絡通路	建物	10,500	5,303
組合事務所	建物	5,004	0
市役所公用車駐車場	工作物	3,014	0
市役所第1駐車場	工作物	35,815	0
市役所第2駐車場	工作物	67,424	0
市役所第3駐車場	工作物	2,297	0
市役所第4駐車場	工作物	9,305	0
EV充電スタンド	工作物	2,052	1,592

資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
西庁舎(改修)	建物	38,170	18,322
西庁舎(改修)	建物	231,000	161,700
本庁舎(耐震改修)	建物	195,000	144,300
西庁舎(耐震改修)	建物	54,000	45,360
本庁舎市民課カウンター改修工事	建物	1,566	1,535
西庁舎パーテーション改修	建物	3,498	3,498
本庁舎パーテーション改修	建物	1,967	1,967
西庁舎1階談話室空調更新工事	建物付属設備	1,890	1,763
仮庁舎LAN配線等設置	建物付属設備	637	637
西庁舎トイレ改修	建物付属設備	1,328	1,328
本庁舎空調本体改修	建物付属設備	116,607	116,607
本庁舎トイレ改修	建物付属設備	1,783	1,783

## 施設名称： 消防本部

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	4,410
	維持管理費 物件費	10,666
	維持管理費 経費	1,156
	減価償却費	34,794
	維持補修費	7,527
施設費用 合計		58,553
事業関連費用	サービス人件費	517,664
	サービス物件費	38,779
	サービス経費	21,519
事業関連費用 合計		577,962
費用合計		636,515
資本的支出		8,856

### 施設概要

所在地	岩作長池5 1 番地		
施設分類 (大)	行政施設	施設分類 (中)	消防施設
主管課	消防本部	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2240㎡
建築年度	昭和58年度	棟数	4
耐用年数	50年	稼働年数	33年
建物取得価額等	573,919千円	建物減価償却累計額	372,483千円
管理形態	直営	建物減価償却率	64.90%
土地の所有	市	利用対象者数	67人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	8	30	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	青少年児童センター	長久手消防署
	徒歩21分	徒歩1分	徒歩1分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	67	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	○	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
消防本部用地	土地	463,273	463,273
消防庁舎	建物	539,825	183,541
消防資機材倉庫	建物	15,264	10,227
救急消毒室	建物	14,175	7,669
倉庫	建物	4,655	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
非常用発電機更新工事	建物付属設備	5,184	5,184
給湯設備改修工事	建物付属設備	2,484	2,484
加圧給水ポンプ更新工事	建物付属設備	1,188	1,188

### 備考

--

## 施設名称： 清掃センター

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	2,811
	維持補修費	608
施設費用 合計		3,419
事業関連費用	サービス人件費	76,008
	サービス物件費	7,685
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		83,693
費用合計		87,113
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作宮前99番地		
施設分類(大)	行政施設	施設分類(中)	清掃施設
主管課	環境課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	899㎡
建築年度	平成18年度	棟数	2
耐用年数	38年	稼働年数	10年
建物取得価額等	100,315千円	建物減価償却累計額	40,803千円
管理形態	直営	建物減価償却率	40.68%
土地の所有	市	年間延利用者数	181429人
複合施設(機能)	清掃車庫	ストックヤード	
駐車場	来客用	運営用	
	27	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	市役所	長久手市役所
	徒歩22分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月曜日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	9	
施設稼働率	多目的室		
	32.8%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
清掃センター用地	土地	104,372	104,372
ストックヤード用地	土地	34,416	34,416
清掃センター	建物	65,140	47,552
清掃車庫・ストックヤード	建物	35,175	11,960
太陽光発電システム	工作物	9,397	4,135

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

--



**施設名称： セーフティステーション**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	3,915
	維持管理費 物件費	581
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	282
	維持補修費	61
施設費用 合計		4,838
事業関連費用	サービス人件費	27,881
	サービス物件費	1,617
	サービス経費	109,356
事業関連費用 合計		138,855
費用合計		143,692
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	秋ヶ池201番地1		
施設分類(大)	行政施設	施設分類(中)	防災・防犯施設
主管課	安心安全課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	55㎡
建築年度	平成16年度	棟数	1
耐用年数	38年	稼働年数	12年
建物取得価額等	10,427千円	建物減価償却累計額	3,378千円
管理形態	直営	建物減価償却率	32.40%
土地の所有	市	利用対象者数	6人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	3	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	秋ヶ池公園	秋ヶ池公園駅南口	菖蒲池
	徒歩1分	徒歩1分	徒歩15分
運営時間	月・水・金	火・木・土・日	定休日
	10:00~22:00	13:00~22:00	12月31日~1月3日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	6	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	-	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
セーフティステーション用地	土地	41,289	41,289
セーフティステーション	建物	10,427	7,049

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

--

**施設名称：西部防災倉庫**

**施設外観**



**施設コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	389
	維持補修費	84
施設費用 合計		473
事業関連費用	サービス人件費	27,086
	サービス物件費	3,910
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		30,997
費用合計		31,469
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	作田二丁目302番地		
施設分類 (大)	行政施設	施設分類 (中)	防災・防犯施設
主管課	安心安全課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	214㎡
建築年度	平成3年度	棟数	1
耐用年数	17年	稼働年数	8年
建物取得価額等	6,585千円	建物減価償却累計額	3,108千円
管理形態	直営	建物減価償却率	47.20%
土地の所有	市	年間延利用者数	-
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	6	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	藤が丘	西ノ根集会所	作田
	徒歩15分	徒歩1分	徒歩1分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	-	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
西部防災倉庫用地	土地	58,208	58,208
西部防災倉庫	建物	6,585	3,477

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

- ・平成20年4月1日に中古資産として取得。
- ・簡便法により取得後の耐用年数を算出。
- ・建築時の取得原価が不明のため、再調達原価を算出の上、取得時の残存価額を算出。

## 施設名称： 南部防災倉庫

### 施設外観



### 施設コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	1,479
	維持補修費	320
施設費用 合計		1,799
事業関連費用	サービス人件費	28,137
	サービス物件費	4,062
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		32,200
費用合計		33,999
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	卯塚一丁目710番地		
施設分類(大)	行政施設	施設分類(中)	防災・防犯施設
主管課	安心安全課	地区	市が洞小学校区
主たる構造	軽量鉄骨造	延床面積	229㎡
建築年度	平成25年度	棟数	1
耐用年数	27年	稼働年数	3年
建物取得価額等	38,930千円	建物減価償却累計額	4,438千円
管理形態	直営	建物減価償却率	11.40%
土地の所有	市	年間延利用者数	-
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	-	片平東	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	-	-	-
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	○
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
南部防災倉庫用地	土地	28,378	28,378
南部防災倉庫	建物	38,930	34,492

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

--

**施設名称： 中央図書館**

**施設外観**



**施設コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	52,275
	維持管理費 物件費	59,599
	維持管理費 経費	67
	減価償却費	35,480
	維持補修費	7,676
施設費用 合計		155,097
事業関連費用	サービス人件費	15,651
	サービス物件費	174
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		15,826
費用合計		170,922
資本的支出		3,978

**施設概要**

所在地	坊の後114番地		
施設分類(大)	社会教育施設	施設分類(中)	図書館
主管課	中央図書館	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	4201㎡
建築年度	平成4年度	棟数	1
耐用年数	50年	稼働年数	24年
建物取得価額等	1,599,898千円	建物減価償却累計額	767,951千円
管理形態	直営	建物減価償却率	48.00%
土地の所有	一部民間	年間延利用者数	338342人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	117	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	中央図書館	長久手郵便局前
	徒歩8分	徒歩1分	徒歩8分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~19:00	月曜日、第4火曜日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	21	0	
施設稼働率	AVルーム	ギャラリー	
	48.0%	40.0%	
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	○	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	38,000	0	0	38,000

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
中央図書館用地	土地	229,401	229,401
中央図書館西駐車場用地	土地	162,500	162,500
中央図書館	建物	1,599,898	831,947

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
空調設備改修工事	建物付属設備	51,974	48,492
第一駐車場整備工事	工作物	3,978	3,978

**備考**

--

## 施設名称：長久手古戦場野外活動施設

### 施設外観



### 施設コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	5,572
	維持管理費 物件費	9,119
	維持管理費 経費	20
	減価償却費	3,062
	維持補修費	663
施設費用 合計		18,436
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		18,436
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	武蔵塚204番地 古戦場公園内		
施設分類(大)	社会教育施設	施設分類(中)	博物館等
主管課	生涯学習課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	477㎡
建築年度	昭和59年度	棟数	1
耐用年数	50年	稼働年数	32年
建物取得価額等	153,117千円	建物減価償却累計額	97,995千円
管理形態	委託	建物減価償却率	64.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	30920人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	49	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	長久手古戦場	長久手古戦場
	徒歩3分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月曜日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	1	1	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手古戦場野外活動施設	建物	153,117	55,122

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

- ・ 防災: 調理設備は行政財産(目的外)使用許可により、喫茶室経営者に貸与中。
- ・ 郷土資料室用地は古戦場公園用地に含む。

**施設名称：茶室****施設外観****施設コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	3,094
	維持補修費	669
施設費用 合計		3,763
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		3,763
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	岩作色金37番地1 色金山歴史公園内		
施設分類(大)	社会教育施設	施設分類(中)	その他社会教育施設
主管課	生涯学習課	地区	長久手小学校区
主たる構造	木造	延床面積	152㎡
建築年度	平成7年度	棟数	1
耐用年数	22年	稼働年数	21年
建物取得価額等	67,250千円	建物減価償却累計額	64,964千円
管理形態	直営	建物減価償却率	96.60%
土地の所有	市	年間延利用者数	10575人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	55	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	安昌寺	岩作
	徒歩28分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:30~16:00	9:30~16:00	月曜日、祝日の振替日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	7	0	
施設稼働率	さつきの間	かえでの間	胡牀庵
	11.9%	6.2%	8.7%
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
茶室	建物	67,250	2,287

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

・茶室用地は色金山歴史公園用地に含む。

**施設名称： 平成こども塾**

**施設外観**



**施設コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	10,307
	維持管理費 物件費	3,374
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	4,885
	維持補修費	1,057
施設費用 合計		19,623
事業関連費用	サービス人件費	5,868
	サービス物件費	3,648
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		9,517
費用合計		29,139
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	福井 1 5 9 0 番 5 0		
施設分類 (大)	社会教育施設	施設分類 (中)	その他社会教育施設
主管課	みどりの推進課	地区	東小学校区
主たる構造	木造	延床面積	374㎡
建築年度	平成17年度	棟数	1
耐用年数	15年	稼働年数	11年
建物取得価額等	59,986千円	建物減価償却累計額	44,210千円
管理形態	直営	建物減価償却率	73.70%
土地の所有	市	年間延利用者数	9980人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	25	1	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	平成こども塾	-
	徒歩20分	徒歩0分	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:00	9:00~17:00	月曜日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	4	0	
施設稼働率	かまど広場		
	56.5%		
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	6,000	0	3,000	3,000

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
平成こども塾用地	土地	105,461	105,461
活動拠点施設	建物	59,986	15,776
屋外作業場 (かまど広場)	工作物	17,325	7,796

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

--

## 施設名称： 青少年児童センター

### 施設外観



### 施設コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	500
	維持管理費 物件費	7,913
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	7,435
	維持補修費	1,609
施設費用 合計		17,457
事業関連費用	サービス人件費	15,879
	サービス物件費	20,862
	サービス経費	77
事業関連費用 合計		36,818
費用合計		54,274
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作中島7番地1		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	児童館
主管課	子育て支援課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	1068㎡
建築年度	平成19年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	9年
建物取得価額等	246,750千円	建物減価償却累計額	66,623千円
管理形態	直営	建物減価償却率	27.00%
土地の所有	一部民間	年間延利用者数	37031人
複合施設(機能)	児童クラブ 直営		
駐車場	来客用	運営用	
	15	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	青少年児童センター	長久手消防署
	徒歩19分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:30	9:00~17:00	日曜日・祝日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	4	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
青少年児童センター	建物	246,750	180,128

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
バスケットコート整備工事	工作物	961	929

### 備考

・1階にて長久手児童クラブを実施。





## 施設名称： 長久手西児童館

### 施設外観



### 施設コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	875
	維持管理費 物件費	1,566
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	2,587
	維持補修費	560
施設費用 合計		5,589
事業関連費用	サービス人件費	9,651
	サービス物件費	12,680
	サービス経費	47
事業関連費用 合計		22,378
費用合計		27,967
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	久保山2110番地		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	児童館
主管課	子育て支援課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	291㎡
建築年度	平成6年度	棟数	1
耐用年数	47年	稼働年数	22年
建物取得価額等	117,600千円	建物減価償却累計額	56,918千円
管理形態	直営	建物減価償却率	48.40%
土地の所有	市	年間延利用者数	12697人
複合施設(機能)	児童クラブ 直営		
駐車場	来客用 1	運営用 0	
アクセス	リニモ はなみずき通 徒歩7分	N-バス 久保山 徒歩2分	名鉄バス はなみずき通南 徒歩5分
運営時間	平日 9:00~17:30	土日祝 9:00~17:00	定休日 日曜日・祝日
運営人数	職員数 2	委託従事者数 0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準 ○	耐震補強実施 -	耐震診断実施 -
防災	避難所指定 ○	代替電源設備 -	備蓄倉庫 -
バリアフリー	冷暖房設備 ○	調理設備 ○	
	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	雨水利用		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手西児童館用地	土地	33,055	33,055
長久手西児童館	建物	117,600	60,682

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・2階にて長久手西児童クラブを実施。

## 施設名称： 下山児童館

### 施設外観



### 施設コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	875
	維持管理費 物件費	1,356
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	1,694
	維持補修費	366
施設費用 合計		4,292
事業関連費用	サービス人件費	5,867
	サービス物件費	7,708
	サービス経費	28
事業関連費用 合計		13,603
費用合計		17,895
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	下川原14番地50		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	児童館
主管課	子育て支援課	地区	北小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	227㎡
建築年度	昭和53年度	棟数	1
耐用年数	47年	稼働年数	38年
建物取得価額等	77,000千円	建物減価償却累計額	64,372千円
管理形態	直営	建物減価償却率	83.60%
土地の所有	市	年間延利用者数	5290人
複合施設(機能)	児童クラブ		
	直営		
駐車場	来客用	運営用	
	1	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	藤が丘	榑木	-
	徒歩11分	徒歩2分	-
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:30	9:00~17:00	日曜日・祝日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	2	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
下山児童館等用地	土地	14,893	14,893
下山児童館	建物	77,000	12,628

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・2階で下山児童クラブを実施  
 ・耐震診断の結果、構造耐震判定指数を上回った数値が算出されたため、耐震補強は実施せず。

## 施設名称：長久手南児童館

### 施設外観



### 施設コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	875
	維持管理費 物件費	1,670
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	2,657
	維持補修費	575
施設費用 合計		5,777
事業関連費用	サービス人件費	11,791
	サービス物件費	15,492
	サービス経費	57
事業関連費用 合計		27,340
費用合計		33,116
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	長配二丁目1003番地		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	児童館
主管課	子育て支援課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	324㎡
建築年度	平成7年度	棟数	1
耐用年数	47年	稼働年数	21年
建物取得価額等	120,750千円	建物減価償却累計額	55,787千円
管理形態	直営	建物減価償却率	46.20%
土地の所有	市	年間延利用者数	10869人
複合施設(機能)	児童クラブ 直営		
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	愛知学院大学西	愛知学院大学西
	徒歩15分	徒歩4分	徒歩4分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	9:00~17:30	9:00~17:00	日曜日・祝日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	2	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手南児童館等用地	土地	63,941	63,941
長久手南児童館	建物	120,750	64,964

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

・2階で長久手南児童クラブを実施。

**施設名称： 交通児童遊園**

**施設外観**



**施設コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	3,502
	維持管理費 物件費	2,933
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	691
	維持補修費	149
施設費用 合計		7,275
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		7,275
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	城屋敷410番地		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	児童館
主管課	子育て支援課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	121㎡
建築年度	昭和57年度	棟数	2
耐用年数	34年	稼働年数	34年
建物取得価額等	22,911千円	建物減価償却累計額	22,911千円
管理形態	直営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	年間延利用者数	17551人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	14	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	まちづくりセンター	砂子
	徒歩10分	徒歩3分	徒歩6分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	13:00~16:45 (備考)	9:00~16:45 (備考)	月曜日 (備考)
運営人数	職員数	委託従事者数	
	4	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	-	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
交流施設	建物	21,000	0
自転車置場	建物	1,911	0
交通児童遊園	工作物	19,236	2,885

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

**備考**

- ・閉館日  
月曜休み  
※長期休暇中は日曜日休み
- ・開館時間  
(4~10月) 火~金13:00~16:45、土・日9:00~16:45  
(11~3月) 火~金13:00~16:00、土・日9:00~16:00  
※長期休暇は9:00から
- ・交通児童遊園用地は血の池公園用地に含む。

## 施設名称： 上郷保育園

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	1,126
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	0
	維持補修費	0
施設費用 合計		1,126
事業関連費用	サービス人件費	17,068
	サービス物件費	38,055
	サービス経費	10,417
事業関連費用 合計		65,540
費用合計		66,666
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	前熊志水1 4 8 番地		
施設分類 (大)	子育て支援施設	施設分類 (中)	保育園
主管課	子育て支援課	地区	東小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	767㎡
建築年度	昭和49年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	42年
建物取得価額等	144,196千円	建物減価償却累計額	144,196千円
管理形態	直営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	利用対象者数	124人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運管用	
	16	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	公園西	北熊橋	長久手福祉の家北
	徒歩19分	徒歩4分	徒歩15分
運営時間	平日	土	定休日
	7:30~18:30	7:30~14:00	日曜日・祝日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	30	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
上郷保育園用地	土地	104,357	104,357
上郷保育園	建物	144,196	0

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

--

## 施設名称：色金保育園

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	750
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	11,025
	維持補修費	2,385
施設費用 合計		14,161
事業関連費用	サービス人件費	22,416
	サービス物件費	77,535
	サービス経費	20,125
事業関連費用 合計		120,076
費用合計		134,237
資本的支出		0

### 施設概要

所在地	岩作中島13番地		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	保育園
主管課	子育て支援課	地区	長久手小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	1809㎡
建築年度	平成16年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	12年
建物取得価額等	367,500千円	建物減価償却累計額	132,300千円
管理形態	直営	建物減価償却率	36.00%
土地の所有	市	利用対象者数	218人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	5	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	長久手古戦場	青少年児童センター	長久手消防署前
	徒歩19分	徒歩3分	徒歩3分
運営時間	平日	土	定休日
	7:30~18:00	7:30~18:00	日曜日・祝日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	72	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	○
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	○	○
	雨水利用		
	○		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	71,288	0	7,655	63,633

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
色金保育園用地	土地	155,660	155,660
園舎	建物	367,500	235,200

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価

### 備考

--

**施設名称： 長湫東保育園**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	750
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	50
	維持補修費	11
施設費用 合計		811
事業関連費用	サービス人件費	16,835
	サービス物件費	51,389
	サービス経費	13,174
事業関連費用 合計		81,398
費用合計		82,209
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	東狭間703番地		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	保育園
主管課	子育て支援課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	821㎡
建築年度	昭和53年度	棟数	1
耐用年数	34年	稼働年数	38年
建物取得価額等	154,348千円	建物減価償却累計額	154,348千円
管理形態	直営	建物減価償却率	100.00%
土地の所有	市	利用対象者数	137人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	12	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	仲作田公園	長久手口
	徒歩8分	徒歩1分	徒歩3分
運営時間	平日	土	定休日
	7:30~18:30	7:30~14:00	日曜日・祝日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	44	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	○	○
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長湫東保育園用地	土地	187,863	187,863
長湫東保育園	建物	154,348	0

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
保育室空調機取替工事	建物付属設備	741	691

**備考**

--



## 施設名称：長湫西保育園

### 施設外観



### 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	7,499
	維持補修費	1,622
施設費用 合計		9,121
事業関連費用	サービス人件費	57,859
	サービス物件費	89,207
	サービス経費	19,929
事業関連費用 合計		166,995
費用合計		176,116
資本的支出		19,710

### 施設概要

所在地	作田二丁目1701番地		
施設分類 (大)	子育て支援施設	施設分類 (中)	保育園
主管課	子育て支援課	地区	西小学校区
主たる構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1474㎡
建築年度	昭和54年度	棟数	1
耐用年数	47年	稼働年数	37年
建物取得価額等	351,485千円	建物減価償却累計額	264,189千円
管理形態	直営	建物減価償却率	75.16%
土地の所有	市	利用対象者数	191人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	6	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	藤が丘	草掛集会所	草掛
	徒歩19分	徒歩2分	徒歩2分
運営時間	平日	土	定休日
	7:00~19:00	7:30~14:00	日曜日・祝日
運営人数	職員数	委託従事者数	
	54	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
防災	○	-	-
	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	○	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	○	○	
	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	-	-	-
	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

### 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

### 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長湫西保育園用地	土地	272,678	272,678
園舎	建物	324,280	60,316

### 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
改修工事	建物	7,495	7,270
トイレ改修等	建物	19,710	19,710

### 備考

・平成5年改築の際に耐震対応済み。
-------------------







**施設名称：長久手学童保育所**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	938
	維持補修費	203
施設費用 合計		1,141
事業関連費用	サービス人件費	767
	サービス物件費	1,552
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		2,319
費用合計		3,460
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	久保山2308番地		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	学童保育所
主管課	子育て支援課	地区	西小学校区
主たる構造	軽量鉄骨造	延床面積	164.03㎡
建築年度	平成16年度	棟数	1
耐用年数	27年	稼働年数	12年
建物取得価額等	24,675千円	建物減価償却累計額	11,252千円
管理形態	委託	建物減価償却率	45.60%
土地の所有	市	利用対象者数	69人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	5	3	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	久保山	はなみずき通り南
	徒歩7分	徒歩5分	徒歩5分
運営時間	平日	土	定休日
	(備考)	8:00~18:30	日祝祭、年末年始、お盆休み
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	11	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手学童保育所用地	土地	56,364	56,364
長久手学童保育所	建物	24,675	13,423

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	取得年度	取得価額	期末簿価

**備考**

運営時間(平日)
・通常：下校後～午後7時
・長期休暇：午前8時～午後7時

# 施設名称：長久手長南学童保育所

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	958
	維持補修費	207
施設費用 合計		1,165
事業関連費用	サービス人件費	783
	サービス物件費	1,586
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		2,368
費用合計		3,533
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	宮脇 9 0 3 番地		
施設分類 (大)	子育て支援施設	施設分類 (中)	学童保育所
主管課	子育て支援課	地区	長久手小学校区
主たる構造	軽量鉄骨造	延床面積	204.96㎡
建築年度	平成18年度	棟数	1
耐用年数	27年	稼働年数	10年
建物取得価額等	25,200千円	建物減価償却累計額	9,576千円
管理形態	委託	建物減価償却率	38.00%
土地の所有	市	利用対象者数	71人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	3	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	長久手郵便局南	東長久手
	徒歩7分	徒歩10分	徒歩1分
運営時間	平日	土	定休日
	(備考)	8:00~19:00	日祝祭、年末年始、お盆休み
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	5	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手長南学童保育所用地	土地	22,169	22,169
長久手長南学童保育所	建物	25,200	15,624

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	取得年度	取得価額	期末簿価

## 備考

運営時間 (平日) ・通常：下校後～午後7時 ・長期休暇：午前8時～午後7時
--

**施設名称：長久手北学童保育所**

**施設外観**



**施設別コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	1,049
	維持補修費	227
施設費用 合計		1,276
事業関連費用	サービス人件費	1,267
	サービス物件費	2,566
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		3,833
費用合計		5,110
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	岩作落合203番地		
施設分類 (大)	子育て支援施設	施設分類 (中)	学童保育所
主管課	子育て支援課	地区	北小学校区
主たる構造	軽量鉄骨造	延床面積	171.32㎡
建築年度	平成20年度	棟数	1
耐用年数	27年	稼働年数	8年
建物取得価額等	27,615千円	建物減価償却累計額	8,395千円
管理形態	委託	建物減価償却率	30.40%
土地の所有	市	利用対象者数	51人
複合施設 (機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	10	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	はなみずき通	落合	落合
	徒歩15分	徒歩1分	徒歩5分
運営時間	平日	土	定休日
	(備考)	8:00~18:30	日祝祭、年末年始、お盆休み
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	13	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	-	-
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
長久手北学童保育所用地	土地	13,170	13,170
長久手北学童保育所	建物	27,615	19,220

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	取得年度	取得価額	期末簿価

**備考**

運営時間 (平日)
・ 通常：下校後～午後7時
・ 長期休暇：午前8時～午後7時

# 施設名称：市が洞学童保育所

## 施設外観



## 施設別コスト

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	0
	維持管理費 物件費	0
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	2,610
	維持補修費	565
施設費用 合計		3,174
事業関連費用	サービス人件費	3,560
	サービス物件費	7,210
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		10,770
費用合計		13,944
資本的支出		0

## 施設概要

所在地	卯塚一丁目101番地		
施設分類(大)	子育て支援施設	施設分類(中)	学童保育所
主管課	子育て支援課	地区	市が洞小学校区
主たる構造	木造	延床面積	194.92㎡
建築年度	平成27年度	棟数	1
耐用年数	22年	稼働年数	1年
建物取得価額等	113,464千円	建物減価償却累計額	2,496千円
管理形態	委託	建物減価償却率	2.20%
土地の所有	市	利用対象者数	75人
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	3	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	たいようの杜	愛知たいようの杜
	徒歩25分	徒歩5分	徒歩5分
運営時間	平日	土	定休日
	(備考)	8:00~19:00	日祝祭、年末年始、お盆休み
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	8	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
	○	○	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	○	-	○
	自動ドア	手すり	点字ブロック
	-	○	○
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
	-		

## 債務残高

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

## 資産構成

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
市が洞学童保育所	建物	113,464	110,968
外部フェンス	工作物	1,134	1,021

## 資本的支出

(単位：千円)

資産名称	取得年度	取得価額	期末簿価

## 備考

運営時間(平日) ・通常：下校後～午後7時 ・長期休暇：午前7時45分～午後7時
--



**施設名称： 杵ヶ池公園駅第1自転車等駐車場**

**施設外観**



**施設コスト**

(単位：千円)

大分類	中分類	金額
施設費用	維持管理費 人件費	1,398
	維持管理費 物件費	438
	維持管理費 経費	0
	減価償却費	1,876
	維持補修費	406
施設費用 合計		4,118
事業関連費用	サービス人件費	0
	サービス物件費	0
	サービス経費	0
事業関連費用 合計		0
費用合計		4,118
資本的支出		0

**施設概要**

所在地	杵ヶ池201番地1		
施設分類(大)	その他	施設分類(中)	駐輪場
主管課	安心安全課	地区	南小学校区
主たる構造	鉄骨造	延床面積	317.3㎡
建築年度	平成16年度	棟数	1
耐用年数	31年	稼働年数	12年
建物取得価額等	19,038千円	建物減価償却累計額	7,539千円
管理形態	直営	建物減価償却率	39.60%
土地の所有	市	年間延利用者数	-
複合施設(機能)			
駐車場	来客用	運営用	
	0	0	
アクセス	リニモ	N-バス	名鉄バス
	杵ヶ池公園	杵ヶ池公園駅南口	菖蒲池
	徒歩1分	徒歩1分	徒歩15分
運営時間	平日	土日祝	定休日
	24時間	24時間	無休
運営人数	職員数	委託従事者数	
	0	0	
施設稼働率			
耐震化状況	耐震基準	耐震補強実施	耐震診断実施
	○	-	-
防災	避難所指定	代替電源設備	備蓄倉庫
	-	-	-
	冷暖房設備	調理設備	
バリアフリー	障がい者対応トイレ	障がい者対応エレベーター	スロープ
	-	-	-
	自動ドア	手すり	点字ブロック
環境配慮	建物緑化	太陽光発電	自然エネルギー
	-	-	-
	雨水利用		
-			

**債務残高**

(単位：千円)

財源	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
地方債	0	0	0	0

**資産構成**

(単位：千円)

資産名称	勘定科目	取得価額	期末簿価
第1自転車等駐車場	建物	19,038	11,499

**資本的支出**

(単位：千円)

資産名称	取得年度	取得価額	期末簿価

**備考**

・杵ヶ池公園駅第1自転車等駐車場用地はセーフティステーション用地に含む。

# 長久手市の公共施設のあり方に関するアンケート調査

## 結果報告書

平成29年1月

長久手市

## 目次

1 アンケート調査の概要.....	2
(1) 調査の目的.....	2
(2) 実施状況.....	2
2 アンケートの回収票の信頼性.....	3
3 有効回答数.....	4
4 集計結果.....	4
(1) 回答者属性.....	4
(2) 公共施設の利用実態について.....	7
(3) 今後の公共施設のあり方について.....	11

## 1 アンケート調査の概要

### (1) 調査の目的

本市は、長久手村の時代（昭和40年代）から現在に至るまで、名古屋市のベッドタウンとして、急激に人口が増加してきました。人口の増加に合わせて、公共建築物やインフラの整備を行い、現存するほぼ全ての公共施設がこの間に整備されてきました。そして、これらの公共施設のおよそ3割程度が、完成後30年を経過し、老朽化が進んでいます。

また、本市においては、2050年頃までは人口が増加すると予測していますが、その時点では、既に生産年齢人口（15歳～64歳）は減少し始め、税収の減少、少子化・高齢化という、既に全国の多くの自治体が抱える問題を、本市も抱える時代が来ます。そのような時代を見据え、将来世代へ過度な負担を強いることにならないよう、施設の適正な規模とあり方を検討し、財務的なコントロールをしながら公共施設等をマネジメントしていく必要があります。

このような課題に対応するため、市民の皆様の公共施設の利用実態を把握するとともに、今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎資料として活用することを目的に、アンケート調査を実施しました。

### (2) 実施状況

項目	内容
調査時期	平成29年1月6日（金）から 平成29年1月22日（日）まで
調査対象	平成28年12月12日時点で、市内在住の18歳以上の方 2,000人
抽出方法	無作為抽出による
調査方法	郵送調査法
有効回答票数	919票
回答率	45.95%
調査項目	1 公共施設の利用実態について 2 今後の公共施設のあり方について

## 2 アンケートの回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は少なくなります。しかしその関係は一定ではなく、票数が少ないときは票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わりません。

統計学的には、この一定の数は、誤差：3～5%以内であればよいとされており、それを下記の計算式で逆算すると、概ね400～1,100票程度であることが算出されています。

つまり、有効回答票の回収率がこの程度あれば、住民意向の把握として十分納得できる数字になるといえます。

《必要なサンプル数（アンケートの有効回答票数）と誤差との関係式》

$$n \cong \frac{N}{\left[\frac{b}{1.96}\right]^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1} \quad (\text{ただし、} N \gg n \text{ の場合)}$$

n：必要なサンプル数（標本数）

N：母集団数

b：標本誤差

P：回答比率（P=0.5でnが最大）

参考）1.96は信頼水準によって定まる値で、本ケースでは信頼度95%に対応した「1.96」を採用した。

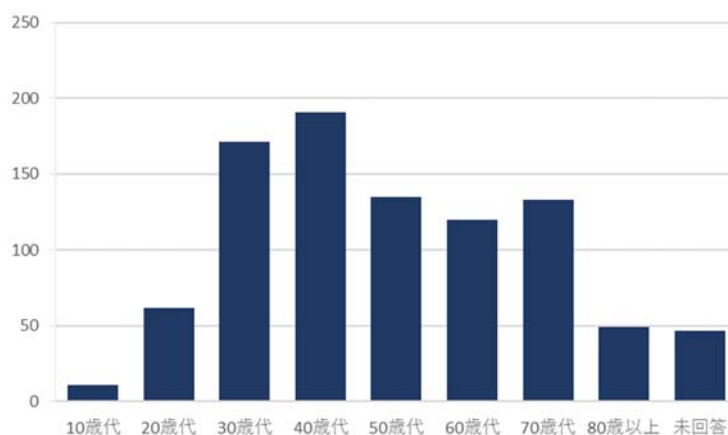
今回のアンケートでは919票の有効回答票数がありました。平成28年12月12日現在の長久手市の18歳以上人口は44,273人となりますので、誤差は3.2%となります。これは、例えば違う市民を対象にして、今回と同じ調査を100回行った場合でも、95回（信頼度95%）は、その結果の%との値が±3.2%以内でしか変わらないということです。

### 3 有効回答数

#### 年齢層別の有効回答数

年齢層	回答数	回答数に占める割合
10 歳代	11	1.2%
20 歳代	62	6.7%
30 歳代	171	18.6%
40 歳代	191	20.8%
50 歳代	135	14.7%
60 歳代	120	13.1%
70 歳代	133	14.5%
80 歳以上	49	5.3%
未回答	48	5.1%
合計	919	-

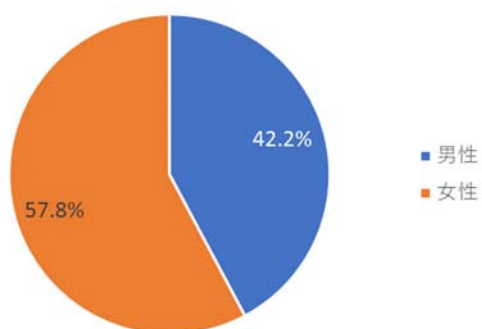
#### 回答者分布



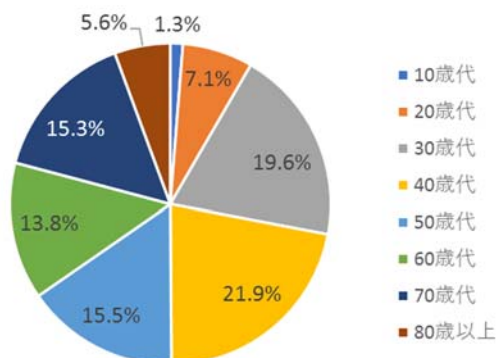
### 4 集計結果

#### (1) 回答者属性

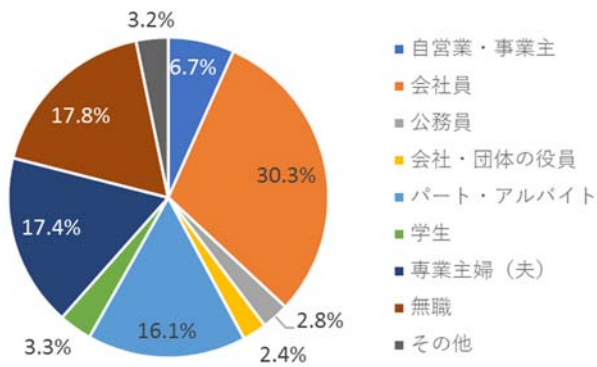
##### 性別 (n=872)



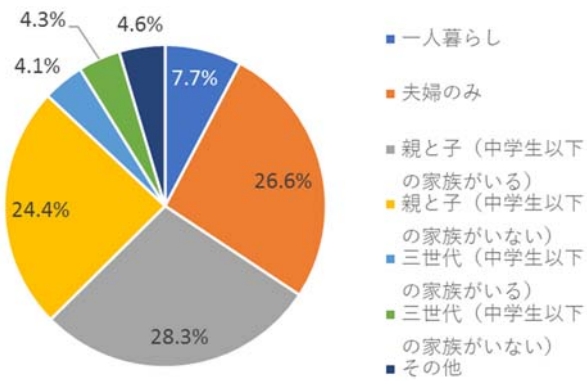
##### 年齢 (n=872)



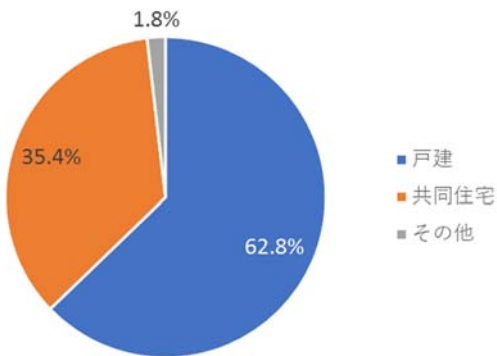
職業 (n=866)



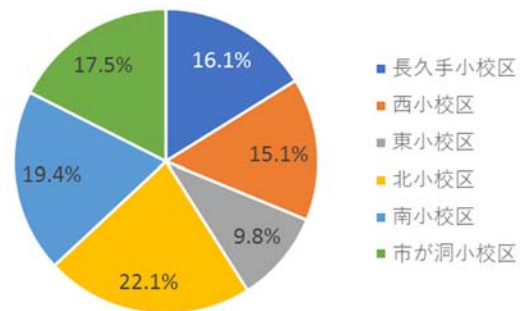
世帯構成 (n=869)



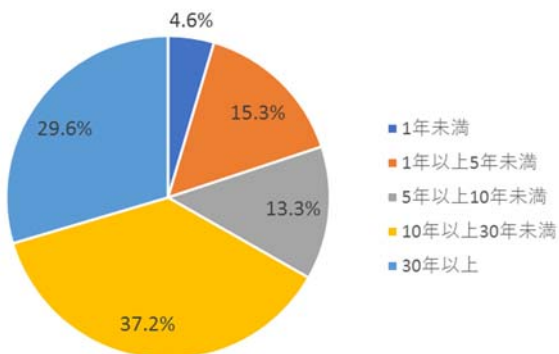
住居 (n=868)



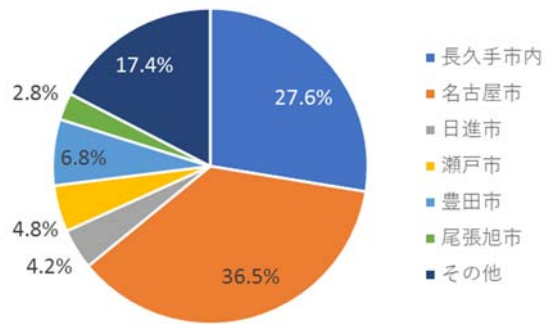
居住地域 (n=861)



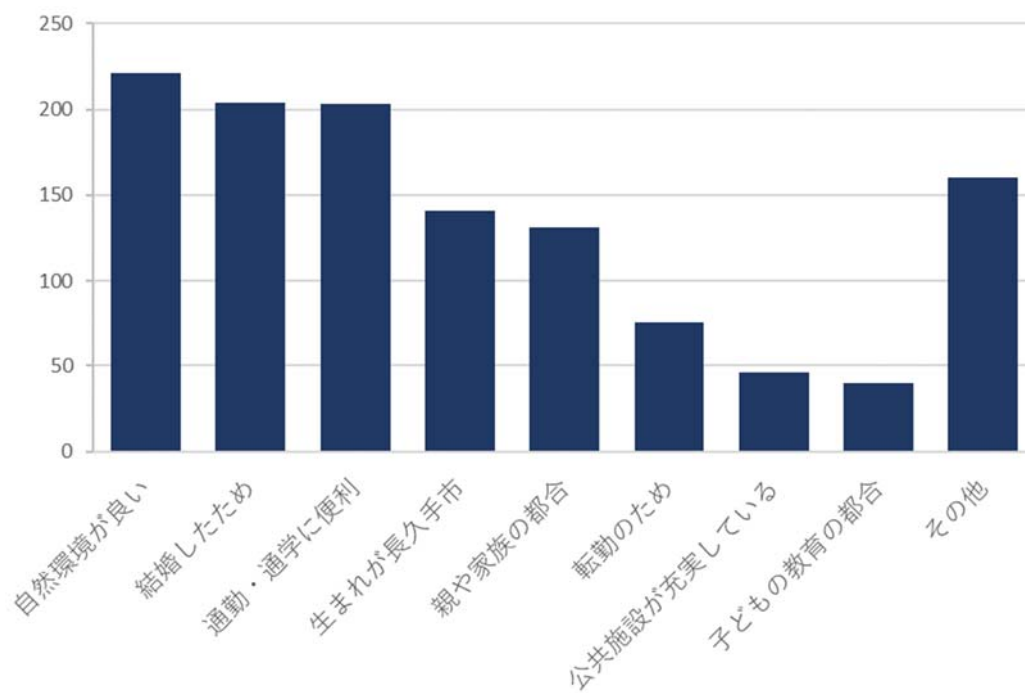
居住期間 (n=869)



### 通勤・通学 (n=649)



### 居住理由 (n=1,222)





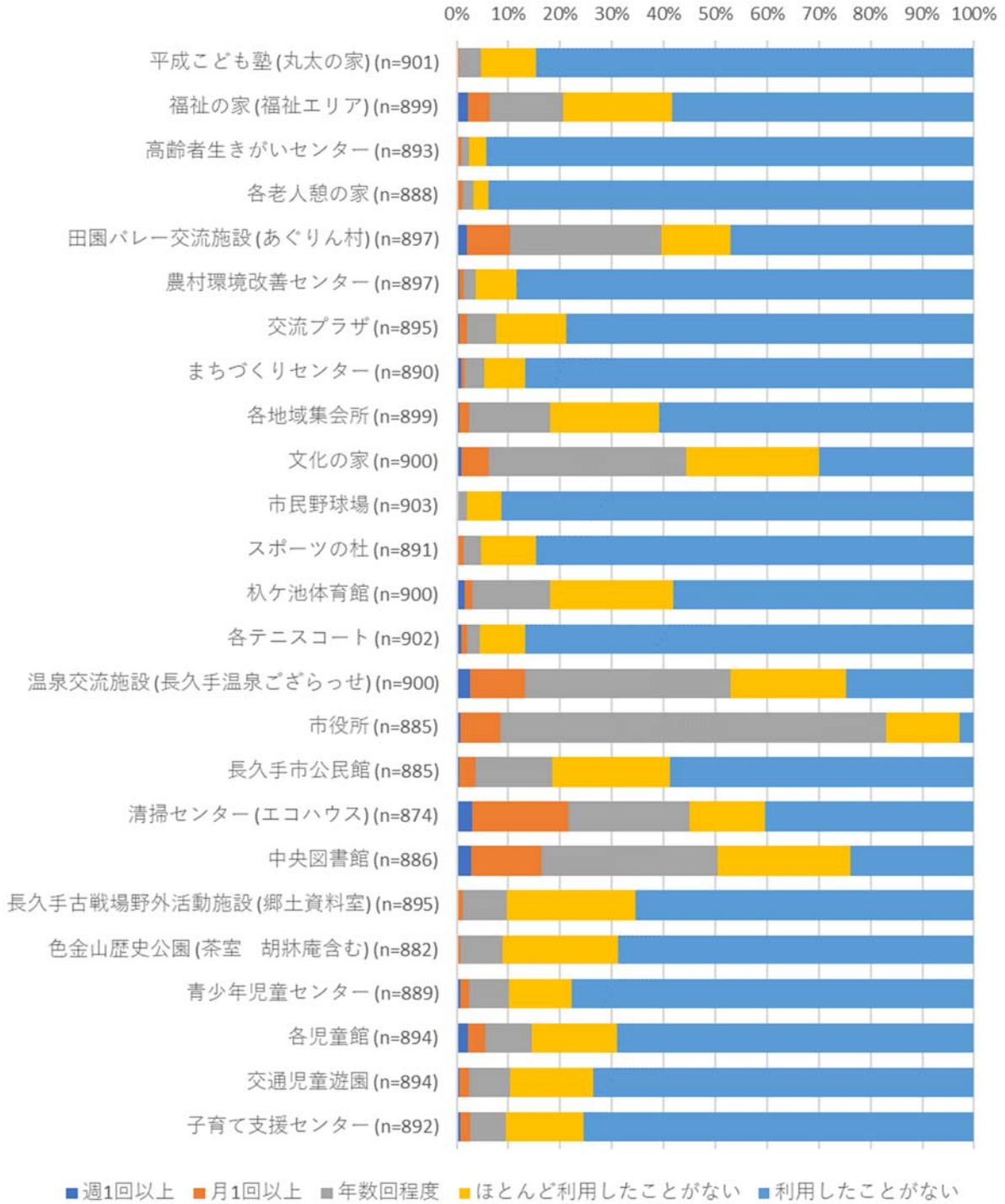
## (2) 公共施設の利用実態について

質問1 あなたは長久手市の公共施設をどれくらい利用していますか。

- 月1回以上利用すると回答した割合が最も高いのは、清掃センター（エコハウス）です。以下、割合が高い順に、中央図書館、温泉交流施設（長久手温泉ござらっせ）、田園バレー交流施設（あぐりん村）、市役所、福祉の家（福祉エリア）、文化の家、各児童館と続きます。
- 「年数回程度」と回答した割合が最も高いのは、市役所です。以下、割合が高い順に、温泉交流施設（長久手温泉ござらっせ）、文化の家、中央図書館、田園バレー交流施設（あぐりん村）、中央図書館と続きます。

	週1回以上	月1回以上	年数回程度	ほとんど利用したこと がない	利用した ことがない
平成こども塾（丸太の家）(n=901)	0.0%	0.4%	4.3%	10.5%	84.7%
福祉の家（福祉エリア）(n=899)	2.1%	4.2%	14.1%	21.2%	58.3%
高齢者生きがいセンター（n=893）	0.2%	0.7%	1.6%	3.2%	94.3%
各老人憩の家（n=888）	0.0%	1.1%	2.1%	2.9%	93.8%
田園バレー交流施設（あぐりん村）(n=897)	2.0%	8.2%	29.2%	13.5%	47.0%
農村環境改善センター（n=897）	0.4%	0.9%	2.2%	8.0%	88.4%
交流プラザ（n=895）	0.6%	1.3%	5.7%	13.6%	78.8%
まちづくりセンター（n=890）	0.9%	0.7%	3.7%	8.0%	86.7%
各地域集会所（n=899）	0.4%	2.0%	15.6%	21.0%	61.0%
文化の家（n=900）	1.0%	5.2%	38.2%	25.7%	29.9%
市民野球場（n=903）	0.1%	0.1%	1.8%	6.6%	91.4%
スポーツの杜（n=891）	0.3%	0.9%	3.5%	10.5%	84.7%
杖ヶ池体育館（n=900）	1.4%	1.7%	15.0%	23.7%	58.2%
各テニスコート（n=902）	0.9%	1.0%	2.5%	8.8%	86.8%
温泉交流施設（長久手温泉ござらっせ）(n=900)	2.7%	10.6%	39.7%	22.4%	24.7%
市役所（n=885）	0.8%	7.7%	74.6%	14.2%	2.7%
長久手市公民館（n=885）	0.5%	3.2%	14.8%	22.8%	58.8%
清掃センター（エコハウス）(n=874)	3.0%	18.6%	23.3%	14.6%	40.4%
中央図書館（n=886）	2.8%	13.7%	34.0%	25.7%	23.8%
長久手古戦場野外活動施設（郷土資料室）(n=895)	0.2%	1.0%	8.4%	25.0%	65.4%
色金山歴史公園（茶室 胡牀庵含む）(n=882)	0.1%	0.6%	8.3%	22.2%	68.8%
青少年児童センター（n=889）	0.7%	1.8%	7.5%	12.3%	77.7%
各児童館（n=894）	2.1%	3.4%	8.9%	16.7%	68.9%
交通児童遊園（n=894）	0.4%	1.9%	7.9%	16.1%	73.6%
子育て支援センター（n=892）	0.8%	1.9%	6.7%	15.0%	75.6%

# 質問 1

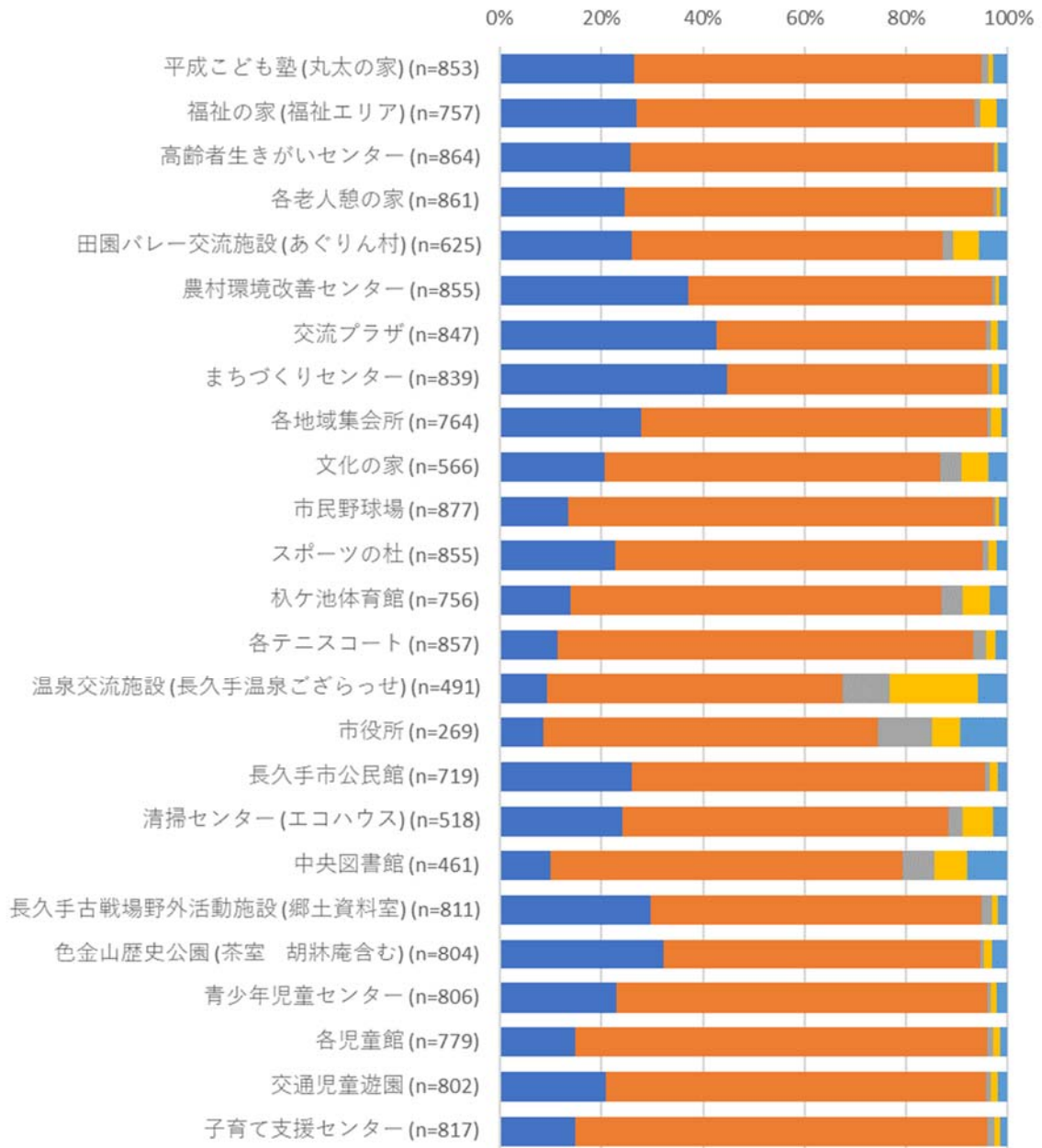


質問2 質問1で「4. ほとんど利用したことがない」「5. 利用したことがない」と回答された方に伺います。その理由は主にどのようなことでしょうか。

- いずれの施設も、「利用する必要がない」が最も多くの意見です。
- 「施設の存在やサービスを知らない」の割合が高い施設が見られることから、認知度を高めるためのPRが必要です。
- 田園バレー交流施設、温泉交流施設、市役所及び中央図書館は、「利用したいが、交通の便が悪く、行く手段がない」の割合が高くなっています。質問1において、利用率が高い施設に見られる傾向です。

	施設の存在 やサービス 内容を知ら ない	利用する必 要がない	施設、サー ビス、利用 時間、使用 料などに不 満がある	他が運営す る、同種の 施設やサー ビスを利用 してる	利用したい が、交通の 便が悪く、 行く手段が ない
平成こども塾(丸太の家)(n=853)	26.5%	68.3%	1.4%	0.8%	2.9%
福祉の家(福祉エリア)(n=757)	26.8%	66.6%	1.1%	3.3%	2.2%
高齢者生きがいセンター(n=864)	25.8%	71.4%	0.1%	0.7%	2.0%
各老人憩の家(n=861)	24.6%	72.6%	0.7%	0.6%	1.5%
田園バレー交流施設(あぐりん村)(n=625)	26.1%	61.1%	1.9%	5.1%	5.8%
農村環境改善センター(n=855)	37.2%	59.8%	0.6%	0.8%	1.6%
交流プラザ(n=847)	42.7%	52.9%	0.9%	1.4%	2.0%
まちづくりセンター(n=839)	44.8%	51.3%	0.7%	1.4%	1.8%
各地域集会所(n=764)	27.7%	68.2%	0.8%	2.0%	1.3%
文化の家(n=566)	20.7%	66.1%	4.1%	5.3%	3.9%
市民野球場(n=877)	13.6%	83.6%	0.5%	0.7%	1.7%
スポーツの杜(n=855)	22.7%	72.4%	1.2%	1.6%	2.1%
杵ヶ池体育館(n=756)	13.9%	73.0%	4.1%	5.4%	3.6%
各テニスコート(n=857)	11.4%	81.7%	2.6%	2.0%	2.3%
温泉交流施設(長久手温泉ござらっせ)(n=491)	9.4%	58.0%	9.4%	17.3%	5.9%
市役所(n=269)	8.6%	65.8%	10.8%	5.6%	9.3%
長久手市公民館(n=719)	25.9%	69.7%	1.0%	1.5%	1.9%
清掃センター(エコハウス)(n=518)	24.1%	64.3%	2.7%	6.0%	2.9%
中央図書館(n=461)	10.0%	69.2%	6.3%	6.5%	8.0%
長久手古戦場野外活動施設(郷土資料室)(n=811)	29.6%	65.2%	2.1%	1.1%	2.0%
色金山歴史公園(茶室 胡牀庵含む)(n=804)	32.3%	62.3%	0.6%	1.5%	3.2%
青少年児童センター(n=806)	23.1%	72.8%	0.7%	1.2%	2.1%
各児童館(n=779)	14.8%	81.1%	1.2%	1.4%	1.5%
交通児童遊園(n=802)	20.8%	74.9%	0.9%	1.4%	2.0%
子育て支援センター(n=817)	14.8%	81.0%	1.5%	1.1%	1.6%

## 質問 2



- 施設の存在やサービス内容を知らない
- 利用する必要がない
- 施設、サービス、利用時間、使用料などに不満がある
- 他が運営する、同種の施設やサービスを利用してる
- 利用したいが、交通の便が悪く、行く手段がない

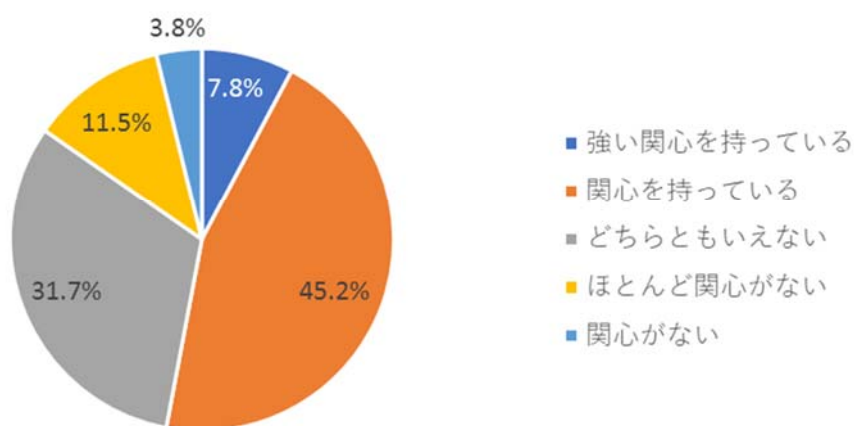
(3) 今後の公共施設のあり方について

**質問3** 市の公共施設の現状と今後の維持管理や更新・修繕または整備などに必要な財政負担の課題について、あなたはどれくらい関心をお持ちですか。

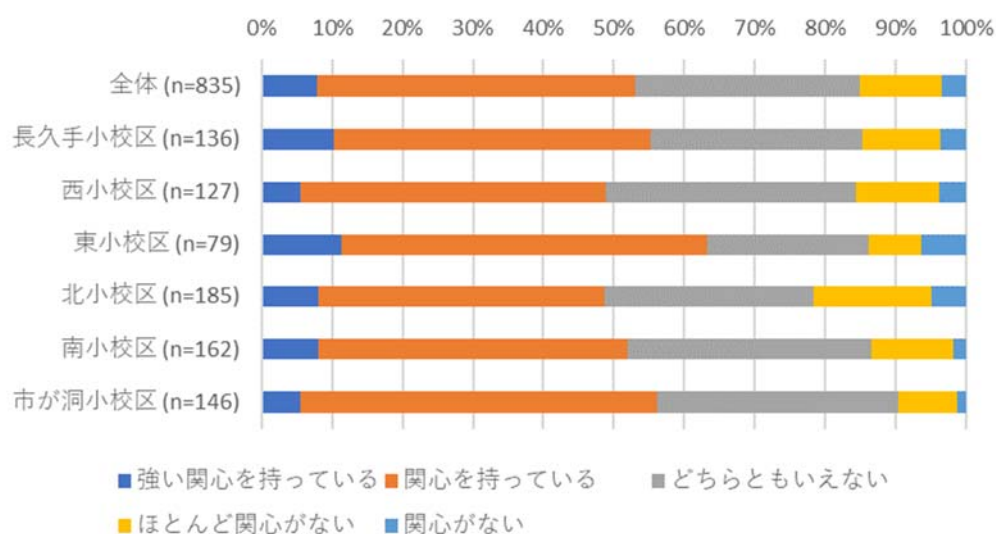
○「強い関心を持っている」及び「関心を持っている」を合わせると53%となり、公共施設の現状と今後の課題に対し、多くの市民が関心を寄せていることが分かります

	強い関心を持っている	関心を持っている	どちらともいえない	ほとんど関心がない	関心がない
市の公共施設の現状と今後の課題に対する関心の度合い (n=889)	7.8%	45.2%	31.7%	11.5%	3.8%

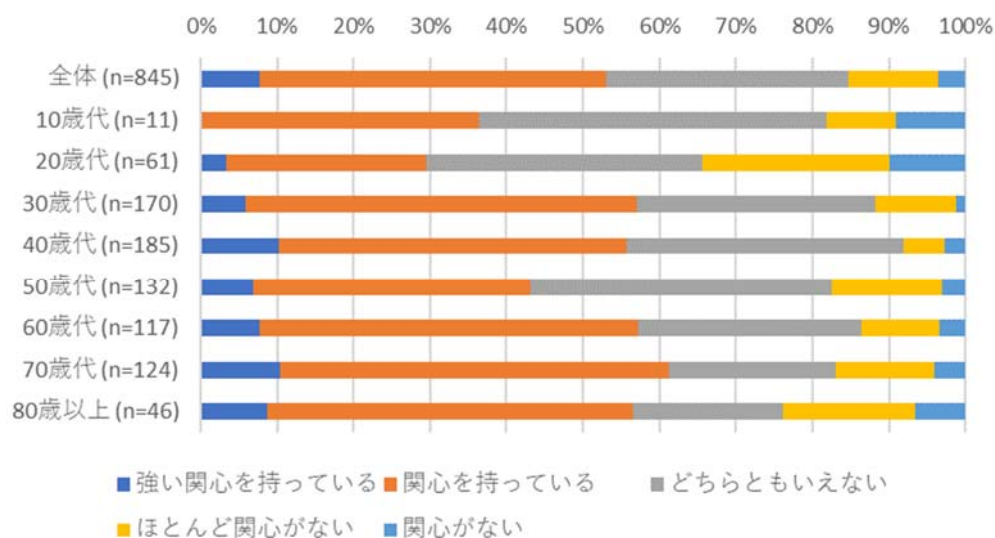
質問3 (n=889)



<小学校区別>



<年齢層別>

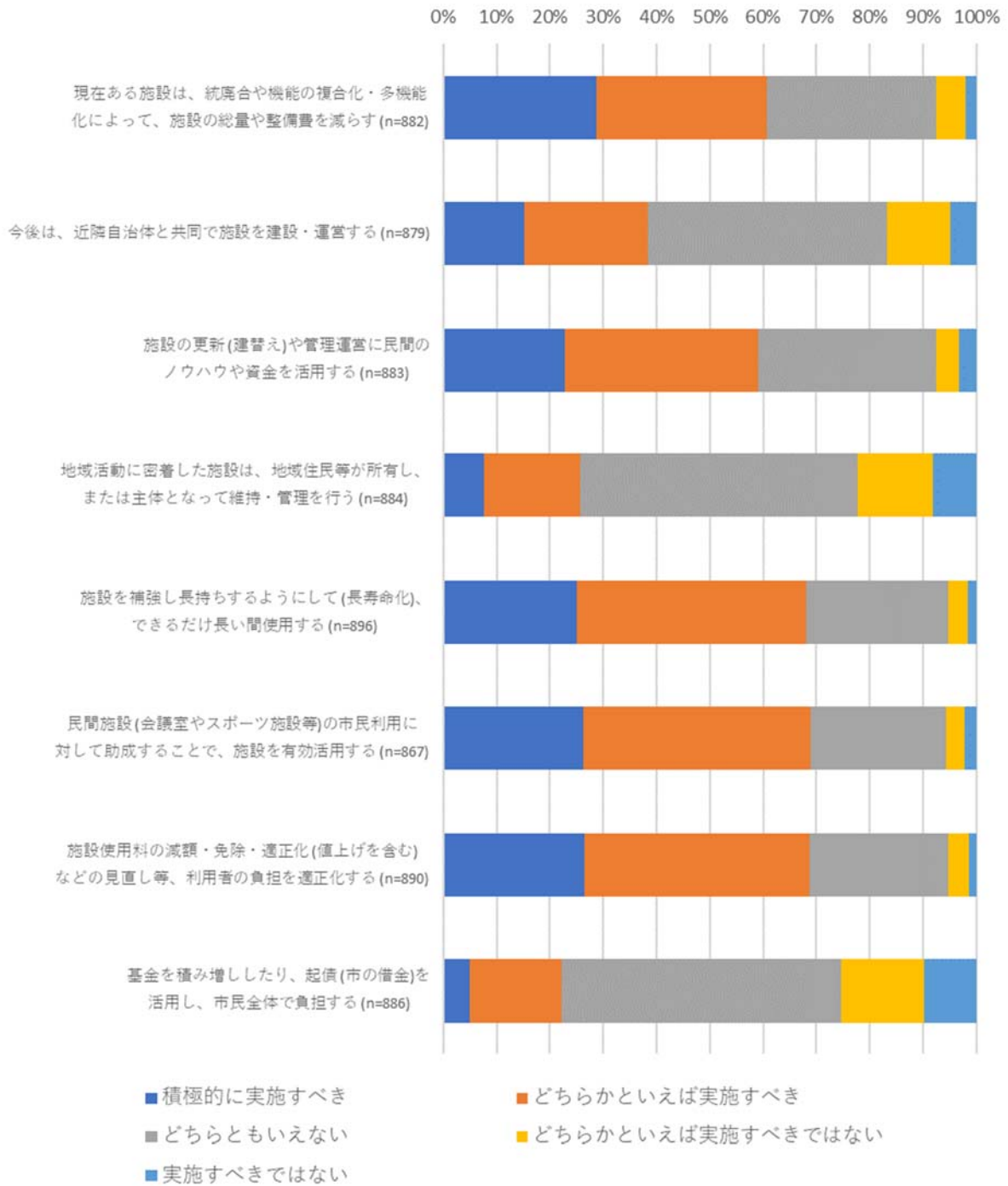


質問4 今後の公共施設のあり方を検討していく上で、あなたはどのようなことに留意すべきだとお考えですか。

○項目により、傾向がはっきりと分かれています。

	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらともいえない	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
現在ある施設は、統廃合や機能の複合化・多機能化によって、施設の総量や整備費を減らす (n=882)	28.8%	32.0%	31.6%	5.6%	2.0%
今後は、近隣自治体と共同で施設を建設・運営する (n=879)	15.2%	23.2%	44.8%	11.8%	4.9%
施設の更新 (建替え)や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する (n=883)	22.9%	36.2%	33.3%	4.4%	3.2%
地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、または主体となって維持・管理を行う (n=884)	7.7%	17.9%	52.1%	14.1%	8.1%
施設を補強し長持ちするようにして (長寿命化)、できるだけ長い間使用する (n=896)	25.0%	43.0%	26.7%	3.7%	1.7%
民間施設 (会議室やスポーツ施設等)の市民利用に対して助成することで、施設を有効活用する (n=867)	26.3%	42.7%	25.3%	3.5%	2.3%
施設使用料の減額・免除・適正化 (値上げを含む)などの見直し等、利用者の負担を適正化する (n=890)	26.5%	42.1%	26.0%	4.0%	1.3%
基金を積み増したり、起債 (市の借金)を活用し、市民全体で負担する (n=886)	5.0%	17.3%	52.5%	15.5%	9.8%

## 質問 4

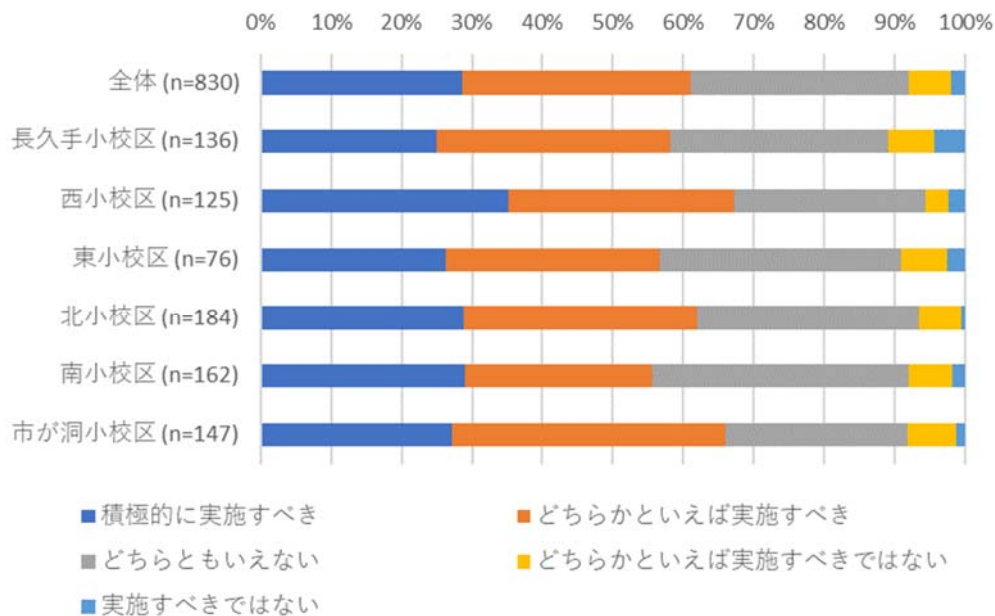


【項目別】

1. 現在ある施設は、統廃合や機能の複合化・多機能化によって、施設の総量や整備費を減らす。

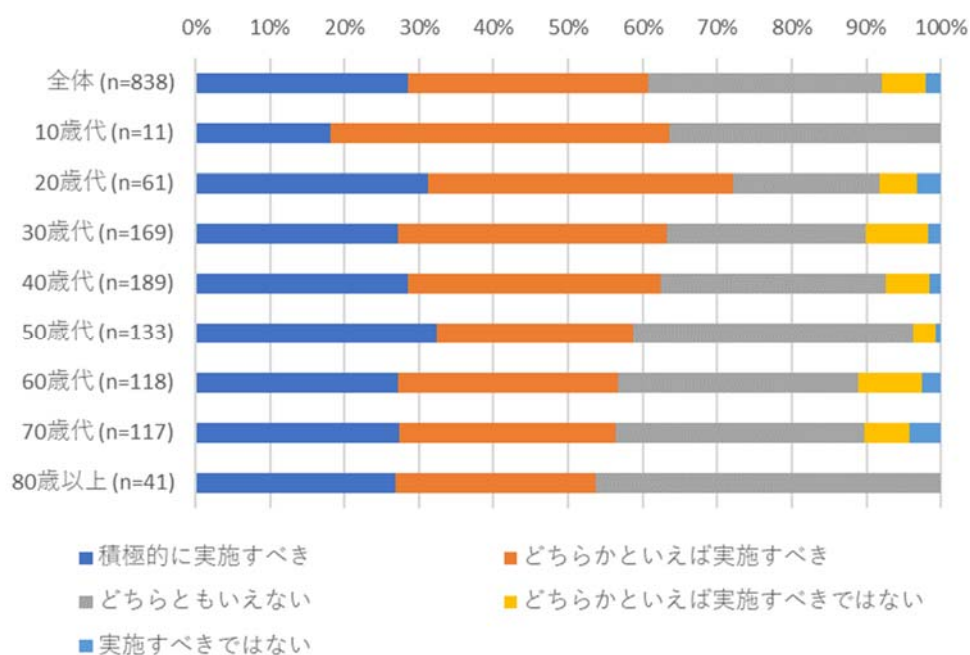
<小学校区別>

○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、西小校区が最も高くなっています。



<年齢層別>

○「積極的に実施すべき」または「どちらかといえば積極的に実施すべき」と回答した割合は、20歳代が最も高くなっています。

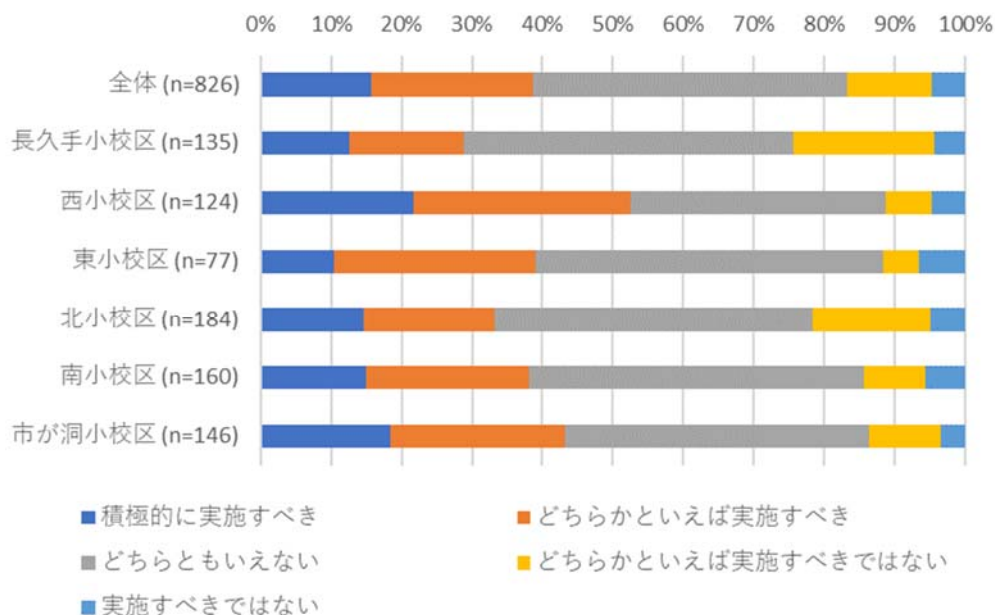




2. 今後は、近隣自治体と共同で施設を建設・運営する。

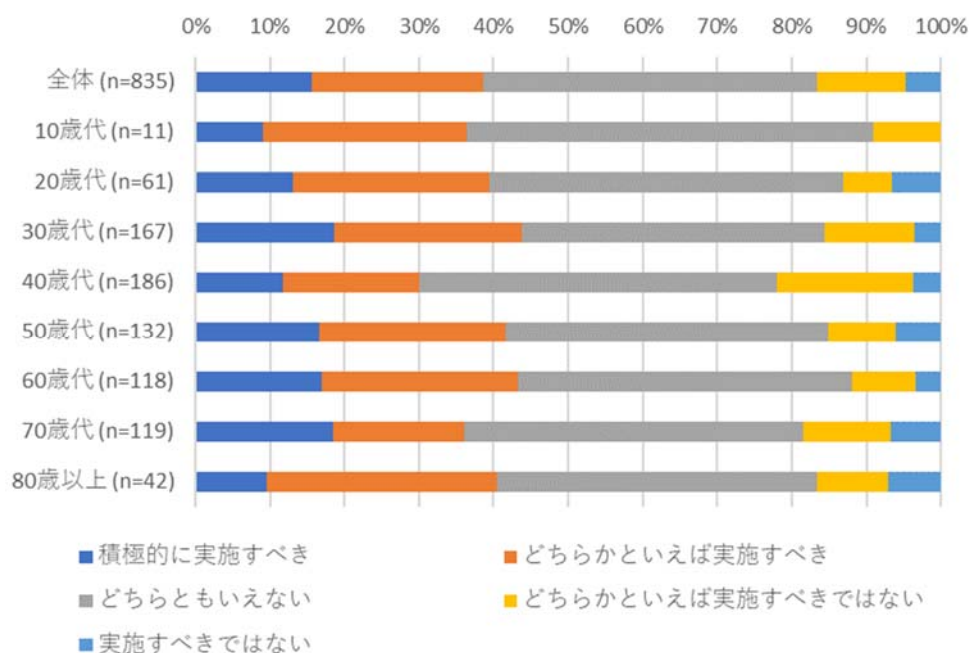
<小学校区別>

- 「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば積極的に実施すべき」のいずれの回答も、西小校区の割合が最も高くなっています。
- 「実施すべきではない」または「どちらかといえば実施すべきではない」と回答した割合は、長久手小校区及び北小校区が高くなっています。



<年齢層別>

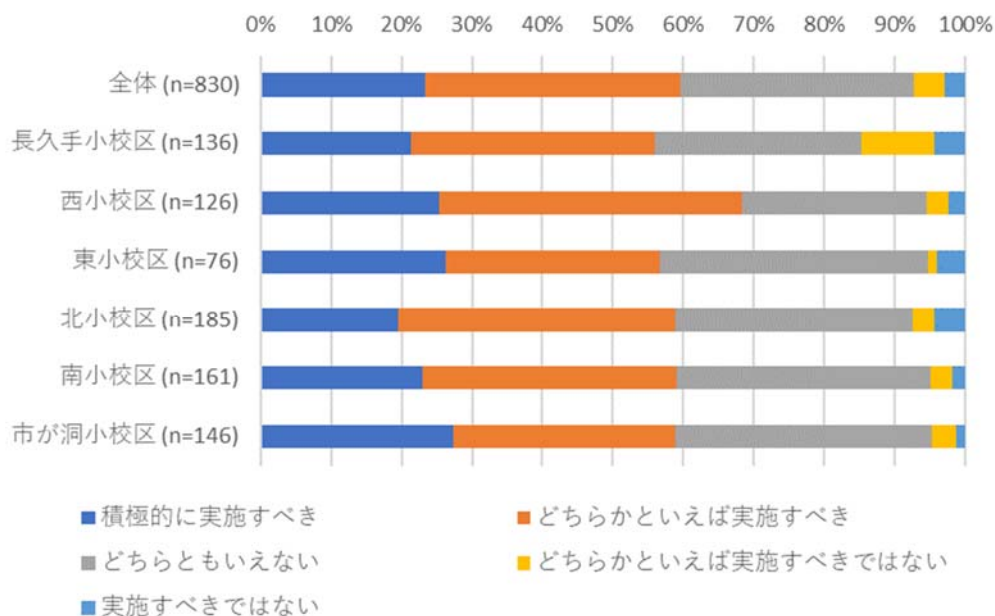
- 「積極的に実施すべき」または「どちらかといえば積極的に実施すべき」と回答した割合は、40歳代が最も低くなっています。



### 3. 施設の更新（建替え）や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。

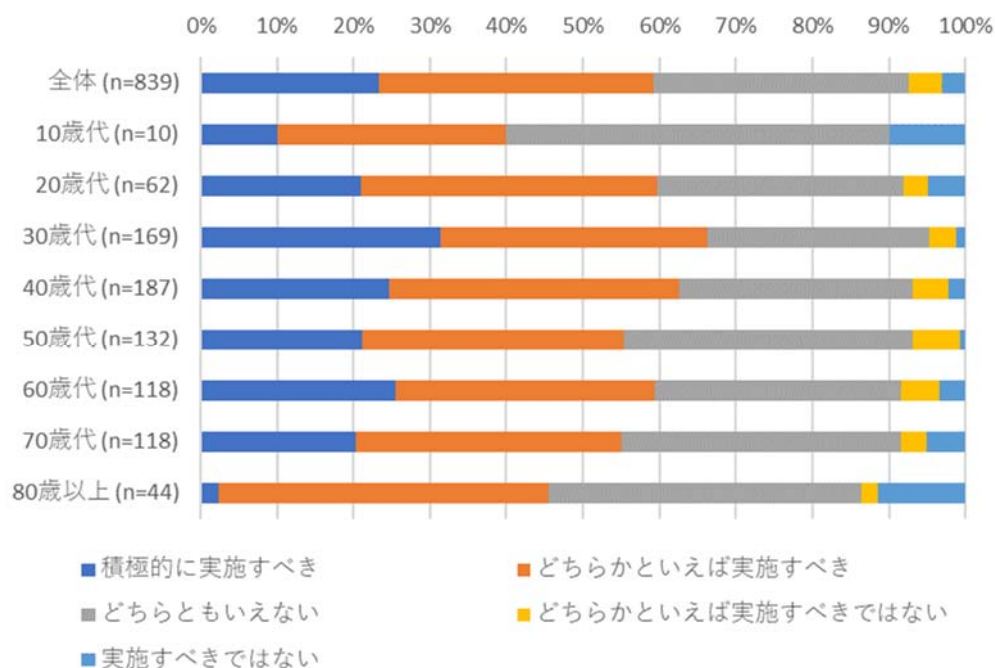
#### <小学校区別>

○「積極的に実施すべき」または「どちらかといえば積極的に実施すべき」と回答した割合は、西小校区が最も高くなっています。



#### <年齢層別>

○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、30歳代が最も高く、80歳代が最も低くなっています。

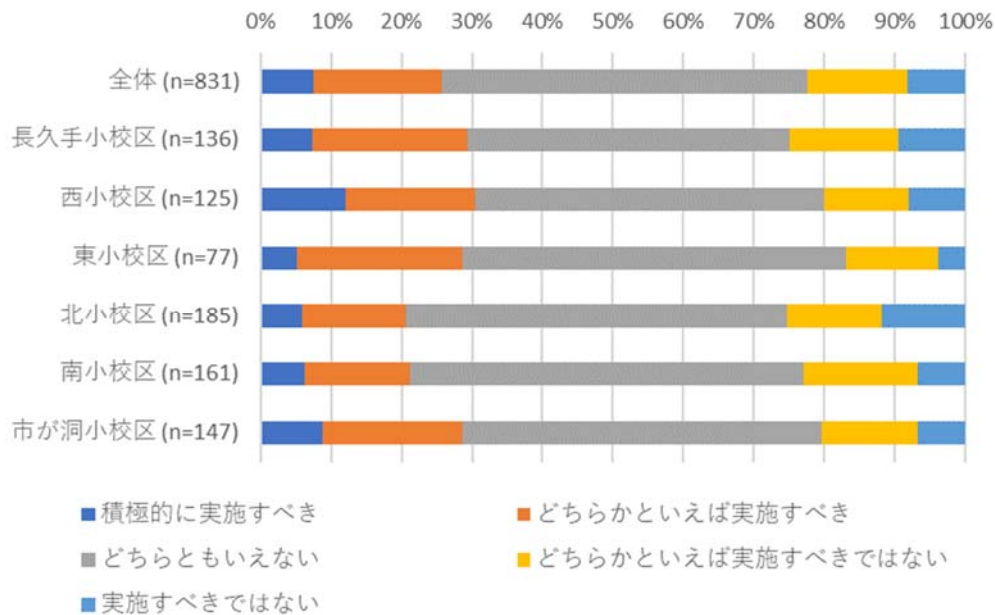


4. 地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、または主体となって維持・管理を行う。

<小学校区別>

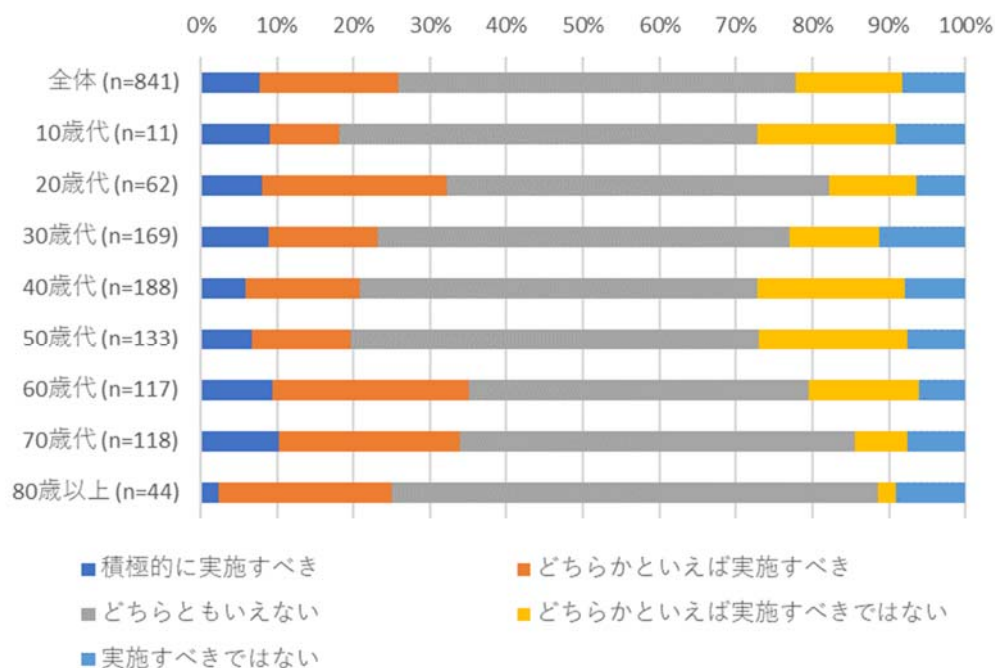
○西小校区を除き、全ての小学校区で「積極的に実施すべき」が10%を下回っています。

○北小校区は、「実施すべきではない」が10%を上回っています。



<年齢層別>

○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、80歳代が最も低くなっています。

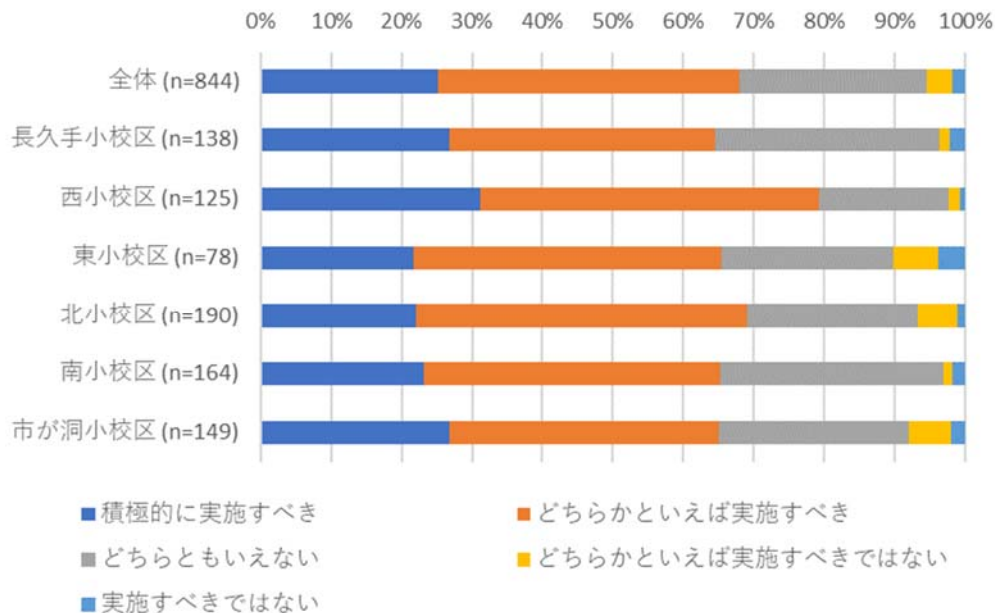


5. 施設を補強し長持ちするようにして（長寿命化）、できるだけ長い間使用する。

<小学校区別>

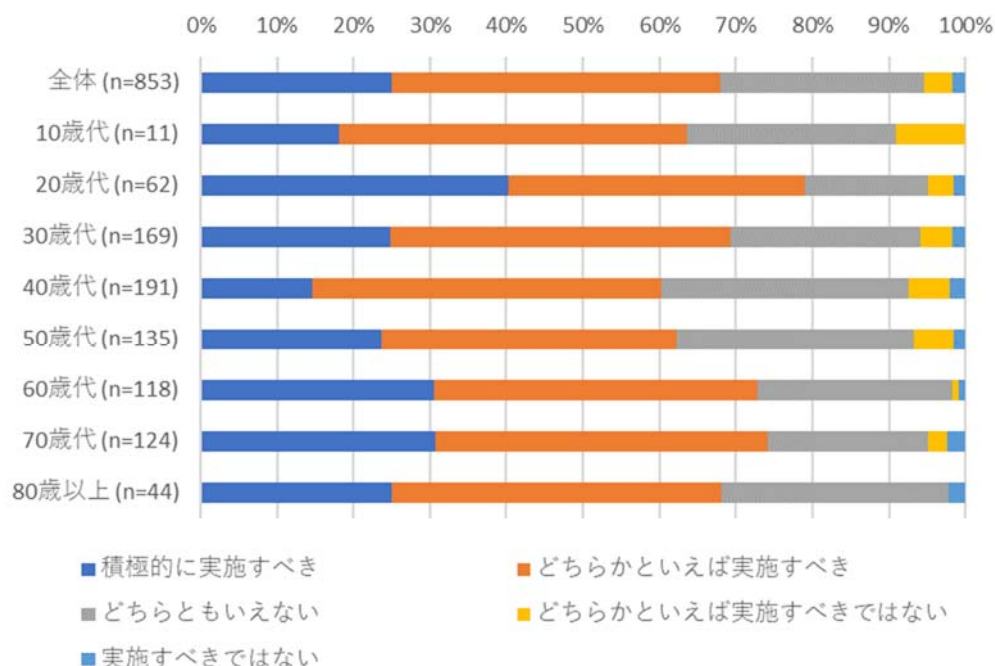
○「積極的に実施すべき」または「どちらかといえば積極的に実施すべき」と回答した割合は、全ての小学校区で 60%を上回っています。

○中でも西小校区は、上記割合が 80%近くとなっています。



<年齢層別>

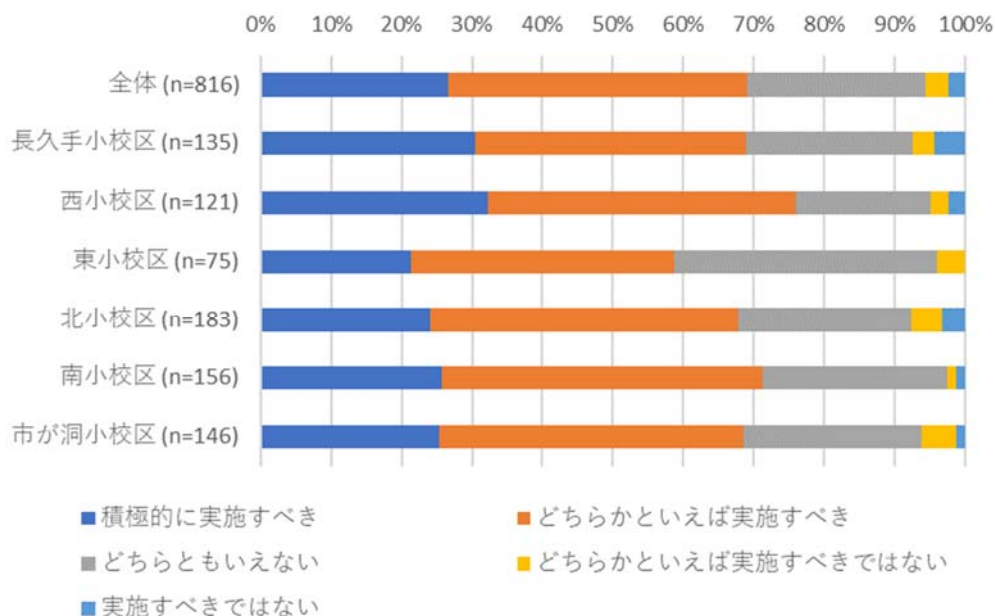
○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、20歳代が最も高く、40歳代が最も低くなっています。



6. 民間施設（会議室やスポーツ施設等）の市民利用に対して助成することで、施設を有効活用する。

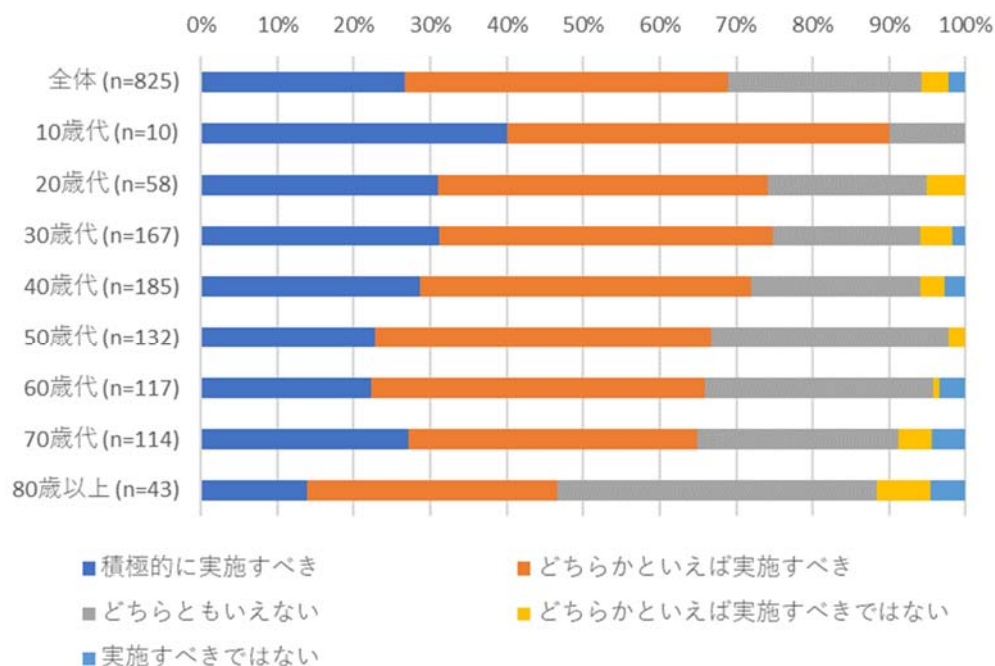
<小学校区別>

○「積極的に実施すべき」または「どちらかといえば積極的に実施すべき」と回答した割合は、西小校区が最も高くなっています。



<年齢層別>

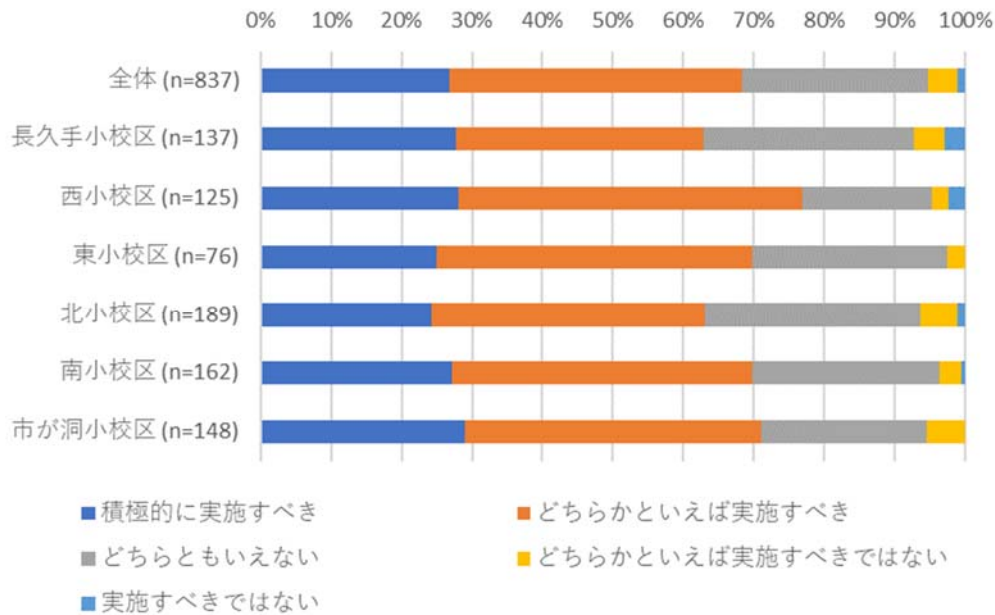
○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、80歳代が最も低くなっています。



7. 施設使用料の減額・免除・適正化（値上げを含む）などの見直し等、利用者の負担を適正化する。

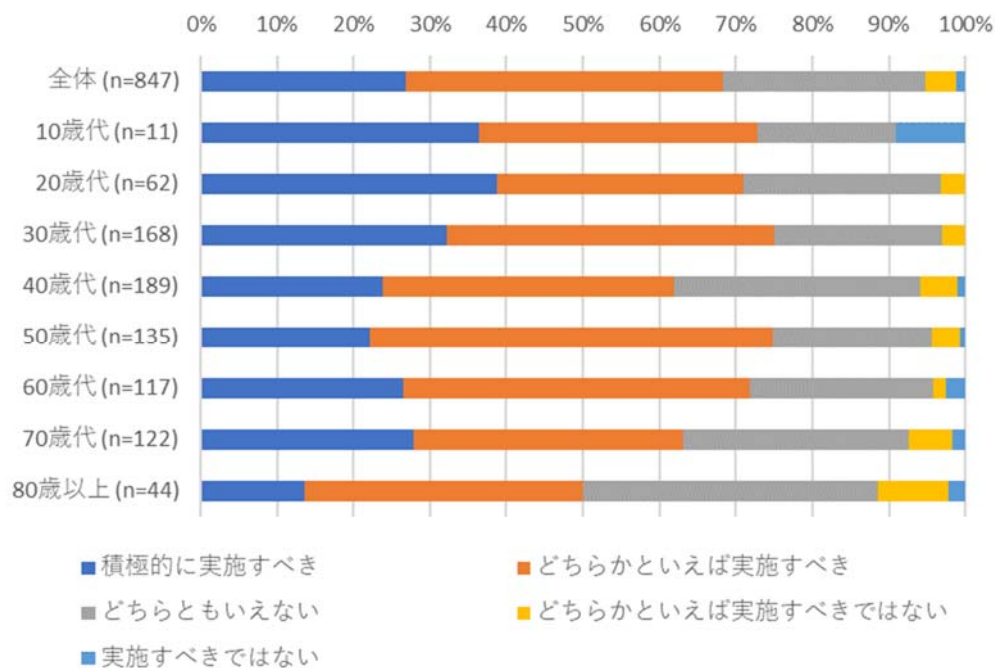
<小学校区別>

○「積極的に実施すべき」または「どちらかといえば積極的に実施すべき」と回答した割合は、全ての小学校区で60%を上回っています。



<年齢層別>

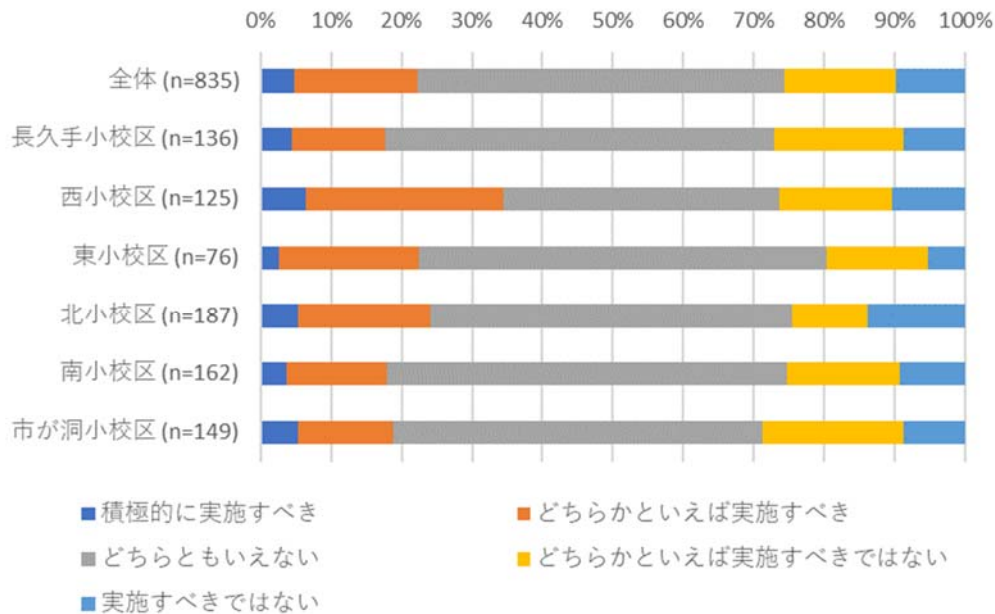
○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、20歳代が最も高く、80歳代が最も低くなっています。



8. 基金を積み増ししたり、起債（市の借金）を活用し、市民全体で負担する。

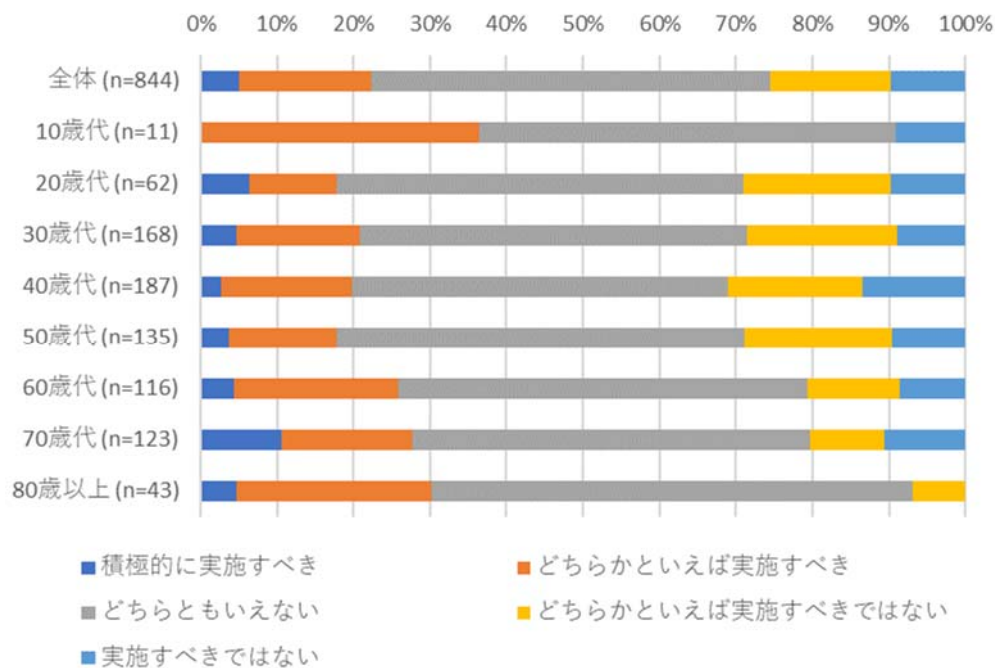
<小学校区別>

○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、西小校区が最も高く、東小校区が最も低くなっています。



<年齢層別>

○「積極的に実施すべき」と回答した割合は、70歳代が最も高く、40歳代が最も低くなっています。

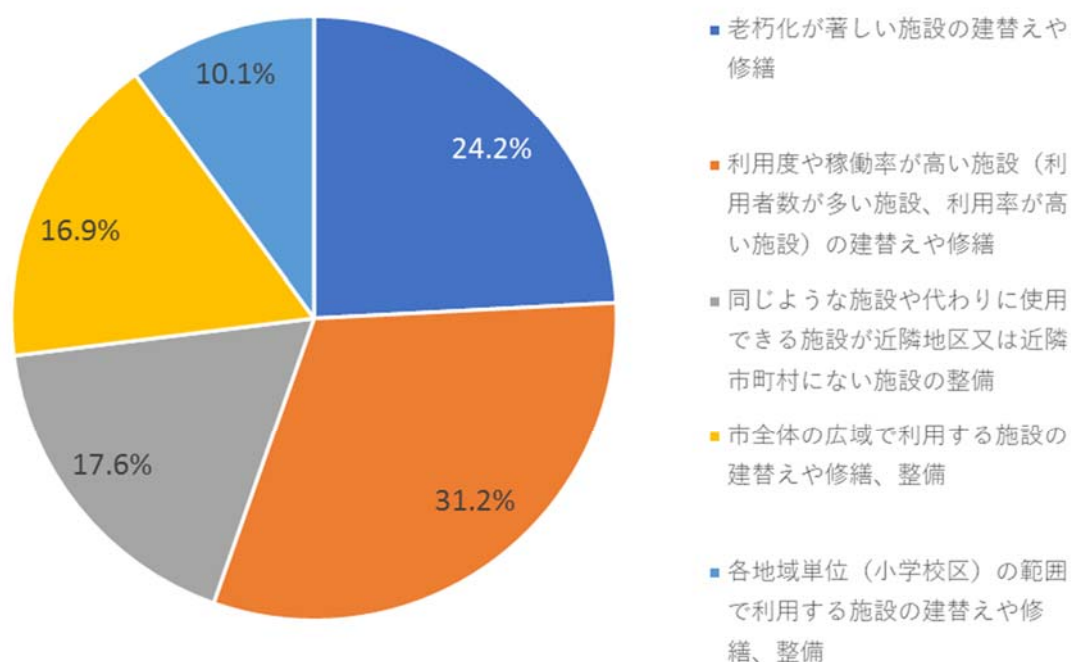


**質問 5** 市民サービスを充実または維持するために施設の建替えや修繕、整備を進めていくことになった場合、どのような施設から優先的に建替えや修繕、整備をしていけば良いと思いますか。（優先度が高い順から3つ選択）

○老朽化への対応や利用度への対応など、施設の実態に即して優先的に建替え、修繕及び整備を進めていくべきとの意見が半数以上を占めています。

	回答数	割合
老朽化が著しい施設の建替えや修繕	570	24.2%
利用度や稼働率が高い施設（利用者数が多い施設、利用率が高い施設）の建替えや修繕	736	31.2%
同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣地区又は近隣市町村にない施設の整備	416	17.6%
市全体の広域で利用する施設の建替えや修繕、整備	399	16.9%
各地域単位（小学校区）の範囲で利用する施設の建替えや修繕、整備	237	10.1%
合計	2358	

質問 5 (n=2358)





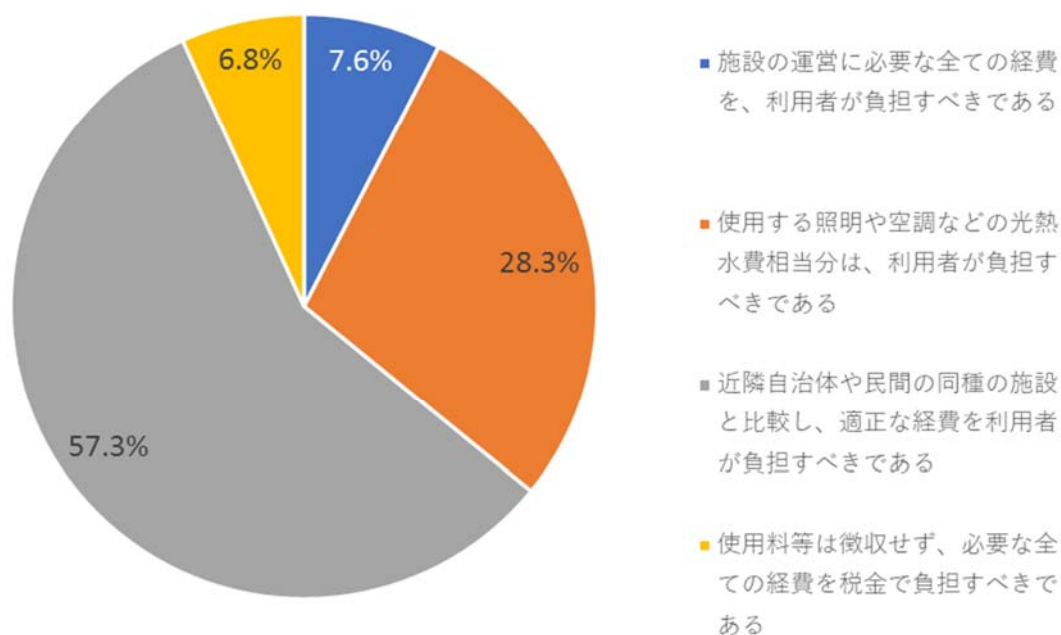
**質問6** 公共施設の使用料について伺います。

施設を利用する際に、一部施設では施設使用料を支払いますが、利用者が支払う使用料は、施設運営に要する経費全体の一部に限られており、残りは税金でまかなわれています。利用者が負担する費用はどれくらいが適当だと思いますか。

○全ての経費を利用者又は税金で負担すべきであるという意見は、全体の14.4%でした。市民の85.6%は、何らかの方法で応分負担をすることが適当であると回答しています。

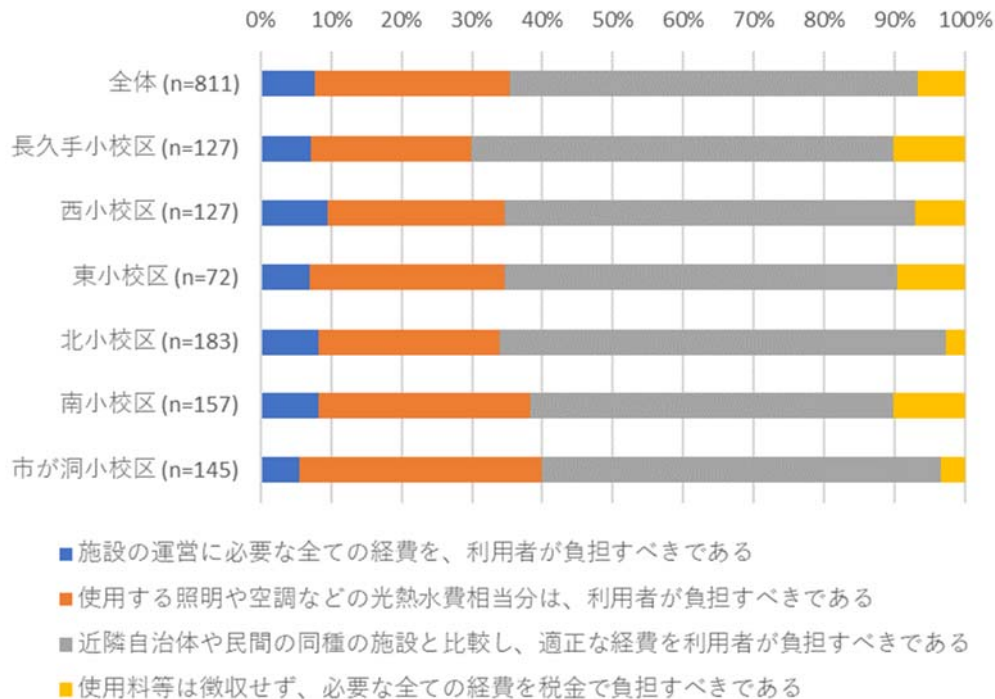
	施設の運営に必要な全ての経費を、利用者が負担すべきである	使用する照明や空調などの光熱水費相当分は、利用者が負担すべきである	近隣自治体や民間の同種の施設と比較し、適正な経費を利用者が負担すべきである	使用料等は徴収せず、必要な全ての経費を税金で負担すべきである
公共施設使用料の適当な利用者負担について	7.6%	28.3%	57.3%	6.8%

質問6 (n=856)



### <小学校区別>

○「近隣自治体や民間の同種の施設と比較し、適正な経費を利用者が負担すべきである」と回答した割合が、全ての小学校区で最も高くなっています。



### <年齢層別>

○「近隣自治体や民間の同種の施設と比較し、適正な経費を利用者が負担すべきである」と回答した割合が、全ての年齢層で最も高くなっています。



質問7 その他、公共施設についてのご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

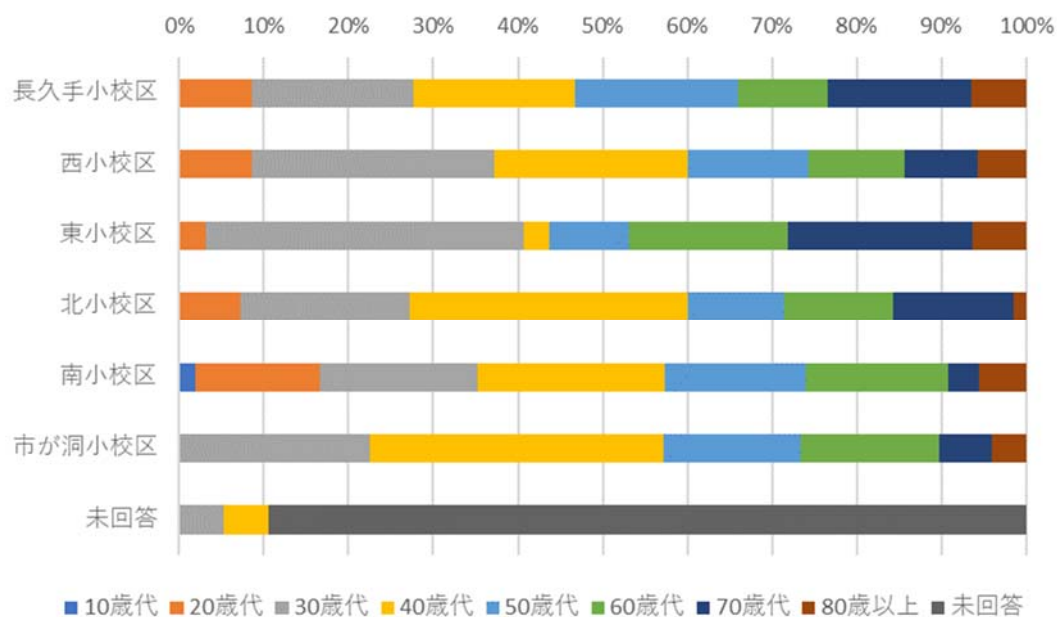
○小学校区別では、北小校区の記載が最も多く見られました。

○年齢層別では、40歳代の記載が最も多く見られました。

<小学校区別・年齢層別集計>

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答	合計
長久手小校区	0	4	9	9	9	5	8	3	0	47
西小校区	0	3	10	8	5	4	3	2	0	35
東小校区	0	1	12	1	3	6	7	2	0	32
北小校区	0	5	14	23	8	9	10	1	0	70
南小校区	1	8	10	12	9	9	2	3	0	54
市が洞小校区	0	0	11	17	8	8	3	2	0	49
未回答	0	0	1	1	0	0	0	0	17	19
合計	1	21	67	71	42	41	33	13	17	306

<小学校区別の年齢層の割合>



回答一覧（年齢層の順に掲載）

回答者	内容
10 歳代・女性(南小校区)	利用する機会が無いので、分かりません。公共施設よりも、道路の整備が優先では。家の周りが渋滞がひどくて困ります。
20 歳代・男性(西小校区)	小学校のエリア分けがバラバラのために生徒数に差がでてしまっている。エリア分けを考えたほうが良いと思う。
20 歳代・男性(南小校区)	リニモの電車賃が高い。障害者料金の級などを地下鉄と同じにしてほしい。イオンの渋滞が迷惑。中高年が遊ぶところが少ない。
20 歳代・男性(北小校区)	財源は限られてると思いますが、図書館の規模・蔵書が負担と感じます。アンケートで利用したことがない施設も子供の年齢が上がるにつれて、利用する可能性はあります。公共施設の計画も大切です。年少人口の増加に尽力されていると思いますが、こちらへの計画・対応もお願いします。
20 歳代・男性(西小校区)	若者向けの利用施設が無さすぎる。学生の町、盛り上げるのであれば、若者が関心の高いことにスポットを当てる必要がある。スケートパークの設置等
20 歳代・男性(東小校区)	どんどん施設の修繕・整備をしていければ良いと思う。また、今の長久手や数十年後の長久手に必要そうな施設もあればよいと思った。
20 歳代・男性(北小校区)	リニモからアクセスしやすい場所にしてほしい。直結もしくは徒歩数分。
20 歳代・女性(南小校区)	プールやジムの充実した総合体育館を造ってほしい。プールの利用料を500円位までにしてほしい。文化の家は若い人が集まるような、お笑いやライブ・コンサートも呼んでください。クラシックや芝居ばかりでは魅力がない。
20 歳代・女性(南小校区)	市内にこれだけの施設がある事自体あまり知らなかったのもう少し有効活用したいと思いました。施設の宣伝・イベント等の告知をもっと増やして、利用頻度をあげていけば、税金の施設の投資も積極的になれると思います。
20 歳代・女性(長久手小校区)	知らない施設がたくさんありました。機会があれば、ぜひ利用したいです。
20 歳代・女性(南小校区)	勉強できるスペースや、若い世代が集まれる場所が増えるといい。
20 歳代・女性(南小校区)	子育て支援センターは多くの小さな子供を持つ母親が、利用しています。それに対して、少し狭く、子供が自由に遊べるスペースが確保できていない時が多い。支援センターを増やしていくか、拡大するかしてほしいです。長期の休み時は小学生も利用するので、出来れば乳幼児だけのスペースを作って頂けると、誰もがけがなどせ

	ず、利用できると思います。このような施設は子を持つ母親には、とても嬉しく助かります。
20 歳代・女性(南小校区)	質問 1 で、児童館においては、現在利用することはほとんど無いが、以前はよく利用していたため、思い入れがある。そのため、施設の修繕、整備には、強く関心がある。このように、過去はよく利用していたが…といった意見も、是非反映していただきたいと思います。
20 歳代・女性(北小校区)	体育館、文化の家、図書館全てにおいて、中途半端。小規模すぎる。
20 歳代・女性(南小校区)	・コインパーキングを増やし、路駐、路駐による事故を減らしていただきたいです。コインパーキングがとても少ないです！そのため、路上駐車もあります。コインパーキングを増やしていただくか、公共施設の駐車場を施設を使わない一般の方も（有料）利用できるようにしていただきたいです。駐禁取締り強化地域にパーキングが少ないです。路上駐車車両により死角も増えたりし、事故も増えてしまいます。パーキング新設等、改善強くお願い申し上げます。・自然環境保護活動等、これからもしていただきたいです。（子どもも大人も参加等）
20 歳代・女性(北小校区)	スポーツをしているので、個人で借りて体育館をよく利用するが、名古屋市はネットで申込みができる。他の市は小学校の体育館を利用できるところもある。（個人でも）尾張旭市の「ふらっと」の体育館も空きがあると簡単に借りられる。長久手では、利用の仕方が分からないし、借りたことが無い。 ちょっとした公共施設の利用の仕方が分かりづらさや利用制限があったりすると、長久手の施設に愛着がなくなる。ずっと他市の体育館利用のため、特に長久手に必要性さえ感じなくなってしまった。
20 歳代・女性(長久手小校区)	よく文化の家のホール等を利用していますが、とてもリーズナブルで助かっています。
20 歳代・女性(長久手小校区)	長久手に住んで 5 年目になりますが、知らない施設が多々あります。図書館やござらっせなど利用目的が分かりやすい施設は利用させていただいているのですが、もっと施設の紹介や利用方法などを教えていただけたら、積極的に利用したいと思います。

20 歳代・女性(南小校区)	<p>将来的には、無料で利用（税金で負担）できたらうれしいですが、現状は難しいと思います。安全に一番考慮して、頑張っていってほしいです。</p> <p>まだ引っ越してきたばかりで何も知らないですが、子ども、高齢者等、それぞれのライフステージにあった方がその時に助けになる公共サービスをゆくゆくは無料で利用できるようになることを祈ります。</p>
20 歳代・女性(北小校区)	<p>市民になってから日が浅いですが、「文化の家」「ござらっせ」は今後利用したいと思っています。</p> <p>次世代は、スクラップアンドビルドではなく、長く愛され使える建物で、設備やソフト面の更新を行って欲しいと思います。岐阜市のメディアコスモスのように、地域を活気づける建築の力に期待したいです。</p>
20 歳代・女性(西小校区)	市民税が負担です。（高額）
20 歳代・女性(長久手小校区)	<p>利用条件を見直し、出来る限り緩和させることが必要。例えば土日などはイベント等の場として提供して、使用料をもらう。平日は高齢者の集まりや、夜間は学生の学習の場などに開放する。その際に小額でもよいので使用料をとり、維持費に貢献してもらう。常に人が出入りしている、空間にしてほしい。</p>
30 歳代・男性(東小校区)	<p>公共施設問題よりもイオン・イケアでの渋滞対策に全力で取り組んで下さい。大変住みにくくなった。</p>
30 歳代・男性(南小校区)	<p>子育てや教育に関する施設はなるべく維持し、市民の負担も軽くすべきと考える。これらが充実していることは、将来の市民の増加につながるから。新しい世代が魅力的に感じる待ちにしてほしい。</p>
30 歳代・男性(西小校区)	<p>税金の無駄使いにはならぬような、施設を作ってください。エコハウスは便利がよく、よく利用させてもらっています。Nバスはいつもあまり利用者が少ないように思います。</p>
30 歳代・男性(南小校区)	税金をつぎ込まないといけないような、箱モノをつくらないで下さい。
30 歳代・男性(北小校区)	<p>野球場を利用したいのですが、登録メンバーの過半数が市内在住・在勤・在学の構成でないと、抽選申し込み出来ないため利用できません。施設の稼働状況に余裕があるようでしたら、条件を緩和してほしいです。また上記メンバーによる構成人数割合によって、抽選システムに反映されないのでしょうか。ほとんど利用したことがないに該当する施設に対して、素直に感じたことは「行く機会がないから」だと思いました。回答欄の内容に偏りがある。</p>

30 歳代・男性(長久手小校区)	今ある施設や今までの考えは、一旦捨てるべき。現時点と今後の事を考えて、あるべき考えにそって実地して下さい。主旨がブレるのは、最もみっともないです。
30 歳代・男性(西小校区)	各児童館の幼児教室に楽しく参加しています。児童館の先生には頭が下がります。とても楽しいイベントなので大変だとは思いますが、月2回の開催ではなく、週1回だと嬉しいです。
30 歳代・男性(長久手小校区)	公共施設は綺麗でないと使用する気になれない。小さい子供がいると、トイレ等の衛生面が気になります。きれいに保つことで利用者が増えるという、良い循環が生まれると思います。利用率の高い施設の修繕は、積極的にしていただきたいです。公共施設は利用料が安いことにメリットがあると考えています。経費の全てを利用料に充てるのは反対です。施設の駐車場が足りない。利用したくても出来ない。あとアピタに市役所機能があるのは、非常に助かっています。
30 歳代・男性(南小校区)	もう少し、学術的な要素がほしい。
30 歳代・男性(西小校区)	民間の力をもっと活用する事をベースに、長久手の魅力を最大限引き出してください。私達は、あなた達に税金という形で投資しています。しかし、現状では、私の利用したいと心から思える施設やサービスに出会えていないのが現状です。もっと長久手の魅力を引き出すためにPR活動をしたい企業は、もっといっぱいあると思います。(もちろん、無料です。)クラウドファンディング等長久手ならではのサービスを考えてください。まずは、住民に還元する事をベースとして行うことと、新しいサービスなども積極的に取り入れてください。長久手市にふるさと納税がどれくらいきますか？自分たちの魅力がどんどんスルーされていませんか？
30 歳代・男性(市が洞小校区)	子どもの世代に、負の遺産を残さないようにしてもらいたい。 福祉の町→子育てしたい町への転換 将来を担う子供たちへ財源を使うべき。
30 歳代・男性(東小校区)	施設の利用方法や、サービス内容などをもっとアピールした方が、良いと思います。今回のアンケートで、初めて聞いた施設が多数ありました。私だけが知らなかったのかも知れませんが。
30 歳代・男性(北小校区)	長久手市の顔でもある公共施設、多様な施設があっても良いと思います。
30 歳代・男性(東小校区)	利用者が数少ない施設は、統廃合を早く進めるべきだと思います。
30 歳代・男性(東小校区)	公道の白線が消えているので、書いてほしいです。(平成こども塾の南周辺)
30 歳代・男性(東小校区)	頑張ってください。

30 歳代・男性(北小校区)	公共施設を管理する行政側の意識改革をまずしていただきたい。市役所の人間には、市民に対しておおよそ人間的な対応をしない人もいます。(いわゆるお役所対応または、それ以下) また、各建物が改修の分からないようなシステム、見直すべきところがたくさんあると思います。役人、議員は半分になっても十分機能すると思います。金額的な目に見える部分だけでなく、我々の見えない役所の中もしっかり見直していただきたいです。
30 歳代・男性(長久手小校区)	口論義運動公園のプールの使用料が安くなれば、ありがたいです。県の施設ですが、長久手市民は安くできたりしてほしい。
30 歳代・男性(市が洞小校区)	活用されていない施設が多い気がします。
30 歳代・男性(市が洞小校区)	子どものいる家庭は、長久手市は住みやすい所だと思います。
30 歳代・男性(北小校区)	公共施設があることで、多くの市民が安心して行けるようになっていと思っています。高齢者でも、子育て世代でも、使っている物は少ないですが、公共施設を充実させていってほしいです。
30 歳代・男性(西小校区)	使用に関し、すぐに情報を手に入れられず、使用しにくい or 使用しようとは思わない。最低限、日ごろ目につくようにしてもらいたい。
30 歳代・男性(東小校区)	市全体で人口が増加しており、特に市東側では大規模な分譲地が急激に増えているが、公共施設の中には老朽化が進んでいたり、新しい住民には知られない施設も多いと思う。日本一平均年齢の若い市なのに、子育て支援の施設も少なく交流の場が少ない。現状必要とされない施設に経費を掛けるよりも、今後多くの住民(特に若い世代)の交流の場となるような場所を増やしてほしい。
30 歳代・男性(西小校区)	耐震補強はしっかりやっておいて欲しいです。いつ何時巨大地震が襲ってくるか分からないので。
30 歳代・男性(市が洞小校区)	稼働率が低く、民間サービスで代用ができるものは、思い切って廃止する判断も必要と思います。長久手は日本一若い街ですが、将来的には他の市町村と同じ道をたどる可能性もあり、将来に負担を残すべきではないと考えます。 子育て、教育、老人福祉など、一部の人に偏ったサービスになると、その属性の人が、その期間(子育て中、老後)だけ長久手市に居住することも考えられます。(私の周りに助成金目当てで移り住んだ人がいます) 長久手に住み続け、消費、納税、子育てを通して市を活性化したいと思えるまちづくりが必要だと思います。特に、施設に関しては、民間企業の投資回収のようなシビアな見方で、適正規模、適正コスト、行政として行うべきか、民間サービスを使ってもらうべきかを判断していただきたいと思います。



30 歳代・男性(東小校区)	グリーンロード沿いに大型施設が出来て、渋滞がひどい。脇道が少ない地域もあるので道路を増やして、緩和してほしい。岩作三ヶ峯付近に学校を作ってほしい。
30 歳代・男性(長久手小校区)	子育て支援に重点を置き、子育て世代の負担を軽減することが、人口増加につながり、税収増加の近道では。
30 歳代・女性(南小校区)	子育て世代です。児童館の老朽化が目に残ります。特にトイレが古すぎです。駐車場もほしいです。公共の施設で遊べる場所を増やしてほしいのと、建て替えをして、次の 30 年安心して遊べるようにしてほしいです。
30 歳代・女性(長久手小校区)	杵ヶ池公園に空調設備をつけてほしいです。夏は暑く、冬は寒いのでつらい。日進のスポーツセンターに行くと感じました。
30 歳代・女性(市が洞小校区)	近隣自治体に既にあり、長久手市民が利用できるものについては新たに作る必要はない。それよりも苦痛渋滞や子育て支援に税金を使うべき。保育園の建て替え、園の選択が少ない、子供園の設立。
30 歳代・女性(北小校区)	図書館の駐車場が狭いので、行く気になれません。
30 歳代・女性(長久手小校区)	職員がたくさん机にすわっているに、サービスが少ないように思う。もっと市民と接するサービスをしてほしい。
30 歳代・女性(北小校区)	文化の家が立派な施設なのに、いつも寂しいイメージです。イベントがあっても人が少ないイメージ、もったいないです。本市は子供や老人には優しい街かも知れませんが、若い世代で夫婦二人暮らしには、あまり魅力がありません。子供がいなくても、楽しめる公共事業やイベントを望みます。
30 歳代・女性(北小校区)	室内プール増設してほしい。モリコロパークにアスレチック等の遊具を増やしてほしい。駐車場代を払って行くと思うと物足りないので、一日遊べるような公園にして活用してほしいです。
30 歳代・女性(北小校区)	もっと公共施設を利用できるように、N バスの本数が増えるとありがたい。
30 歳代・女性(市が洞小校区)	テニスコートを利用したいがいつも空きがなく、利用する人は決まっているように思う。同じ利用者だけで回転するのではなくて、改善して下さい。

30 歳代・女性(北小校区)	<p>長湫北保育園の移転地である公園、数年前に四千万円をかけ、公園として整備したのにも関わらず、又北保育園を移転するためにつぶし、保育園を建てると聞きました。四千万円がどれだけの金額とされているのでしょうか。数年でつぶすなら、公園など作らなければ良かったのに。数年後の公園の未来さえ見据える事が出来もしないのに、公共施設の今後の概算費用を見積もることが出来るのかと、市に対して不満を抱いております。税金をしっかりと考えて、お使いいただけないでしょうか。子供が多い市にかかわらず、今までの他の市よりも、支援センターの場所・内容・人ともに最低です。住みやすい街といますが、それは公共施設のことではなく、民間の施設が充実していて住みやすい街だと思います。</p>
30 歳代・女性(西小校区)	<p>長久手市に引っ越してきて数か月しか経っていないのと、まだ子供がいないので、このような利用状況になりました。</p> <p>子どもができたなら利用したいと思う施設があります。施設を統廃合する際は、近隣地区に代わりに使用できる施設があるかどうかも考慮して決めてほしいです。</p>
30 歳代・女性(西小校区)	<p>幼児が2人います。市が洞児童館は、新しく立派なのに対し、西児童館は狭く、老朽化が気になり、同じ長久手市に住んでいて、公共施設に差があるのは気になります。</p> <p>来年、子どもが小学生で、西小学校区は児童クラブに入りやすいようですが、市が洞地区、北小学校区は子どもの数が多くて、児童クラブ、学童ともに満員で仕事を続けられるのかと、深刻な状況のようです。長久手市で税金を払っているのだから、公共施設のサービスをできるだけ平等に受けられることを望みます。</p>
30 歳代・女性(南小校区)	<p>老人憩の家と、集会所と児童館は、分散せずに一つの建物の中に入れて各地域にあると良いのでは。</p>
30 歳代・女性(市が洞小校区)	<p>長久手市には、比較的立派な設備、施設が整っていると感じている。利用者側が大切に使い、維持、メンテナンス費を最低限に抑える意識づくりも大事だと思います。</p>
30 歳代・女性(東小校区)	<p>利用の頻度が著しく低い施設の統廃合や、隣接エリアで融通しあう施設のシェアで、総量を最適化して欲しいです。公共施設をほとんど利用していない納税者にも配慮した利用料金などの見直し、公平性を検討してください。</p>

30 歳代・女性(長久手小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコハウスに足を運ぶのが大変。回収して欲しい。回収頻度を高くしてほしい。</li> <li>・インフラ施設では、道路にカーブミラーを多く設置してもらいたい。飛び出しが多くて危険な思いをした。</li> <li>・街灯を増やしてほしい。・路駐を取り締まってほしい。・防犯カメラを増やし、町全体で安全性を高めていきたい。</li> <li>・公共施設は、何があるか分からない。施設の目的やメリットが分かれば、利用するかもしれない。</li> </ul>
30 歳代・女性(東小校区)	<p>駐車場が少ない施設が多く、利用したくてもできない。駐車場を増やすなどの検討を。</p>
30 歳代・女性(東小校区)	<p>東小地区で、公共施設が少ない、遠いです。サービス内容を知らない施設も多いので、広報などでサービス内容を載せてほしい。</p>
30 歳代・女性(南小校区)	<p>児童館のトイレが古くて、娘が怖がります。トイレは一番に新しくしてほしいです。</p>
30 歳代・女性(東小校区)	<p>利用者が限定されてしまう施設（テニスコートなど）は、あまり必要が無いと思われる。広報ながくてを讀んではいても、実際、小さな子連れで行ける場所は児童館や図書館など限られており、足を運ぶきっかけが無い。より多くの年齢の人がより多くの公共施設を利用するためのイベントなどがあると、「行ってみようかな?」と思う。まずは、公共施設に実際に行くきっかけを作り、知ってもらうことから利用する機会につながっていくと思う。</p>
30 歳代・女性(西小校区)	<p>子育て中のため、子ども関連の市の公共施設を利用することが増えました。ただ、イベントやほかにどのような施設があるのかは、利用する側が調べなければどのような施設がどこにあるのかが分からない。（子育て前は、全く知らなかった）ので、勿体ないと思います。調べても、分かりづらいことも多いです…。何に利用できるか、対象者、イベント例、利用方法などが、一覧になっていると分かりやすいです。（すでにあるかもしれませんが、）</p>
30 歳代・女性(北小校区)	<p>もっと緑を増やしてほしい。公共施設にも。昔は空地がたくさんあって、子ども達の遊び場だったが、今は建物ばかり。せめて公共施設は広く、緑のあるスペースを！</p>
30 歳代・女性(北小校区)	<p>人件費について、もっと削減の対象に。</p>
30 歳代・女性(市が洞小校区)	<p>利用者の少ない施設があるなら、長久手市民に限らず、多くの人々が使用できるように施設の存在を知らせてはどうでしょうか。</p>
30 歳代・女性(長久手小校区)	<p>近年発展してきている市が洞地区や西小地区に公共施設が無いことが少し気になる。東小校区が広く、東小に通うのも大変だと思うので、難しいと思うが、東小校区にもう1校小学校と中学校が欲しいと思う。</p>

30 歳代・女性(市が洞小校区)	子育て世代が多い地域の割に、子連れ関連の施設が少ないように感じる。商業施設や住宅は新しく、若い世代も多いのだが、公共施設は古く、使いづらいイメージがある。日本国内でも平均年齢が若い市なので、その特色を生かした福祉をもっと増やし、モデルとなるような市を目指してほしい。
30 歳代・女性(北小校区)	長久手市は、施設ばかり立派で、中で働く職員の方の対応等も含め、ソフトサービスが充実していない。図書館しか利用は基本的にしないが、シリーズがそろっていない。児童書の並べ方が分かりにくすぎる。盗難が多い等、近隣の日進、豊田市等の図書館と比べると、施設の立派さより利用者目線が欠如しているように感じる。
30 歳代・女性(長久手小校区)	公園がたくさん長久手にはあるが、草がたくさん生えていたり、蚊が多く子どもをあまり見ない場所もあり、勿体ないように感じました。(実際、小さな子供を連れて行ったときに、草むらや蚊で長く遊べなかった時があるので)
30 歳代・女性(北小校区)	長久手古戦場公園の資料室は、近くにイオンモールもできたので、もっと新しく明るい、他県から来た人を連れて行けるような施設にしてほしい。
30 歳代・女性(市が洞小校区)	バスの本数、ルートをもっと増やしてほしい。
30 歳代・女性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内で子どもを遊ばせる場所が少ないです。</li> <li>・中央図書館、杵ヶ池体育館の中に、子育て支援センターがあると良いと思います。</li> <li>・児童館の駐車場も少ないので、利用したことがありません。小さな児童館は近くの公共施設と一緒にしても良いと思います。</li> <li>・中央図書館は、駐車場も多いので、よく利用します。(夏だけ)公園で遊んだり、本を読んだりとても楽しい施設ですが、子どもとごはんやおやつを食べるスペースが図書館の中にあると楽しいです。</li> </ul>
30 歳代・女性(市が洞小校区)	N バスの本数をもっと増やしてほしい。藤ヶ丘駅まで延ばしてほしい。
30 歳代・女性(南小校区)	・老人憩の家、公民館、集会所等、日中、夜とほとんど利用している気配が無い。南児童館横の公民館が開放されれば、児童クラブの定員を増やせたり、新しい施設を作らなくても良いのではないかと思う。自治体と市の施設と同じに考えるのは難しいかも知れませんが、普段使用していない場所を習い事等の民間業者に貸し出し、利用料を施設経費に充てられないものかと思う。
30 歳代・女性(北小校区)	高齢者生きがいセンター、老人憩の家などは、小さい子どもなども使えるようにして、異年齢交流を図れるようにしたら良いと思う。

	逆も同じ。いろいろな施設がありますが、何をやる所か分からない施設が結構あった。
30 歳代・女性(東小校区)	東小区内に住んでいますが、付近に児童館ができると利用したいと思います。また、中学校も長久手中となり、徒歩だと1時間弱かかります。自転車通学もできるようですが、人口も増えていくと思うので、中学校の新設は無いのかな…と思っています。
30 歳代・女性(西小校区)	公共施設はできるだけ減らさず、多少の費用負担の増額があっても維持して欲しい。特に、スポーツや文化に関わる分野の施設は重要だと思う。
30 歳代・女性(南小校区)	利用料金が少々上がっても、“利用したい!!”と思わせる施設があれば良いと思う。利用の少ない施設は、思い切って廃止すべきではないだろうか。
30 歳代・女性(南小校区)	・公共施設に関する費用について、必要不可欠な施設に関しては、どれだけの費用がかかろうと、その費用を捻出するための方策を講じるべきである。市民の負担、企業等からの援助など、人口の増減と同様に、流動的な政策を模索すべきである。ただし、不要な施設を見極め、施設の再利用（民間企業等への譲渡など）や、廃止を先行して行うべきである。・“常に進んだ町”“魅力的な町”であればよい。（流行を取り入れること。“長久手=〇〇”というイメージの確立。）・税収の維持・増大・人口の維持・増加を優先的に考え、「減少した場合・・・」より、減少させない努力をすべきである。今から将来を見据えた対策をとることも大切。でも、その時にならなければ、本当に必要なことが分からない。
30 歳代・女性(未回答)	他の自治体と比べて、スポーツ施設(サッカー・テニス等)が少ないと思う。また、Nバスの小型化等で経費が小さくなるぶん、無駄を省くことが出来るはず。もしくは路線の拡充や本数の増便をしてほしい。
30 歳代・女性(西小校区)	図書館の本の種類が少なく、物足りない。人が多いうえに椅子の数も少なく、児童書のコーナーの小さな椅子に大人が座ってる時もある。子育て支援センターの職員がいつも職員室でおしゃべりしているので、声をかけにくい。日進や三好などの支援センターは常にフロアに職員がいて、親子に話掛けてくれる。そのため他地域に行く家族が多い。
40 歳代・男性(北小校区)	公共施設は高級な設備である必要はないので、利用者を増やせるように適度な値段で維持できる程度で良いと思う。

40 歳代・男性(北小校区)	市内は住居侵入の犯罪率が全国でも高い。このままでは不審者ばかりになり、子供たちに悪影響が出る。日本一住みやすい街と評価されていますが、現在の愛知署では担当する範囲が広すぎて、警察官の努力範囲を超えている。長久手市総合庁舎建設時に警察署やその他公共施設も全て入れて、コンパクト化してほしいです。
40 歳代・男性(市が洞小校区)	杵ヶ池体育館のジムを利用したいのですが、平日に講習を受けないと利用できません。出来れば日曜日にジム利用の講習をしてもらいたいです。
40 歳代・男性(長久手小校区)	インターネット・CTV等を利用し、設備を有効活用することで地域活性化を進めてほしい。形だけを造るのではなく、利用しやすいシステム作りに費用を市が負担し、運営の経費を利用者が負担すべき。利用にあたり市民の不公平感が出ないように議会・市広報を通じて、色々な意見を集約してほしい。
40 歳代・男性(南小校区)	公共施設の運営は、民間委託又は民営化していくべきと考えています。利用しない人も費用を負担するのはどうか、と思います。
40 歳代・男性(北小校区)	本市は便利な地域であり、他の自治体がやっているからといって、全てのサービスを整えることに税金を使いすぎるのは反対。急激な人口増や若返り、子供増加に対する対策を優先してほしい。例えば渋滞対策・リニモの運賃高すぎ・歩車分離モデルタウン等々。
40 歳代・男性(北小校区)	福祉の家・生きがいセンター・老人憩いの家/田園バレー・環境改善センター/交流プラザ・まちづくりセンター・集会所・公民館/児童館・子育て支援センターというように、利用者や利用目的がかぶっている施設が目立つ。施設の違いが不明瞭で、利用者の偏りも大きいと思う。施設の利用目的を明確にし統合させて、各地域ごとで公平なサービスを受けられるよう、配置するべきと思う。
40 歳代・男性(北小校区)	統廃合や機能の複合化、多機能化により、不要な施設は減らすべきである。
40 歳代・男性(北小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、施設の利用者負担とすべきであるが、施設の性格もあるので、施設の特性を考えて利用額を設定すべき。例えば、スポーツ施設は、利用者から値段が高くなっても適正な額を徴収すべき。逆に、公共でしか設置することができないような施設（具体的な施設は思い浮かばないが）は、利用しやすい金額にすべきではないでしょうか。</li> <li>・しかしながら、利用率が低い、一部の特定少数しか利用されない施設や公共が保有する意義が少ない施設は、早急に廃止すべき。</li> </ul>
40 歳代・男性(南小校区)	安心して住める町としての治安維持に対する施設と、大地震に対する防災とその施設を充実させるべきと考えます。

40 歳代・男性(市が洞小校区)	近年、大型ショッピングセンターがいくつか建設され、また、人口増加傾向のため、道路が渋滞する。この対策として、計画的な道路整備の検討をお願いしたい。
40 歳代・男性(南小校区)	財政状況に応じた対応をしていくしかないと思います。借金までして、特定利用者しか利用しない施設は、延命する必要は無いと考えます。(残念ですが)ただし、浄化センター、図書館、給食センターは、必要と考えますので、対応していく必要はあると思います。
40 歳代・男性(長久手小校区)	・公園の整備をしてほしい。荒れていると利用できない。・東浦公園が水はけが悪いので、何とかしてほしい。芝生じゃない方が良いかも。・図書館が古いし暗い本も少ない。・エコハウスの衣服などが、長期休みや夏の間は、並べてもらえないので、並べない期間を公共してほしい。無駄足ふんでしまって困る。・保育園の乳児室は、なるべく1階にしてほしい。荷物が多く、抱っこで階段は怖い。入口はスロープを付けてほしい。・古戦場駅から古戦場公園沿いの道(塚の正面の道)が、暗くて狭くて危ない。・イオンから古戦場公園へまっすぐ行く道(東→西)が遊歩道につながっているが、そこも暗くて狭い。・古戦場公園内が、通路がガタガタでスロープも無いので、困る。・文化の家、青少年児童センターなど、デザイン重視過ぎて変なところに突然壁や柱があって使いづらい。実用性、動線を重点にしてほしい。・まちづくりセンター、いつ見てもほとんど人がいない。何に利用するのも分からないし、子どもを遊ばせるスペースに使えるわけでもない。勿体ない。カルチャーセンター化して、貸出料を取り、余ったスペースは市民が自由に使える休憩所みたいにしてほしい。・公共のトイレには、子どもを乗せる椅子(角につけるガード)や、荷物を掛けるフック(背が届く所に)を付けてほしい。
40 歳代・男性(北小校区)	子どもや高齢者には、「優先的に使用できる」「利用負担も少なく使用できる」これは続けるべき。
40 歳代・男性(北小校区)	利用率の高い施設を重視し、利用率の低い施設は統廃合、合理化し、残す場合でも、コストを減らす。(※利用率があまりにも低い施設は、土日限定にするなど)人件費を抑える努力が必要。 ござらせなどは、長久手市民は半額にすればもっと利用すると思う。長久手市は、若い人の人口が増えているので、若い人対象の施設をもっと重視すべきでは。
40 歳代・男性(市が洞小校区)	公共施設は、無駄に整備してはいけないが、色々な立場、環境、状況の人が、色々なニーズを持っていると思うので、統廃合を考えて、税金を無駄に使わないことは大切だが、丁寧に要不要を判断し

	ないといけないと思う。市民の意見を広く聞いて、判断してもらいたい。
40 歳代・男性(北小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民テニスコートのグラウンド状況が悪すぎて、活用されていない。整備しなせば、杣ヶ池や菖蒲池が取れずにしている人たちが利用できるはず、と思います。</li> <li>・北小学校区にも、簡易郵便局が必要だと思います。</li> </ul>
40 歳代・男性(長久手小校区)	今後新規に公共施設を建設する必要性は、基本的には無いと考える。ただし、高齢化を見据え、介護施設の拡充は、民間のノウハウを積極的に活用しつつも、行政として行っていく必要があると考える。先んじた対応を検討いただきたい。
40 歳代・男性(北小校区)	尾張旭市、長久手市と共同で火葬場を作ってほしい。瀬戸、名古屋で利用すると、金額が高い。
40 歳代・男性(北小校区)	税金が高いけど、あまり恩恵を受けていない気がする。小中学校建設は良いと思うが、その他の施設の新設は不要と思います。その他の上下水道の価格減。高齢者福祉の充実をお願いしたいです。
40 歳代・男性(市が洞小校区)	各施設が存在する目的を明確にする。その目的に対し、施設が大きく貢献（費用対効果）しているのであれば、必要。施設名から役割が明確にイメージできないものは、正直廃止も考えても良いのではと思う。（例えば、丸太の家、福祉の家、生きがいセンター、改善センター、まちづくりセンター…）名前からして役割がぼやけすぎていて、施設があるから何かをやるのか、何かをするために施設があるのかわからない）反対に、市役所、図書館、エコハウス等、誰が聞いても役割が明確で必要なものには、お金を掛ければよいと思う。
40 歳代・男性(市が洞小校区)	運営を民間に依頼し、休日も夜間も（夜 10 時～11 時位まで）施設を利用できるようにし、事前に申込が必要なプログラムがある施設は、せめて 2、3 日前の締切にしてもらわないと、一般の会社員やその家族は皆で利用できないと思う。いつでも、参加したい、利用したいときに、市民誰もが利用できる施設を目指してほしい。
40 歳代・男性(市が洞小校区)	個々の施設がどんな時に使っているのかわからないので、使いようがない。
40 歳代・女性(南小校区)	スポーツ施設等ができるスタジアム等が、もう少し充実できれば良いと思う。
40 歳代・女性(西小校区)	使用度の低い施設は統合・廃止も含めて、思い切った改革が必要だと思います。その分の税金を社会保障等、優先度の高いものに割り当ててほしいです。



40 歳代・女性(市が洞小校区)	数が多ければ良いというものでもないと思うので、必要な施設を厳選する。民間の力を借りる。今はグルメの時代でもあると思うので、飲食店をいれたり、魅力ある施設にする。
40 歳代・女性(西小校区)	公共施設を利用したくても、車を持っている方中心で時間が設定されていると思います。N バス利用の時は、すごく早い時間の N バスを乗り継いで行くこともあります。子育て・若い夫婦が多い時代ですが高齢社会の準備を進めつつ、子育て世代が今助かる施設をお願いします。
40 歳代・女性(北小校区)	公共施設は大規模災害の時に市民にとって、頼りになる存在でないといけないと思います。特に市役所。他市であったように、罹災証明書を交付するはずの市役所内に入れられないようでは困る。支援を受けるためにも、行政が機能するのが先決。また学校・保育園・老人施設なども整備を怠る事は NG。市民税が高くなっても安全第一でお願いしたいと思います。
40 歳代・女性(長久手小校区)	市内には文化施設として、展覧会を行うスペースがないので、他のスペースなども展示できるように対応して頂きたい。美術館がないので、それに代わる施設がほしい。
40 歳代・女性(西小校区)	浄水施設の老朽化が著しいと聞きます。雨漏りなど、市民の水の大事な場所ですので、早く直した方が良くと思います。
40 歳代・女性(北小校区)	・やる内容がショボいのに、しっかりお金を取る。・融通が利かない・児童館でも、いつも来ている子が我が物顔で職員も放ったらかしだから、遊ばせるのが怖い。・勉強に関する内容が全然無い。愛知県は学力が低いことが恥ずかしくないのだろうか。・日進とかのによく行く。(探す)
40 歳代・女性(市が洞小校区)	市営プールなどが長久手市にはないので欲しいです。
40 歳代・女性(長久手小校区)	質問 1、2 について、子どもが小さい時には、よく利用していた施設、あるいは年齢的に利用する必要のない施設が混在しているので、回答することに疑問を持った。また、この回答を、どう利用・検討するのにも疑問を持っている。回答者の年齢別に分けて分析するのは当然だと思うが、無作為に市民を選んでのアンケートなので、年齢的になバラつきなどは無いのか…。「〇才～〇才の方は…」というように、年齢別になっていれば、分析する方も、回答する方も、処理しやすいのではないかと。 市は公共施設について、民営あるいは民間のノウハウを使っていくことに異議はないが、施設によっては、細かく検討し、進めていくことが必要であったり、民間の力を借りずに市営としてい

	<p>た方が市民にとって有益である。慎重に検討し、市税を有効活用してほしいと思う。</p>
40 歳代・女性(長久手小校区)	<p>リニモが高すぎる。学生、会社員、老人にもっと割引を。名古屋市みたいにしてほしい。高すぎるので、学生（小、中、高、大）は、リニモを使うのを控えています。もっと適正な金額にしてほしい。住民税高くてたくさん払っているのだから。</p>
40 歳代・女性(北小校区)	<p>いつも集会所の時計がおかしくなることが多いので、子ども達の分団で集まる所の時計なので、壊れやすいのは困ります。</p>
40 歳代・女性(長久手小校区)	<p>小学校の隣に児童館を置いたりして、施設の統合をして、経費を減らす。</p>
40 歳代・女性(市が洞小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 杵ヶ池体育館の規模が小さい。観客席が狭い。駐車場が少ない。文化の家辺りに体育館が欲しい。</li> <li>・ 図書館行きにくい。</li> <li>・ エコハウスはとても便利で、よく使っている。</li> <li>・ 色金山歴史公園は、もっとアピールできると思う。公園はとても良いと思うので。</li> </ul>
40 歳代・女性(北小校区)	<p>年齢によって、必要、不必要な施設が出てしまうのは、仕方がないことだと思います。不自然に、一部の年齢が利用する施設ばかり優遇するのではなく、皆が納得できるようにしてほしいと思います。そうでなければ、公共施設の意味が無いと思います。</p>
40 歳代・女性(北小校区)	<p>現在は、小学生の子供中心の生活で、下山児童館には、とてもお世話になりました。ありがとうございます。</p> <p>放課後児童クラブでは、マンパワーには本当にありがたいものを感じましたが、子どもの増加、施設の老朽化、道路の幅の狭さ、車の通行量の多さなど、子供向けのものが危険だと思います。</p>
40 歳代・女性(北小校区)	<p>北小学校の建増しの説明会には行かないので、分からないのに申し上げてすみませんが、運動場が無くなってしまうのではないかと思いますのですが…。運動会は中学校の校庭を借りるとかになるのでしょうか。</p>
40 歳代・女性(南小校区)	<p>文化の家での講演を、もっと魅力あるものをしてほしい。</p>

40 歳代・女性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古戦場公園の見直し。水路？は水が張っていないなら、作り直して、埋めた方が、芝生で遊ぶ子どもなどもけがをしないのでは？資料館も、もっと見やすく、レイアウトや、美的な観点から、整備した方が、少しずつ観に来る人も増加するのでは。安っぽい PR（武将隊のようなもの？が一時おかけましたが）より本格的なものを表に出すべき。目の肥えた人にも通ずる施設を作してほしい。</li> <li>・あぐりん村のそばに宿泊施設を作ってはどうか？</li> </ul>
40 歳代・女性(南小校区)	<p>テニスコートについてですが、杣ヶ池はナイターがあって、菖蒲池は無いですね？冬など、5時までの利用にすると、ライトが無いため、ラストまでできない時があるので、残念だと思ったことがあります。菖蒲池のコートのひびが結構入っているので、気になりました。市民コートは、他の2つのコートに比べて、やる気がなくなるコートだなと思いました。</p>
40 歳代・女性(南小校区)	<p>文化の家はよく利用させていただいております。市の職員の方も参加されたイベントも多く、とても熱意を感じます。応援しています。ただ、今後の更新必要額が、多額であるので、やはり良い施設は、維持にもお金がかかるのですね。課題かと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流プラザがあまり活用されていないと思います。場所が分かりづらいのも、一つにあるように思います。</li> </ul>
40 歳代・女性(北小校区)	<p>住民が必要となる施設は、世代によって異なる。今後の世代分布を分析し、それに沿った施設を優先的に整備していくべき。</p>
40 歳代・女性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市が T U T A Y A 運営の図書館を却下しましたが、長久手市がそうならば良いと思いました。年齢が若干若い市ですし、図書館は子育てにおいても子ども達が集まりやすい場となれば、活気が出てくると思います。様々な世代においても、図書館は集まりやすい（利用しやすい）施設の一つだと思います。</li> <li>・長久手市のプールができればよいと思います。</li> </ul>
40 歳代・女性(西小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコートの利用時間単位を、1時間ごとにしてほしい。</li> <li>・杣ヶ池公園の駐車場は、長時間利用は有料にすべき。（or 第2は無料にする等）</li> </ul>
40 歳代・女性(西小校区)	<p>公共施設の更新は、毎年の投資額が 10 億円程度に収まるように、工事の平準化をするべき。必要のない施設は廃止する。お年寄りと子供のための施設だけでなく、40代～50代の大人が利用できる施設を作してほしい。</p>
40 歳代・女性(北小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設とは異なるかも知れないが、小学校でトワイライトなど、近隣の市で行っているサービスを、長久手市でも行って欲しい。</li> <li>・小学生の放課後の場所の選択肢が少ないと思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO の学童施設やトワイライトスクールの導入など、検討して欲しい。</li> </ul>
40 歳代・女性(市が洞小校区)	<p>杵ヶ池公園の老朽化がひどすぎる。遊べる遊具も少ないし、池の周りの安全対策もいい加減だと思う。あの辺りは不審者が来るので、木の伐採をして、周辺から見通しが良くなるようにしてほしいし、防犯カメラの設置も必要だと思う。リニモの杵ヶ池公園駅の掃除も徹底されておらず、汚れが目立つ。</p>
40 歳代・女性(北小校区)	美術館が無いので、検討ください。
40 歳代・女性(未回答)	<p>公共の施設ではないですが、学校はいつ何時災害の避難所になるかわかりません。通常でもそうですが、夏は昔と違って暑すぎます。頭が痛く気持ちが悪くなる子も多数、クーラーもしくは最低限除湿できるようにしてほしい。周りの市町村はもうつけています。</p>
40 歳代・女性(西小校区)	<p>学区割りが上手くいっていないような気がする。地域的に小学生が増える時期は一時。人数に合わせて学区割りして、校舎の増築などの費用を抑えるべきではないかと思う。学校によって人数が違いすぎる様な気がします。</p>
40 歳代・女性(西小校区)	<p>施設に関しては、ほとんど利用したことがなく、意見ができませんが、1つだけ、気になっていることがあるので、記述しておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 杵ヶ池公園の整備をしてほしい。公園周り（公園内）の道をランニング、ジョギング、ウォーキングしている方がいます。その道は大きな石が多く、砂利道で歩きにくい道です。きちんとした道にすべきでは？</li> <li>・ もう少し芝の部分を増やし、子連れの母親たちがお弁当を持って来られるような明るい公園にしてほしい。外からも見えず、ゆっくりできる所も少なく公園の意味があまり無い気がします。自然なのは、とても良いと思いますが、人が集える公園になると良いですね。</li> </ul>
40 歳代・女性(市が洞小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ N バスの路線の拡充を希望します。例えば、環状線みたいな路線があると良い。</li> <li>・ 名古屋市の様なコミュニティセンターをたくさん作ってほしい。</li> <li>・ 市が洞学区にも、公共施設の充実をお願いします。（図書館、交流センターetc）</li> <li>・ 長久手市はとても住みやすいと感じています。もっともっと住みやすい街になると良いと思います。</li> </ul>

40 歳代・女性(南小校区)	各地区の集会所の老朽化が激しく、施設内の備品（座布団や押入れ内、床面も含む）もかなり傷んでいる様子なので、大規模な施設以外の地域に密着している小規模な施設の調査と、その補修を強く希望します。
40 歳代・女性(北小校区)	今はまだ自分で運転することができるので、移動には苦勞しませんが、できなくなった時のことを考えると、不安です。
40 歳代・女性(長久手小校区)	私自身が利用しない施設であっても、子ども塾やテニスコート等、娘、息子が利用させていただいています。各世代ごとに利用対象となる施設は変わってくると思いますので、統廃合についてはなかなか難しいと思いますが、投票所としてのイメージしかない施設等、正直ありますので、施設数を減らす→Nバスのルートを検討することで、他施設への移動手段とする…等も良いのでは？と思います。
40 歳代・女性(西小校区)	図書館の充実整備をしていただきたい。
40 歳代・女性(北小校区)	長久手市の市民税は、尾張旭市などと比べると高い。それなのに、利用できる公共施設は少ない。税金は長久手市民が払っているのに、他の市民も利用し、利用料金にその差が無いのはおかしい。
40 歳代・女性(市が洞小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部土地区画整理組合事務所の今後は気になります。既に告知等があったのなら、全く伝わっていないので、もう一度広報紙や町内会回覧などで知らせて欲しいです。</li> <li>・日進市の福社会館を何度か利用したことがあります。日進市民であれば、福社会館内のホール、会議室、勉強室、調理室、スタジオ、カラオケルームなど、使用料がかからずに利用できます。赤ちゃんを連れてママから、小中学生、社会人サークル（ブラスバンド、ヨガ、合唱、料理など）とても大勢の市民が使用していて、活気に満ちています。長久手市にもできないでしょうか？</li> <li>・今季（H28.4月～H29.3月）市が洞小学区の子どもの会の役員をしています。子ども会のお楽しみ会ができて、子ども達が自力で集合できる場所が欲しいです。児童館の体育館ならミニゲームもできて良いのですが、日曜日に予約制など規制を作って利用させてくれたらありがたいです。40人前後の人数での移動を考えると、バス送迎の映画やボーリングばかりになり、会費も高額で特に2人以上子どもがいる家庭は気軽に子ども会に入会できなくなっています。</li> <li>・図書館が大好きで、2週間に一度通っています。併設されているカフェのコーヒーがおいしくて、好きです。</li> </ul>
40 歳代・女性(市が洞小校区)	今後の社会情勢の変化に伴い、思い切った改革が必要になってくると思います。大変な中だとは思いますが、他市町等の事例等も情報収集し、よりよい施設運営を行っていただければと思っています。今

	は、利用する必要が無いのですが、いずれ、必ずお世話になる施設も多いと思います。
40 歳代・女性(市が洞小校区)	市が洞地区には野球のできる公園が1カ所しかない。小学校でも野球ができるようにしてほしい。
40 歳代・女性(東小校区)	子育て支援施設をよく利用しています。学校教育施設も含め、今後の本市を担う子供たちのための施設は安全面・衛生面なども考慮して、計画してほしい。
40 歳代・女性(市が洞小校区)	行き当たりばったりでない、先を見越して計画的に税金を使っただけきたい。ごく一部の限られた人のみ利用する施設が多すぎるように思う。
40 歳代・女性(南小校区)	市役所は、リニモの駅に接する所に建てるべき。
40 歳代・女性(市が洞小校区)	図書館の本が増えて、充実した場所になるとうれしいです。
40 歳代・女性(北小校区)	あぐりん村へのバスが無料なのは、もったいないと思います。一回100円もしくは往復100円ぐらいは徴収してもよい。もし災害が起きた時、市内の南側や西側は公園等が少なく、避難する場所が足りるのか不安になる。図書館を立て直すならば、もっと大きくして、本を増やしてほしい。
40 歳代・女性(市が洞小校区)	文化の家等で収益を確保できる施設に対して、積極的に民間などを活用して、収益を上げるべき。そのほか、広告事業も取り組み、個々の事業での負債に充当する。
40 歳代・女性(南小校区)	市民がリニモを利用する場合の乗車代金の減額サービスがあれば、他地域の公共施設が利用しやすい。またはNバスの路線・本数の拡充。
40 歳代・女性(長久手小校区)	大人二人と犬の生活で、子供もなく高齢者でもないのに、どの施設も利用に適しません。犬と共有出来る施設を作ってほしい。
50 歳代・男性(西小校区)	西小校区ふらっと小屋を利用していますが、もっと利用しやすい方向で推進してほしい。他の校区への展開が遅れているのでは？道路・歩道についてインターロッキング等が工事不良で歩きづらい所が多く、入札工事も責任施工10年等のメンテナンスフリーのスキルがある業者の選定をお願いしたい。市民皆さんが利用しやすい施設の充実を検討して下さい。
50 歳代・男性(長久手小校区)	施設の利用状況等の情報を提示してアンケートさせないと、誘導されている気がする。説明会に参加しなくても、情報の開示が必要。このアンケートにも疑問を感じます。
50 歳代・男性(西小校区)	前市長のような箱物行政には反対。

50 歳代・男性(北小校区)	名古屋市が行っているアセットマネジメント計画ではなく、施設ごとの目的に合った保全計画を立て、将来の人口を踏まえた公共施設としていく。
50 歳代・男性(東小校区)	民間に委託し、効率的な運用が必要。本市に目玉となる収益施設を建設・運営する。
50 歳代・男性(南小校区)	ほとんどの施設において、何のためあるのかを知らない市民が多いのではないのでしょうか。もっと市民にわかりやすく説明したり、市民優先の料金設定や優先招待をすべきと思います。なかには近隣住民が多くはいつている催し物もあつたりして、ショックを受けたことがあります。
50 歳代・男性(市が洞小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生以下が利用については基本無料化。18 歳～65 歳が多く利用するものについては、有料化し、運営、修繕費の一部にお金が出るくらいに。</li> <li>・66 歳以上については一部有料化して、2050 年以降は多少増していく</li> <li>・積立金を今から実施する。(税金、利用料)</li> </ul>
50 歳代・男性(長久手小校区)	使用(利用)頻度が少ない施設のものに関しては、閉鎖してもよいと思う。維持費を税金で使うのであれば、民間へ貸し出し、利益を得てもよいと思う。
50 歳代・男性(南小校区)	リハビリ施設を付帯した市民病院建設のご検討
50 歳代・男性(北小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路工事などの公共工事の見直しが必要! 不要な所はやらない。</li> <li>・年寄りでも元気がある方は、負担を増やすことが必要。一律ではなく、生活によって変化させていくことが大切ではないか。</li> </ul>
50 歳代・男性(長久手小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館にいる人(働いている人)の数は、もっと減らしてもよいと思う。いつも暇そうにしている。</li> <li>・各公共施設に当然のように新聞をとって置いてあるが、必要は無いと思う。年間でかなりの経費の節減になるはず。</li> </ul>
50 歳代・男性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政のゆとりのある今こそ、支出を最小限に抑える。</li> <li>・文化の家は不要。</li> <li>・ショッピング施設企業にさらに応分の負担をさせる。</li> <li>・資金の運用をプライマリーバランスを将来に渡り基本、税負担拡大は若い層に負担大で絶対不可。</li> </ul>
50 歳代・男性(市が洞小校区)	市民のための施設が必要。一部の人のためでなく
50 歳代・男性(西小校区)	予算の適正化を図る。人員配置なども、人口の動きを 50%アップするくらいの合理化が必要。人のパフォーマンスを向上させず、一方で費用だけかけることは、資源の無駄遣いになる。前例踏襲はやめてほしい。

50 歳代・男性(北小校区)	市の公共施設には、ほとんど関心がありませんが、市役所、小学校、図書館、文化の家は利用するので、質問 3 は、3 とどちらともいえないに回答した。
50 歳代・男性(市が洞小校区)	各施設をできる限り集中させる(場所) ・集中することでの運営費の低減 ・集中することにより、数人、個人が同時に複数の施設を利用できる。
50 歳代・男性(南小校区)	使用料は安くして欲しいが、税金で負担になって、税金が高くなるのは困る。
50 歳代・男性(市が洞小校区)	市内に公共施設がこんなにもあると知らなかった。利用者のほとんどない施設などは閉鎖も検討してほしい。または中身を変えて、リニューアルオープンさせても良いかも。本市が 30 年後に、高蔵寺ニュータウンの様にならない魅力的な町づくりをしてほしい。
50 歳代・男性(南小校区)	近年の災害状況をみると、非常時の避難体制を充実させていく必要があり、その役割を公共施設に付加する必要があると考えます。使用目的としての公共施設の役割だけを考えるのではなく、災害発生時に避難場所として十分な役割が果たせる両面から考える。長期化した場合のことも考えと設備の付加、避難場所での状況などを即座に確認・発信できる体制作りをしてほしい。(現状の公共施設の避難場所として、どんな対応が出来るのか、施設ごとに公開してほしい。
50 歳代・男性(市が洞小校区)	建設後のランニングコストの圧縮には、注意してほしい。その公共施設が本当に必要なものか、維持していくにはいくら必要なのか、よく検討してほしい。
50 歳代・男性(長久手小校区)	広報がなくやそれ以外の媒体も使って(リニモ・Nバス・名鉄バスの駅、社内、停留所に広告を出す)積極的に施設の PR や利用をうながす。関心を持たせ、りようしてみたくなるような宣伝が不可欠。
50 歳代・女性(西小校区)	公共施設の定休が月曜日なので、利用できません。
50 歳代・女性(長久手小校区)	楽器演奏をします。少人数での練習場所が少なく、困っています。県芸大等教育施設を借りることができたら、思います、
50 歳代・女性(長久手小校区)	こども塾や児童館等は子供が小さい時はよく利用しました。将来は老人の家等で利用すると思うし、どこが無駄な施設とは言えません。交流プラザ・まちづくりセンターは活動内容が見えません。図書館も建物は立派なのに、利用しづらい。民間企業に委託してもいいと思います。サービス向上するし、脱お役所仕事になるのでは。



50 歳代・女性(長久手小校区)	豊田市には科学館・美術館などの子供が楽しめる場所がある。東海市にもしあわせ村がある。障害児なども受け入れられやすい環境作り、また将来に役に立つ就労体験施設があるといい。
50 歳代・女性(市が洞小校区)	文化の家の森のホールは維持費は多額になると思うがその多様性・質の高さから、良い文化芸術にであう機会が得られる。安易な縮小はやめてほしい。本市に一つしかない図書館なのに、内容が乏しい。雑誌等が多く、専門的な本の種類を増やしてほしい。中央図書館という名にふさわしい、内容にしてほしい。
50 歳代・女性(西小校区)	市役所にエレベーターをつけてほしい。目に障害があるため、階段が使えません。
50 歳代・女性(北小校区)	今 50 代なので、60 代以降に活用できればと思いますが、長久手は若い人が多いので、小さい子ども達と若い親にメリットがあるとよいですね。
50 歳代・女性(南小校区)	避難所となっている場所の老朽化がひどく、災害時に対応が可能なのか、疑問。例えば、杵ヶ池体育館の雨漏り等、実際に避難した際に、雨漏りしていて大丈夫なのか？
50 歳代・女性(南小校区)	杵ヶ池体育館ですが、冷暖房が悪いのは、いかがなものでしょうか。以前、使わせていただいていたのですが、夏、冬の利用は、大変つらいです。
50 歳代・女性(北小校区)	以前、お世話になっていたのですが、北保育園は、老朽化が来ていると思いますが、建て替えは、ありませんか？子ども達の施設、地震等に備え、強固な施設を望みます。よろしくお願いします。
50 歳代・女性(南小校区)	住民税が高い。それに比例するサービスが提供されていない。
50 歳代・女性(北小校区)	文化の家の有効活用を更に図る。
50 歳代・女性(市が洞小校区)	利用度が特に低い施設については、維持が大変なので、廃止すべきと思います。
50 歳代・女性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園を増やしてほしい。</li> <li>・N バスの本数とコースを増やしてほしい。または、バスのコースを増やしてほしい。</li> <li>・自転車置き場の充実</li> </ul>
50 歳代・女性(北小校区)	<p>公共施設にはあまり関係はないが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N バスの時間の見直し（藤ヶ丘に行くバス）</li> <li>・花火を前のようにしてもらいたい。</li> </ul>

50 歳代・女性(東小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このアンケートの内容が、あまりにも偏った内容で、質問の意図が分かりにくい。利用する年齢にならないと使用しないのに、アンケートで利用の頻度では測れないと思う。</li> <li>・総合計画の説明会ではなく、市民が参加できる形での市政であるべきだと思う。(意見交換したところで意味が無い)</li> <li>・市長は、市民から選ばれたことを考えれば、今までと同じでなく、市民参加での計画を考えるべきではと思う。残念です。</li> </ul>
50 歳代・女性(長久手小校区)	<p>利用する人数が満たされるよう、運営には工夫が欲しい。たくさんの年齢層が利用できれば、施設も有効利用されると思う。</p> <p>子どもだけ、高齢者だけの年齢層が決まってしまう施設が多いと思う。老若何女が集えるような施設運営をお願いしたい。</p>
50 歳代・女性(長久手小校区)	<p>使われていない施設の見直しが必要。老朽化した施設が使用されていない場合は、必要無いのでは。</p>
50 歳代・女性(北小校区)	<p>雨に濡れている資源ごみを見かけます。人口増加している中で、エコハウスのあり方やごみ収集の方法について、考えて欲しいと思います。</p>
50 歳代・女性(東小校区)	<p>施設の利用者は限られた人が多いので、必要のない人にとっての関心は災害に対する備えが、どうなのかと思います。</p>
50 歳代・女性(市が洞小校区)	<p>施設を建設する際に、維持管理費用をあらかじめ考えてすべきだと思います。長久手市と同規模の広さ・人口で平均年齢が高い市をもっと調査すべき。公共施設の使用料が民間の施設と同じでは、公共施設の意味がない。利用者が使用料を支払うのは当然。</p>
60 歳代・男性(市が洞小校区)	<p>市内の公園などをもっと市民に開放して、フリーマーケットやマルシェ等に活用していくべきではないか。土日祝日等の活用に於いて厳しいとされていて、若者の力を活用して活性化したらよいと思う。ござらっせの温泉の洗い場やタイルが滑りやすく、改善してほしい。子供や高齢者の目線で再点検してほしい。</p>
60 歳代・男性(北小校区)	<p>文化の家等の維持管理費が年間どの位かは分かりませんが、かなりの費用が予想されます。無駄な設備、利用頻度の少ない装置等のメンテナンス費を削減すべき。老人介護施設の充実。</p>
60 歳代・男性(南小校区)	<p>文化の家と図書館の間の橋に巨額な税金が投入された経緯がある。今後このようなことは絶対に避けるべき。文化の家の予約は市民優先にすべきである。</p>
60 歳代・男性(西小校区)	<p>市の財政が悪化するのであれば、利用者負担増も仕方がない。</p>
60 歳代・男性(東小校区)	<p>利用目的と建設目的を明確にして、中途半端な施設をいくつも造らない。1月6日のポスト投函で22日までの返送は失礼。</p>

60 歳代・男性(西小校区)	現時点でどの公共施設の稼働率が、高いか低いか、効果的か否か、本来把握していなければいけないはず。アンケート以前に不要な箱モノを整理すべき。
60 歳代・男性(市が洞小校区)	箱物行政は、必要最低限に。利用者が少ない施設は、需要が無いからです。
60 歳代・男性(西小校区)	あまり必要としない施設（利用率の低い施設）は見直す。例えば、図書館などは、どれだけの利用者がいるのか、公表すべき。
60 歳代・男性(長久手小校区)	公共施設を近隣自治体と共同で建設する場合、一方が利便性に優れ、一方が便が悪くなるという事態が生じたり、運営面で綱引きが発生する。
60 歳代・男性(市が洞小校区)	資料が少ないので、分かりません。
60 歳代・男性(南小校区)	維持管理については、受益者負担を踏まえつつ、民間の力を活用できるところは最大限活用し、財政負担を極力抑える方策を具体的に進めてほしい。
60 歳代・男性(市が洞小校区)	図書館の駐車場不足
60 歳代・男性(北小校区)	60 歳ですが、長久手市の運動施設でシニアの方が無料で使用できる所が少ないと思います。野球とかの球技で使うグラウンドやコートとかではなく、ストレッチ系の体を動かし筋肉をつけていくアドバイスなどをサポートする方がいれば、なお良い。週2～4回くらいのペースで機械を使った運動ができる施設・教室があるとよい。 毎日元気！まちの健康教室が開催されていますが、座談会などやめて、運動・ストレッチ・ほぐしの運動や野外のウォーキングなどに重点を置いた教室をやった方が良いと思う。 先生がお二人お見えになるわけだから、座談会や話の好きな年齢の方は、今までの教室で良いと思います。とにかく運動がしたいと思う方は、小笠原先生に室内のストレッチ系の運動を行い、長谷川先生は最初の頃にござらっせでやっていた時のように、天気の良い日はウォーキングなどを行う教室を開催して欲しい。 とにかく、汗をかいて運動する機会を作ってほしい。帰りにござらっせで温泉に浸かってあぐりん村で買い物をする流れがあってもよいと思う。
60 歳代・男性(長久手小校区)	住民が要望する公共施設を全て設けるには、相当な負担が必要となる。長久手市の公共施設を設ける方針を確立させることがまずは必要。教育が中心となり、小中学校を中心に、設備を充実させ、市民もこれらを利用できるようにし、重複する施設を備えず、市民負担の軽減を図る。

60 歳代・男性(長久手小校区)	市民の利用頻度に応じた適材適所の配置に常に配慮すべきと思われます。例えば、エコハウスのような施設は、現在の位置に1カ所だけでよいものかと考えます。現在私は比較的近い場所に住んでおり、非常によく利用して、ありがたいのですが、例えば、市が洞地区や三ヶ峯近辺の人々は、もっと行きたくても、あきらめている方々が多いのではないのでしょうか。
60 歳代・男性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なスポーツに一人で行っても参加して、楽しめるようなシステムの時間帯があっても良いのではないかと思います。</li> <li>・体育館が少し小さいと思います。バスケットコート2面は取れるアリーナが欲しい。</li> <li>・日本人はすぐに閉鎖的な集団を作りたがるので、世代的にも交流できるイベントを定期的に行うと良いと思います。</li> </ul>
60 歳代・男性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設について、十分認識されていないと思いますので、市民にアピールを十分にします。</li> <li>・使用料は適正価格にて提供する。</li> <li>・興味のあるものを優先順位を絞り込む。</li> </ul>
60 歳代・男性(南小校区)	税金に見合った支出をするしかない。(ただし、税金を増やす方策は、あり得る)
60 歳代・男性(長久手小校区)	稼働率が低い等、無駄な施設は廃止すべきです。
60 歳代・女性(北小校区)	施設の職員の中に働いてない人が多い気がする。若い人や派遣の方だけで充分仕事をこなせてます。整備不良の改善をなかなかしてくれず、毎年同じことの繰り返しで修繕費がかさむだけでは？近隣市町村と比較しても充分な施設だとは思えない。総合的な施設を作るべき、交通手段も整えて欲しい。アンケートの記入がやりにくい、とっても！！質問もわかりにくい！！
60 歳代・女性(長久手小校区)	利用する形は人によって違っているかも知れませんが、参加する側が構えなくても、素直に楽しく参加できると良いと思います。空気が大事だと思います。
60 歳代・女性(市が洞小校区)	利用料金が安いと個人負担が少ないので、利用しやすいです。
60 歳代・女性(北小校区)	60 歳を過ぎて長久手市民になってから。公共施設で手ごろな受講料で継続しやすく友達も増え、楽しく生きがいのある日々です。
60 歳代・女性(東小校区)	文化の家など人の多く集まる施設の一角にコンビニやカフェを作り、民間事業者を活用して、長期にわたりその賃料で経費をまかなっていく。
60 歳代・女性(北小校区)	市民参加の限界を市長は学ぶ必要がある。市長のリーダーシップが全く見えない。

60 歳代・女性(市が洞小校区)	市ヶ洞小学校は狭い。生徒数がおおく、行事がまとめてできない。なぜ、考えて建設しないのか。校区を決めず、自由にしてほしい。西小学校や他の小学校の生徒数は減少しているが、広い施設である。図書館・文化の家・市役所等の公共施設は、今後1つの高層にまとめて作り、駐車場を共同で使用できるようにしてほしい。駐車場が少なく、使い勝手が悪い。
60 歳代・女性(市が洞小校区)	交通手段もよくわからず、公共施設での実施や目的なども、いまいちよく分かりません。
60 歳代・女性(東小校区)	年齢によって、利用施設が異なってきます。以前は、児童館、図書館、文化の家などをよく利用していました。家族が福祉施設「さつき」を利用していました。私も、年齢が高くなれば、利用すると思います。「さつき」内の風呂場入口の床も大分古くなっているようで、改善の余地があるかと思います。 市民が利用しやすい施設になるように求めます。児童館は、子どもたちの親の安心の場所でもあるので、充実してほしいです。
60 歳代・女性(南小校区)	改めて、このアンケートをしてみて、いかに長久手市の公共施設を利用していないかがわかった。車に乗れないので、歩いて行ける範囲にあれば、一番良い。
60 歳代・女性(北小校区)	60 歳台になり、子ども達が成人し、結婚してしまうと諸々の施設を利用する必要性が無くなりました。一人でも気軽に足が向く施設が良いですね。仕事をしているので、休みの日に利用できるとなお良いですね。
60 歳代・女性(北小校区)	お金の少ない人も自由に使える公共施設をつくることによって、閉じこもりなどを減らす。そのことによって、元気に生活を続け、保険料の節約、幸福度につながるのではないのでしょうか。
60 歳代・女性(南小校区)	各施設の必要経費がいくらかかっているのか、具体的な数字が知りたいです。電気代、水道代、修繕費など
60 歳代・女性(北小校区)	各地、転勤の末、この地に落ち着きました。今では、仕事中心で、地域との関わりもなく、ゆっくり公共施設を利用することもありませんでした。今は、子ども達も独立し、一人暮らしです。老後をどのように過ごせばよいのかと考え中です。 これからは、地域との関わりが重要になっていくのだろうと思うのですが、長久手市のことを、ほとんど知らないことに、今回のアンケート調査で改めて気づかされました。これからお世話になるだろう施設・運営・内容について、もっと情報があればと思います。

60 歳代・女性(南小校区)	<p>杵ヶ池体育館をよく利用させてもらっていますが、雨が降ると天井から雨漏りがするみたいで、天井補修して欲しいです。老朽化でしょうか。建て替えとなると、他の施設が無いので、その間、どこの場所を利用すればよいか、困りますね。</p> <p>競技場の広さも中途半端なので、もう少し広くし、利用する人は一部なので、もっと多くの方が誰でも利用できる多目的施設も数多くできると良いと思います。住みたい町長久手市にふさわしい施設を作ってもらいたいです。</p>
60 歳代・女性(東小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長久手には、障がい者のリハビリセンターが無い。是非、早急に整備して欲しいです。</li> <li>・あぐりん村の横にあるビニールハウスは、今現存利用していませんが、何かの目的があるのでしょうか？</li> </ul>
60 歳代・女性(西小校区)	<p>今回初めて知った施設もある。一方で、ござらっせやあぐりん村などは、よく知っているが、市外の来館者も多く、混んでいるので、利用しなくなった。</p>
60 歳代・女性(北小校区)	<p>公共施設がこんなに多くあるとは知りませんでした。将来に向けて、多くを利用しなければ、統廃合すべきです。人口が多い地域に施設が少ないように思います。</p>
60 歳代・女性(市が洞小校区)	<p>交通の便をよくしてほしい。Nバスの運行を増やす</p>
60 歳代・女性(東小校区)	<p>どんな時代になっても、人間は自然に触れることがとても大切なことだと痛感しています。この町で暮らす人たちが、いつまでも心豊かに幸せに感じて暮らせるように、公共施設には木を使い、周りも自然いっぱい環境にしてほしいと願っています。</p> <p>岩手県紫波町の岡崎正信さんの住民主体の取組みは、補助金に頼らない公民連携の施設で、環境は長久手と違いますが、主体的な取組の考え方は、参考になると思います。相互支的支援関係が図れる公民連携は、一人ひとりがそれぞれの生活を他の支える、笑顔になれるのではないのでしょうか。</p>
60 歳代・女性(南小校区)	<p>多くの市民に利用されてこそその公共施設ですが、車に乗らない者にとっては実に不便な長久手市です。リニモの駅からいろんな公共施設をめぐって、また駅に戻るなどの巡回バスを、もっともっと多くして欲しいと年配者は思っています。(バスが不便だからと外出しない人が多いです)人口の割には大学がたくさんあって、平均年齢を下げているが、年配者も多い。あっという間に10年、20年は経ってゆく。先の長い計画を見据えていただきたい。</p>

60 歳代・女性(東小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このアンケートをやって感じたことは、今の立ち位置で利用施設が異なること。今までは、子育て中は PTA など多少公共施設の利用はあったのですが、子ども達が大きくなると、ほとんど利用することもなくなりました。今はチェロを習い始めたのですが、音出し OK の場所が少ない事や、利用料が安く、広さがある場所が少ない。芸大生なども、皆会場探しに苦労していると感じます。</li> <li>・公共施設の維持管理には、お金がかかるし、施設の老朽化もあると思う。一個人でものを見ると、マクロな視点でものを見ることが難しい。</li> <li>・魅力ある街だから、人が寄り、そこに経済が生まれる。逆もまた然り。分子は活性化してこそ熱や光を放つ。人も寄る場所を持つことで活性化して力を放つ。それは、健康や経済・知識であったり。しかし、個人ではなかなか環境は作れない。魅力のある街とは、そういうことなのかも知れない。</li> </ul>
70 歳代・男性(市が洞小校区)	今後、高齢化、少子化に伴い、公共施設の利用度に応じた統廃合等、迅速な対応と近隣自治体との連携を進めていくことが必要と思います。
70 歳代・男性(長久手小校区)	スポーツ施設等は他の市町村では、助成金と企業・民間からの寄付金で賄われた。民間企業やスポーツ競技団体と提携しながら公共施設の建設、管理、運営をしていく事は必要です。
70 歳代・男性(北小校区)	スポーツや趣味のサークルを活かす事の出来る福祉会館を設立してほしい。日進市のような。
70 歳代・男性(北小校区)	ボランティア活動等、打ち合わせする会議室が少ない。今後各校区に共生ステーションが計画されているが、会議室(20人規模)を複数設置を希望します。図書館は名古屋市民が利用できるといい。長久手市と名古屋市は相互の図書館利用が出来るようにすべき。近隣自治体との共同利用の促進。
70 歳代・男性(東小校区)	杵ヶ池体育館・環境改善センター等、老朽化が進んでいる。建て替えか大規模な修繕が必要ではないか。
70 歳代・男性(東小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今から将来を見据え、早く問題に取り掛かること。</li> <li>・立派な施設を造りすぎましたね。利用頻度の悪い施設を早く整備に取り掛かること。</li> <li>・国の方針に賛同することなく、長久手市に必要な市民の利用したい施設を計画するようにお願いします。</li> </ul>
70 歳代・男性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車スペース不足の施設は使い勝手が悪く、改善すべきと思う。</li> <li>・集会所のような、地域に限定された施設は廃止し、市民全員が利用できる施設にすべき。</li> <li>・農村環境改善センターの多目的ホールは、とても良い施設です</li> </ul>

	が、空調が悪いのが玉にキズです。空調機を片隅に、1台設置してください。
70歳代・男性(長久手小校区)	質問2の意味が分からない。市役所を利用した事が無いとかいう質問はおかしいと思う。病院を利用した事が無いというような質問である。
70歳代・男性(東小校区)	<p>施設の利用申込み条件に、長久手市民とあるのに対して、団体またはグループの責任者氏名は長久手市民であるが、実質は近隣市民の団体や、グループであるケースが多くみられるようになった。したがって、長久手市民グループが、希望施設を希望日に使用できない状況が増している。</p> <p>近隣市民も加わったグループが長久手市民と一緒に活動することは望ましいことであるが、本来、市民の施設を市民が利用できに様々なケースを避ける方策を検討してほしい。(申込み抽選の場合、明らかに他市のグループであることを話しているのを聞いたケースがある) 名義貸しでの使用。</p>
70歳代・男性(東小校区)	犬、猫が死ぬと瀬戸に頼んで処分してもらおう。長久手の住民は、10倍、瀬戸の住民は、平均1千円。長久手の住民は重量らしいですけど、1万円が平均。10年先、15年先でも良いので、斎場、焼却場を長久手市に作ってほしい。人口も増えていくと思います。(15年が目安)
70歳代・男性(長久手小校区)	公共施設は、行政施設、学校、保育園のみ維持、他は速やかに廃止して、県民・市民税を大幅に減税する。行政による過剰なサービスは不要。大幅な行政改革!!
70歳代・男性(東小校区)	<p>市役所環境課</p> <p>事件が起こりそう(現実はっきりしている)事件が起こることが分かっているのに、相談しに行ったら事件が起こらなければ動きが取れない(事件が起こるわけがないから動けない?) 休みだったら誰が動く、証拠がはっきりしているのだから、相談しに行ったのに話を受け止めない。二度と行かない。全ての事について</p>
70歳代・男性(西小校区)	後山公園の便所が非常に汚い。
70歳代・男性(東小校区)	公共施設の使用料は、市民と市民以外とは差をつけるべきと考えます。理由、税金を使っているため。(同料金と聞いているので)
70歳代・女性(長久手小校区)	40年も住んでいますが、今だによそ者扱いで昔の部落気質があり、話の内容も合わず気分が悪い。土地持ちの人はやはり冷たくよそよそしい。



70 歳代・女性(長久手小校区)	稼働率の低い施設を多目的に使えるようにしてほしい。1 回のみの利用申請しかできないのは不都合なので、ある程度利用実績があれば、月 4 回(週 1)まとめて取れるようにしてほしい。
70 歳代・女性(市が洞小校区)	熊田地区に在住していますが、当地区は市内の過疎地域ではないでしょうか。避難先として市ヶ洞公園とありますが、高齢者の足では 30 分程かかり、非難どころか二次災害が生じる。福祉が充実していると言われていたが、公共交通機関でいけない施設が多い。名古屋市のフリーパスみたいなものがほしい。
70 歳代・女性(北小校区)	施設などで椅子・机等を準備するときは当番制にし、終了時は全員でかたづけろべき。
70 歳代・女性(長久手小校区)	設問の仕方が非常に悪い。何を質問しているのか、まったく理解できない。回答する者の年齢などを考えてもっと分かりやすく設問して欲しい。お粗末ですね。
70 歳代・女性(北小校区)	一概に公共施設の修繕と書いてありますが、生命、生活に関わる道路、学校、市役所と順位を考慮して、予算を立てるのでは、あれもこれもと広げても、必要なのは全てだと思いますが、財源がある程度決まっているのなら、その中で、必要不可欠なものから建て直してゆく。当たり前のことを、いつも譲り合うことをしないで、自己主張をして、何をしているのか分からないことが多いと思うから、無関心にならざるを得ない。
70 歳代・女性(西小校区)	ござらっせは一人でもよく利用します。炭酸風呂は元気にしてくれます。
70 歳代・女性(北小校区)	名古屋市の地下鉄、バスの無料券があれば、名古屋市の施設が利用でき、分散され、歩いたりして健康にも良いと思う。医療費(病人になってから)に使うより、病気にならないことにも(健康を維持すること)経費を使ってほしい。
70 歳代・女性(市が洞小校区)	公共の施設の料金が増えれば、色々な講座も利用できなくなり、家にこもる生活が多くなれば、健康面で医療費がかさみ、市の経費も多くなるのではないか。(年金生活者のため)
70 歳代・女性(北小校区)	西原山公園についてお願いしたいことがあります。(公共施設とは違うかも知れませんが)公園内には、大変細かい砂が敷かれています。水場辺りは所々掘れて窪み、雨の日には水たまりになっています。歩道にも砂が流れ出たり、風の強い日には、砂漠の砂嵐状態です。近隣の住宅、マンションのベランダ(上階)にも砂が降り、洗濯物なども汚れます。(風で巻き上がる感じです。)子ども達が遊ぶのには細かい砂が危険が少なく良いのだらうと思いますが、日ごろ感じていたことを書かせていただきました。一度、ご視察ください。

70 歳代・女性(東小校区)	小学校の体育館くらいの広さの多目的室があると良いと思います。舞台等もあると良いと思います。
70 歳代・女性(北小校区)	65 歳以上の方が多くなり、健康でいられるように体操教室を開いていただき、いつでも自由に利用できる所が欲しいです。会費としては、月 2,000 円くらいで。
70 歳代・女性(南小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長久手杵ヶ池体育館が狭いと思います。</li> <li>・交流センターは各学区に設置して欲しい。</li> <li>・古戦場公園をもっと整備した方が良いと思います。</li> </ul>
70 歳代・女性(北小校区)	年間の利用者数、維持管理費用をきちんと調査して、その後、民間か市かという選択を適切に選択して、市税の無駄を無くして欲しい。時には、廃止も検討する。
70 歳代・女性(北小校区)	長久手市に住んで 38 年とても良い町になり、うれしく思います。これからは楽しみにしてよい町になるように思います。
70 歳代・女性(長久手小校区)	本市民を優先に施設を利用したい。近隣住民が利用する場合、本市民と利用料の差をつけて欲しい。文化の家は使い勝手が悪く、評判が悪い。今後はシンプルな建物にし、使い勝手の良いものにして欲しい。
70 歳代・女性(長久手小校区)	多くの人が利用する公共施設のトイレを洋室に、綺麗にして欲しい。
70 歳代・女性(西小校区)	他の自治体と比較して、市役所の建物は辛抱して使ってみると感心しています。今後大きな災害があるといけないので、立派な市役所に立て替えて下さい。
70 歳代・女性(北小校区)	孫が北中学校で 3 年間お世話になりましたが、その間水飲み設備がなく非常に困りました。利用者の健康・安全面等も考えた設備のはいちにも、気を使ってほしい。
80 歳以上・男性(南小校区)	スポーツの社は土地の借り上げとききましたが、本当でしょうか。多額の賃貸であれば、地主との契約の見直しが必要と思います。公共性を感じ、相場より安い契約を出来ないものか。
80 歳以上・男性(東小校区)	本市の福祉・高齢者面への推進が魅力的で住みやすい。好調である高齢者に対する施設に容易に参加できるような交通システムの活用が必要。N バスのシフトの増大を期待する。財政負担が増すが一層の住民サービスとなる。
80 歳以上・男性(市が洞小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ民間を活用する。(例) 森林公園ゴルフ場</li> <li>・市民ファースト：道路、下水道等市民の生活向上のものは、積極的に。箱モノに資金を投入して財政悪化はやめてほしい。</li> <li>・防犯：日本一少ない市に。経費と人材の活用で可能。</li> </ul>

80 歳以上・男性(西小校区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人憩の家、集会所は、共生ステーションに吸収し、土地は売却して、老朽化した公共施設の建て替えまたは修繕に充てるべきである。</li> <li>・文化の家と高齢者生きがいセンターの設備、備品は重複している。文化の家に統合すべきである。重複している備品（碁盤、絵を習う道具等々）は、リストアップし、共生ステーションでの活用に回すべきである。</li> <li>・文化の家での催し物、PR はもっと活発に行うべきである。展示室の情報パンフレット「art News」は、市の催し物以外のイベントも利用すべきである。利用者に負担させても良いのでは。年中休館のイメージがある。いずれにせよ、長久手市の悪い癖で、策定段階で進め方は立派であるが、その後、実行となると、遅々として進まず、「日本一住みやすい街」のラベルが泣いている。</li> </ul>
80 歳以上・男性(東小校区)	文化の家、長久手温泉ござらっせなど、複雑な建物は、維持管理が大変。これからは心配。簡単で経費が少ない建屋が良かったのではないか。
80 歳以上・男性(長久手小校区)	各施設は、今後修理、修繕が必要となることは明らかである。税金の一部を計画的に積立て、施設のそれに充当する。
80 歳以上・男性(北小校区)	役場、北小学校、図書館、文化の家以外の施設は、どこにあるのか分からない状況である。
80 歳以上・女性(長久手小校区)	80 代にもなると、一番ありがたく思います。福祉の家の風呂に入ったり、文化の家で映画を見るのも楽しみです。
80 歳以上・女性(長久手小校区)	長久手小の裏側から見ると、大変汚い。今後新設校は低予算で作れば、名古屋市のような合併問題の対応を迅速に出来る。長小は歴史ある学校なので維持してほしい。本市は住みたい町に上位にランクされ、大型店舗も出店し、人口増加も見込まれる。市外以外の人にも本市の施設の PR を積極的にするべき。古戦場から愛知医大までの N バスを運行してほしい。市役所を終点にせず、イオンをもっと活用すべき。
80 歳以上・女性(南小校区)	似たような施設が多いように思います。統合整理したほうがよいと思う。
80 歳以上・女性(南小校区)	今までは、市以外の施設の利用、人との交流が主でしたが、高齢になり、これからは地元密着型の行動になると思います。財政の許す限り、旧地元住民だけでなく、移住者にも利用しやすいオープンマインドの施設にしていきたいです。

80歳以上・女性(市が洞小校区)	地域内に友人も少なく、趣味（ダンス・歌）等が、名古屋市内で教習所が開かれたいたこともあって、交流が持てなかった。現在のところ、ハンドルも未だ持っているので、日常のショッピングに不自由は感じていませんが、時間の問題であるとも。これから、地元の施設にいろいろとお世話にならなければと。Nバスのお世話になることが多くなると、もっと地域になじんでいけるのではと思っています。
80歳以上・女性(西小校区)	Nバスをよく利用しています。愛知医大への通院なども便利で、助かっています。
未回答	市全体での予算を縦割りで考えず、市役所全体で考え、優先順位をつけられる話し合いをしてほしい。予算の取り合いだけはやめてほしい。
未回答	長久手は、文化的なものに力を入れているところだと思いますし、“文化”は、豊かさに通じますので、簡単には切り捨ててはいけないと思います。ただ、だからと言って、国の未来のように後世の子どもに借金を負わせることはあってはならない（そうでなくとも、背負うものが大きいので）。ですから、その施設が、いかに市民交流、コミュニケーションの場として、活かされているか。その活性度合が、統廃合のポイントの一つになるのではと思います。
未回答	Nバスの時刻をもっと増やしてほしい。地下鉄 or 私鉄 or JR の駅を作してほしい。（片平をお願いします。）
未回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体ではなく、各1人からでも使用できるように、アピールする。（料金は高めでも良いと思う）＝募集する。</li> <li>・他の地域から、人が集められるイベントを開く。→利用が少ない所を使用することで、利用率アップと施設アピールもできる。</li> <li>・集団お見合いでの利用など</li> </ul>
未回答	地震に備え、老朽化が著しい施設については、早め早めの対応が必要だと思います。
未回答	<p>杵ヶ池体育館や、共生ステーションなど、身近な施設がとても利用しやすく、助かっています。これからも、年配の方から小さな子供まで、気軽に利用できるよ嬉しく思います。</p> <p>文化の家等、立派な（すぎる？）施設は、金額的に負担が大きいと思うので、今後は十分な検討が必要だと思います。</p>
未回答	車も自転車も無いと、市役所へはバス利用となりますが、その場合便が悪く、利用しなければならない時など、一日仕事を休む必要があり、不便。バスの周り方を変えてほしい。本数が少なく、広すぎて利用後すぐに帰れない（小さな範囲を細かく周る）

未回答	<p>いつも、私達市民のためにありがとうございます。今、アンケートをしてみて、長久手に住んでいながら、ほとんど施設を使ったことが無いんだと驚きました。せっかく整備していただいているので、折を見て利用するようにしたいと思います。</p> <p>さて、私も別の市町ではありますが、行政に身を置くものとして、施設をどう修繕していくべきかは大きな問題であると思います。</p> <p>(部署が違います) そんな立場からではなく、一市民としては、やはり多くの人利用するところから修繕していくことが大切だと思います。声が上がったとしても、利用率が低い所は、統合・閉鎖をしていかなければ、市の施設が多くなりすぎて、市の財政としても立ち行かなくなるのではないのでしょうか。その中で、集会所のような所は、地域に管理を任せてしまっても良いのではないのでしょうか。また、質問6にある利用料については、「民間施設よりも安く利用できる」というところが市にある公共施設として大切だと思います。極端に安くする必要は無いと思います。</p>
未回答	<p>リニモ直結の総合医療施設を準備するなど、高齢化対策を進めてほしい。日進市と共同で建築するなど、費用の低減をしてください。陶生病院は遠いし、愛知医大は初見での診断が難しいです。</p>
未回答	<p>テニスコートなど、予約、利用システムの使い勝手が悪い気がします。抽選なども面倒くさく、申込みのストレスの少ない他の施設を利用する傾向にある。とにかく、利用者に利用したい、と思わせる環境を！</p>
未回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な公共施設があるが、利用する人、しない人もたくさんいると思うので、利用料金は見直した方が良いと思います。</li> <li>・体育館もう一つあると良いのでは？</li> <li>・名古屋市には、区でスポーツセンターがありますが、充実しているし…</li> <li>・長久手も広いので、東小学校区と長小学校区の間くらいに子ども達が安全に（見通しが良く、車がたくさん駐車できる）集まれる、広い公園があると良いかもです。公園に駐車場が無いのは、利用しづらいです。</li> </ul>

未回答	<p>杵ヶ池体育館を週2～3利用させていただいています。設備の老朽化が激しく、快適でないのに、利用料を払わなければならない事が不満。照明代の使用料についても時間単位でなく、1回にいくらか、アリーナの利用料と含めて一律として欲しい。私達利用者はボロボロの施設に利用料を支払い、節電のためにと冷暖房も待合フロアでは常につけてもらえず、施設内が寒い、暑い。それなのに、事務受付の室内は冷暖房を付け、快適にしているのは、いかがなものか？お金を払っている者と、お金をもらっている者。おかしいとは思わないのでしょうか。これは、私個人に限らず、私の周りの利用者の方皆が思っていることです。他に同様の施設が無いため、ここを利用せざるを得ないだけです。他にもっと良い施設ができれば、ここは利用したくありません。</p>
未回答	<p>子どもたちに有意義な方向へ検討してください。</p>
未回答	<p>Nバスの改善。もっと使いやすくしてほしい。本数を増やしてほしい。</p>
未回答	<p>身近なところにすぐに利用できる小さな施設があれば、良いと思います。誰でも簡単な手続きで利用できる施設があって、一覧表があればありがたいです。</p>
未回答	<p>体育館もプールも劇場も、日進市の施設を利用しています・長久手市は施設の運用を考えた方が、良いと思います。魅力が薄いです。</p>
未回答	<p>福祉施設や文化施設など、内容が分かりにくく、不便な場所だったり、駐車場が少ない所が多く、利用する気になれない。一部の人だけの利用の印象が強く、稼働率などを公表してほしい。こども塾等の小学校からの利用は、とても良いと思う。古戦場の施設は、もっと長久手の戦いを深くわかりやすく展示してほしい。他市の資料館などを参考に、長久手市を知るなる、まずはここという施設にしてほしい。「九度山」は凄かった。行政の力の入れ方が違う。</p>

**長久手市公共施設等に関する市民からの提言について**  
**(平成29年度公共施設のあり方検討市民ワークショップ開催結果)**

**平成29年12月**  
**総務部財政課**

## はじめに

現在、国内では、高度経済成長期にその後の人口増加を前提として建設された数多くのインフラ資産や公共施設が老朽化し、各地で一斉にその更新時期を迎えています。その一方で、人口の高齢化による扶助費の増加などにより、今後は全国的に厳しい財政状況が続くと見込まれており、公共施設等の維持補修・更新のための財源を十分に確保することが困難となることが予想されています。また、少子化・人口減少社会においては、住民の公共施設に対するニーズも従来から変化してきていると考えられ、今後の公共施設等のあり方についても、改めて問われているところであります。

そのような状況の下、国は、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、全国の地方自治体に対しては総務省から、その行動計画に当たる「公共施設等総合管理計画」の策定を求められました。

これを受け、本市においても平成29年3月に「長久手市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後は、この計画に基づきながら各個別施設の維持・更新についても計画立った適正な管理を行うこととなります。

また、平成29年度においては、総務省から「統一的な基準による地方公会計の整備」が全国の自治体に要請され、本市において毎年作成している、財務書類(財務4表)についても、平成28年度決算分からは、この新たな基準に基づいて整備した固定資産台帳を基に作成することになっています。

そこで、この平成28年度決算財務書類及び固定資産台帳の整備業務により得られる公会計データを活用することで、より詳細なストック情報を具体化するなどして、「長久手市公共施設等総合管理計画」についても平成29年度中、更新版の策定を予定しているところです。

ただ、この更新版策定にあたっては、行政の力だけで進めるのではなく、計画づくりに関しても、広く市民に関与してもらうことで、市の現状についての市民への情報共有に寄与することのほか、市民の視点も計画の中に盛り込んでいくことが可能となるため、これらをねらいとして、同年度中に「公共施設のあり方検討市民ワーキング」と題し、5回にわたり、市民に公共施設について考えてもらうためのワークショップを開催しました。

このワーキングで得た市民の意見については、「長久手市公共施設等総合管理計画」の更新版策定における参考とさせていただくのみならず、各個別施設の計画づくりにおいても、今後十分考慮しながら、真に市民の満足度向上に資するような行政運営を推進していきます。



## 【 目 次 】

- 1 公共施設のあり方検討市民ワーキングの概要
- 2 公共施設に関する提言(ワーキングのまとめ)
- 3 各回開催結果(ニュースレター)



## 1 公共施設のあり方検討市民ワーキングの概要

# 1 公共施設のあり方検討市民ワーキングの概要

## (ワーキングの目的)

市民が使う公共施設の今後のことを、行政だけでなく、市民と一緒に考え、その結果を参考にし、「公共施設等総合管理計画」を更新する。

## (開催時期及び開催回数)

平成29年8月から同年11月まで 計5回

## (ファシリテーター)

名古屋大学大学院工学研究科 恒川和久准教授(詳細は、別紙1のとおり)

## (運営協力)

名古屋大学恒川研究室学生 8人

## (参加者延べ人数)

88人

## (開催内容等)

別紙2のとおり

ファシリテーター プロフィール

名古屋大学大学院工学研究科 准教授

つねかわ かずひさ  
恒川 和久 氏

( 略 歴 )

- ・名古屋大学工学部建築学科卒業
- ・大林組東京本社設計本部勤務
- ・名古屋大学工学部建築学科助手、同講師を経て現職
- ・公共施設マネジメント分野の第一人者であり、関連著書多数。県内市町村(名古屋市、豊川市、西尾市、蒲郡市、田原市、知立市など)においても総合管理計画や適正配置計画のアドバイザー、講演等多数実績あり。

( 資 格 )

- ・一級建築士

## 公共施設のあり方検討市民ワーキング 日程

【第1回】 8月26日(土) 午後1時～午後4時

参加:17人

テーマ: **現状に関する情報共有**

- ・講義「公共施設を取り巻く現状について」/名古屋大学大学院工学研究科 恒川和久准教授
- ・講義「本市の公共施設等について」/長久手市総務部財政課
- ・グループワーク「公共施設を考える上での長久手市の特徴について」

【第2回】 9月24日(日) 午前9時～正午

参加:11人

テーマ: **現場の確認**

- ・老人憩の家、まちづくりセンター、集会所、共生ステーション、文化の家などの公共施設を巡り、現状や使われ方を確認
- ・現場確認を踏まえた意見交換

【第3回】 10月14日(土) 午後1時30分～午後4時30分

参加:18人

テーマ: **課題の抽出**

- ・振り返り
- ・グループワーク「性質別の施設分類」 … 公共・民間、あらゆる施設を広域性や利益性などの観点から4象限に分類
- ・グループワーク「優先検討事項の抽出」 … 公益性の高い施設について、本来求められる機能と現状の課題を抽出

【第4回】 11月11日(土) 午後1時30分～午後4時30分

参加:19人

テーマ: **課題に対する提案の検討**

- ・振り返り
- ・グループワーク「課題に対する提案の検討」 … 第3回で出された課題等を4テーマに分類し、公共施設等総合管理計画の基本方針を市民により検討

【第5回】 11月26日(日) 午後1時30分～午後4時30分

参加:23人

テーマ: **総まとめ(結論)の作成**

- ・振り返り
- ・グループワーク「公共施設に関する提言の作成」 … 第4回の検討結果を基に再編した4つのテーマごとに、ワーキングの成果として提言を作成

## 2 公共施設に関する提言(ワーキングのまとめ)

## 2 公共施設に関する提言(ワーキングのまとめ)

全5回のワーキングを踏まえて、最終回では市民の手によって市公共施設等総合管理計画に対する市民の提言として、このワーキングの結論を考えてもらい、最終的に名古屋大学恒川研究室監修のもと、具体的に以下のとおりまとめました。

### 1 「市の顔」となるような魅力ある拠点の整備

今後更新が見込まれる市役所を始めとした大きな施設の整備にあたっては、単に必要な機能を考えるだけでなく、市民のいこいの場、交流の場となるような空間づくりに配慮し、市民も職員も誇れるような「市の顔」とも言える魅力ある拠点として整備する。そして、それを交通や商業の中心と繋げることで、長久手市の中心を作る。また、文化の家や福祉の家など、既存の大きな施設について、今後もその魅力が市の枠を超えて最大限に発揮されるよう活用する。

(ファシリテーターのコメント)

整備にあたっては、コストメリットが出る場合や、相乗効果によって施設の魅力向上が期待できる場合に、それらの施設の「複合化」を検討するとよい。

また、本市同様、近隣他市町にも魅力的な施設がたくさんある。これらの施設も長久手市民が気軽に利用できるようになるため、「自治体間連携」のメリットを打ち出していくことも重要な課題となりうる。

そして、市の拠点整備の中でも、行政機能の核となるのが、「市役所」だろう。市役所の整備から始まる長久手市の拠点づくりを期待したい。



## 2 誰もがふらっと立ち寄り、フラットに使える施設の整備

利用者の性別や年齢、施設の用途などの制限を取り払い、フラットにすることで、それぞれの地域に今ある小学校区単位での共生ステーションや字名単位での集会所、児童館、老人憩の家といった拠点の機能や立地を整理し、市民の誰もが自由気軽にふらっと集まることができる小規模多機能な地域拠点を整備する。

(ファシリテーターのコメント)

上記の地域単位での拠点整備を考える上で、このワーキングでも毎回話が上がった集会所などの「管理主体の問題」がある。いつもは鍵がかかっていて、使い勝手が悪いとの声が多く、誰がどのように管理するのかということについては、地域ごとの実情も考慮しながら、市民とともに個別に検討していく必要があるだろう。

## 3 使い勝手の向上を目指した施設情報の見える化や柔軟な運営

市が保有する施設の情報を集約して公開することで、市民が気軽にわかりやすく施設を利用することができるようにする。また、一定の用途しか連想されないような施設名称を、様々な使い方が期待できる名称に変更する。そして、現状の使われ方の状況や情報を踏まえて、施設の運営を柔軟に行う。

(ファシリテーターのコメント)

施設の管理は様々な部署で行われており、情報も点在している。これらをまとめて市民にわかりやすく発信することは、施設の使い勝手の向上につながるといえる。ほかにも、これまでの議論の中で、施設の駐車場不足が課題となっており、一定の台数の確保が不可欠といった意見があり、このこともよく考える必要があるだろう。

## 4 全施設を計画的、総合的に管理する市長直属の強力な推進体制の整備

**部署の壁を越えて施設を管理するための推進体制を整備し、全施設の整備方針について、更新、維持管理・長寿命化、他施設での代替えなど、積極的な情報公開をし、市民参加の機会も持ちながら、公共施設の総合的な管理運営を計画する。必要なものは建て替えるが、他の施設は良い状態で長く使ったり、代替可能な場合は民間や大学、他自治体の施設をうまく利用したりすることで、自治体の負担するコストを最小限に抑える(選択と集中)。**

(ファシリテーターのコメント)

他の自治体では、全市的に既存の資産を、ただ管理するにとどまらず、これらを活かして積極的な経営戦略を打ち立てることによって、市の具体的な政策実現にうまくつなげている所もある。そのためには、強力なリーダーシップや推進体制が必要不可欠だ。また、長久手市には、市所有以外にも商業施設、県有公園、大学施設などの資源が豊富であり、これらを積極的に活用していかない手はないだろう。

### 3 各回開催結果(ニュースレター)

### 3 各回開催結果(ニュースレター)

このワーキングの各回の様子や流れとともに、詳細結果をニュースレターにまとめて参加者はじめ市民の皆様にお伝えしてきましたので、参考に掲載します。

(添付資料)

・ニュースレター(第1回～第5回)

# 第1回公共施設のあり方検討市民ワーキングを開催



News Letter No.1  
 長久手市総務部財政課  
 2017年8月26日(土)  
 13:00～16:00  
 @西庁舎 3階研修室  
 【参加：17人】

長久手市の公共施設の現状について、市民の皆さんに知ってもらい、今後の有効活用などについて一緒に考えてくため、「第1回公共施設のあり方検討市民ワーキング」を開催しました。

これから各回ファシリテーターを務めていただく、公共施設マネジメントの第一人者として多くの実績がある名古屋大学大学院工学研究科准教授の恒川和久先生と財政課職員から、公共施設に関するレクチャーを行った後、皆さんで「長久手市はどんな場所？」をテーマに話し合いました。長久手市の良いところ、悪いところなどたくさんの意見が出て、これらを基に、今後はより具体的な検討に入っていきます。

## ■公共施設に関するレクチャー(恒川先生、市財政課)

恒川先生から、施設の老朽化、人口減・少子高齢化、厳しい財政状況など公共施設を取り巻く全国的な問題点や、これらに対する国の動向、公共施設マネジメントにおいてこのワークショップへの期待などのレクチャーを実施。本市は、比較的近年に見られる人口増加に伴い、全国的なピークから少し遅れて公共施設の建設を進めてきたために、比較的施設の老朽化が進んでおらず、**人も施設も若いまちであり、差し迫った状況ではない今のうちから市の施設に関する方向性をじっくり検討できるのは有益である**との分析結果も示していただきました。その後、市の担当者から本市の人口や人口構造の変化、市の策定した公共施設等総合管理計画の中身などについて説明を行いました。その中で、本市の施設は比較的若いとはいえ、今後数年間では学校施設、子育て関連施設などの施設需要や、老朽化した市役所庁舎の建設等、**喫緊の課題もあること**など、留意点にも言及がありました。

- (恒川先生のコメント)
  - 市の1人あたりの用途別施設面積を見てみると、公営住宅がなく、かわりに**医療保健施設(福祉の家など)、文化施設(文化の家)、図書館などの面積が大きい**ようだ。
  - 小学校区別に見ると面積としてはバランスがよいが、主要道やリニモ沿線には比較的少ない。しかし、**大学、博物館、モリコロパーク、商業施設など市有以外の施設が充実しているのも特徴だ。**
  - アンケート結果によれば、公共施設の利用率は全体的に低い。
- (財政課のコメント)
  - 人口減少社会に反し、長久手市は人口が伸びていて今後も一定の施設需要がある中、更に、老朽施設の更新についても考えていかなければならない。
  - 施設の更新にあたっては、例えば**文化の家などの施設の更新費用を短期間で調達することは困難**であり、市全体の公共施設や財政状況を踏まえて年度間の負担の平準化などよく検討しなければならない。
  - 各小学校区で地域共生ステーションの整備も進んでいる。

## グループワークの様子



恒川先生の進行により、5つのルール

- ①人の意見は最後までよく聞く
- ②思いついたことは言う
- ③否定しない
- ④全員が意見を出す
- ⑤その場を楽しむ

を守り、各テーブルでテーマ「**長久手市はどんな場所？**」について、**良いところ、悪いところ**などを考えてもらいました。ワーキングには、名古屋大学の学生さんたちにも協力していただきました！！

### <プログラム>

- 13:00 あいさつ
- 13:10 レクチャー①  
「公共施設を取り巻く現状について」  
／名古屋大学大学院 恒川准教授
- 13:40 レクチャー②  
「長久手市の公共施設等について」  
／長久手市財政課長補佐兼財政係長
- 14:00 質疑・応答
- ☆グループワーク☆
- 14:25 自己紹介
- 14:40 グループごとに話し合い  
テーマ:「長久手市はどんな場所？」
- 15:40 成果発表・講評
- 15:55 次回案内



住みやすい、緑が多い、若いまち...

交通渋滞、駐車場問題、地域のつながりが薄い...



## ■ グループワーク結果～長久手市ってこんな場所～



### (Aグループ)

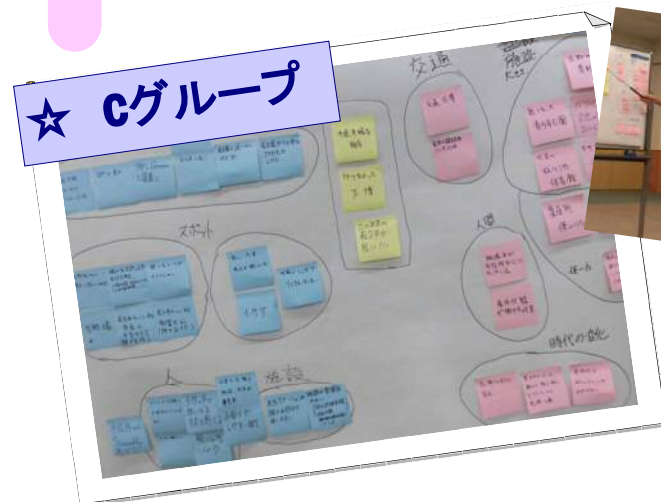
「旧住民は、繋がり、伝統も多く残るまちとも言えるが、新住民が多く、繋がりが総じて希薄。」  
 「若者が多く活気があり、学童、放課後児童クラブ、児童館など子育て施設の充実を図っている。」  
 「通学路など歩道が狭く、商業施設ができてから交通渋滞も発生しており、道路の整備も課題。」  
 「文化の家、福祉の家、図書館など、立派な公共施設がある。」

### (Bグループ)

「公園もたくさんあって、緑が多いまち。」  
 「商業施設もたくさんあり、20分以内の移動で生活ができる、住みやすいまち。」  
 「地域でのまとまりが薄く、集まろうにも参加者が少ない。」  
 「車社会で、歩いて移動するには限界がある。」  
 「近年急速に商業施設など乱開発が進んでいてなんだか心配だ。」

### (Cグループ)

「名古屋市に近くて便利。」  
 「モリコロパーク、文化の家、博物館、古戦場、ござらっせなど遊べる場所がたくさんある。」  
 「子供の声が聞こえ、未来を感じるまち」  
 「市役所の人フレンドリー。」  
 「大きすぎる文化の家が負担にならないか心配！」  
 「集会所が使いづらい！」



### <主なQ&A>

- Q 施設の更新を検討するにあたり、減価償却費などは考えられているのですか。  
 A 現状の全国一般的な自治体会計では今まで考えられていませんでしたが、新しい公会計基準でこれから考慮していくこととなります。
- Q 市有でなく地域所有の集会所などは、このワーキングの検討対象ですか。  
 A 市の総合管理計画の対象外ではありますが、今後の施設のあり方を広く考えていく上では一緒に検討していただきたいです。
- Q 老朽化した施設などについて、耐震化したらどのくらいもつのでしょうか。また、市の公共施設は耐震基準をクリアしていますか。  
 A 本市の公共施設は、公園のトイレなどの一部を除いてほぼ全て耐震化が完了しています。ただし、耐震化したからといって、延命したことにはならないのです。
- Q 長久手は施設も人も若く、これから人口が変わっていく中で、どのような点に着目して考察すべきでしょうか。  
**A そういったことこそ、ワーキングでは是非皆さんと一緒に考えていきたいのです！！**

- グループワークを通じて、長久手の特徴が見えてきました！！
- 今後は、更に深く市の公共施設について考えていきます。
- 次回は、実際に市のさまざまな公共施設をバスで回って見てもらいます。意外と知らない、行ったことのない公共施設もあるかもしれません。実際に現場に足を運んでいただいた上で、その後公共施設の課題を洗い出し、どうすべきかまで皆さんと一緒にこれから考えていただきます。各回の参加もOKですが、**第2回については先着定員35人**となっていますので、是非お知り合いなどお誘いの上、財政課までお申し込みをよろしくお願い致します！！

## 次回案内 ★ 第2回 公共施設を見に行こう ★

9月24日(日)午前9時 市役所正面玄関前集合(正午終了予定)

※事前申込み制。定員35人。お申し込みは、総務部財政課まで



# 第2回 公共施設のあり方検討市民ワーキング

～公共施設を見に行こう～  
が開催されました

News Letter No. 2  
長久手市総務部財政課

2017年9月24日(日)  
9:00～12:00  
【参加: 11人】



## (本日の視察先)

老人憩の家さつき荘

農村環境改善センター

(車窓から)  
市民野球場／市民テニスコート／  
給食センター／長久手中学校

まちづくりセンター

長配三丁目集会所

枳ヶ池体育館

西小学校区共生ステーション

文化の家

## まずは現場を知るべし！

公共施設のことを考える上で、現状を知るとはとても大切なこと。第1回は市から公共施設の現状などについてレクチャーを受け、今回は市のバスに乗って、市内の様々な公共施設を実際に見て、参加したみなさんと意見交換を行いました。



憩の家は、どんな人が使っていて、誰が管理しているの？

地域の高齢者が集う場として、シニアクラブが管理しているんだよ。

改善センターにははじめて来たけど、意外とたくさんの貸し部屋があるんだな。多目的室などは、結構利用されているみたいだ。

枳ヶ池体育館ももう築30年が経過していて、少しずつ老朽化も目立ってきているんですよ。



地域共生ステーションは、地域の人たちが気軽に何気なく来られる居場所として、各校区にある施設を有効利用するなどして整備していくんだ。



文化の家は「ハシ」と「ケ」(非日常と日常)をテーマとして作られた、長久手市最大級の公共施設で、市内外の多くのおみなさんが利用しています。

久しぶりに来たけど、改めて見ると立派な施設だ！確かに、施設の利用率はとても高いようだ。

## 今日、気づいたことをみんなで共有しました！



ワーキングファシリテーター  
名古屋大学大学院  
工学研究科 恒川 和久  
准教授

なるほど、と思うような鋭い意見もたくさん出ましたね。前回、今回を踏まえて、次回から「具体的な重要課題」を抽出していきましょう！

- ★長年住んでいるが初めて訪れる施設もあった。昔から知っている施設もずいぶん古くなったという印象も。
- ★小規模施設は利用率が低く、規模が大きい施設は一定の利用率があるようだ。
- ★施設の整備に当たっては財源の問題も考えなくてはならないだろうから、公共でなく民間にできるものは民間に任せたり、ある程度集約化を図っていくことも重要だ。
- ★集会所は地域の担当者が鍵の管理をしているようなのでいつでも入れる訳ではなく、使い勝手に課題がある。
- ★今日回った中でもたくさんの集会所があった。集会所はいつもは空いていないし大人数で集まるには狭く、駐車場もあまりない。老人憩の家はシニアの方しか利用できない。共生ステーションやまちづくりセンターのような施設のほうが、利便性が高そう。
- ★施設は点在しているよりも、集中していたほうが管理の面でも効率的。
- ★できるだけ新しい施設を作るのではなくリノベーションを。その際は、環境負荷に配慮し、CO2削減を。
- ★アクセスの点を考えれば、公共施設は一定の駐車場を確保するか、または、リノモなどの駅周辺に設置されるのが望ましい。
- ★これからは、民間にはできない真に公共が担うべき機能を考える必要がある。
- ★人口減少を見据え、施設を余計に作りすぎず、今あるものを有効活用すべき。
- ★全ての公共施設の空き状況を一括して検索、予約などができるような仕組みがあれば、利用率も上がるかも。

## 次回以降のワーキングのご案内

第3回 平成29年10月14日(土) 13:30～16:30 市役所西庁舎3階 研修室

第4回 平成29年11月11日(土) 13:30～16:30 まちづくりセンター2階 集会室1

第5回 平成29年11月26日(日) 13:30～16:30 まちづくりセンター2階 集会室1

※事前申込み不要。各回のみ参加も可能ですので、奮って御参加ください!!!





# 第3回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年10月14日(土) 13:30~16:30 【参加：18人】

## ★ 公共施設の種類ごとにみんなで課題を抽出しました



公共施設の老朽化が全国的に問題となっています。長久手市では、今後各個別の施設の維持・更新などを考えていく上で、その基本的な考え方を示した「**公共施設等総合管理計画**」を、**市民の意見も踏まえて更新**していく取組みを進めているところです。

第1回は公共施設を取り巻く現状など市からの説明を受け、第2回は実際に市内の様々な公共施設の現場を巡りました。

### 《プログラム》

- あいさつ 13:30
- これまでの振り返り 13:35
- グループワーク① 14:00
- 『性質別施設の分類』
- グループワーク② 15:10
- 『優先検討事項の抽出』
- 結果発表 16:15

今回は、市職員からのこれまでのワーキングの振り返りのあと、**様々な公共施設等を「性質別」に分類**し、それぞれの施設に関して「**本来求められるもの**」、「**現状の課題**」は**何なのか等**を話し合ったので、その結果をお伝えします。

ファシリテーター：  
名古屋大学大学院  
恒川和久准教授



## ★ グループワーク①・②

グループワーク①（公共施設分類）  
みんなで思いつく民間・公共あらゆる施設の名前をふせんに書き、左の図のマップに貼っていく。  
左側に近い…利益性・選択制があり、誰でもというよりは一部の人が利用するような施設  
右側に近い…公益性・必然性があり、公共として持つべき施設  
上側に近い…校区・自治会単位など狭い地域での利用が想定される施設  
下側に近い…市全域・近隣市など広い地域での利用が想定される施設

そういえば、長久手にはこんな施設もあったな！

この施設はどこに位置づけられるかな？  
本当に公共が持つ必要ってあるのかな？

グループワーク②（優先検討事項の抽出）  
グループワーク①で作成したマップの右上の領域から1つ、右下の領域から1つ、議論したい施設を選んで、その施設に「本来求められるもの」と「現状の課題」を洗い出す。

施設類型・施設名（**例**）

《 本来求められるもの 》

気軽に使える

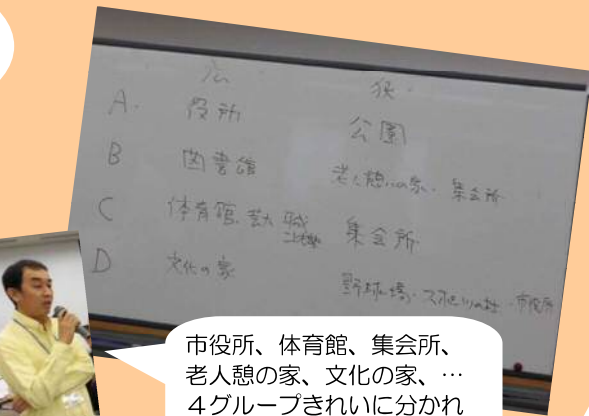
《 現状の課題 》

利用率低い

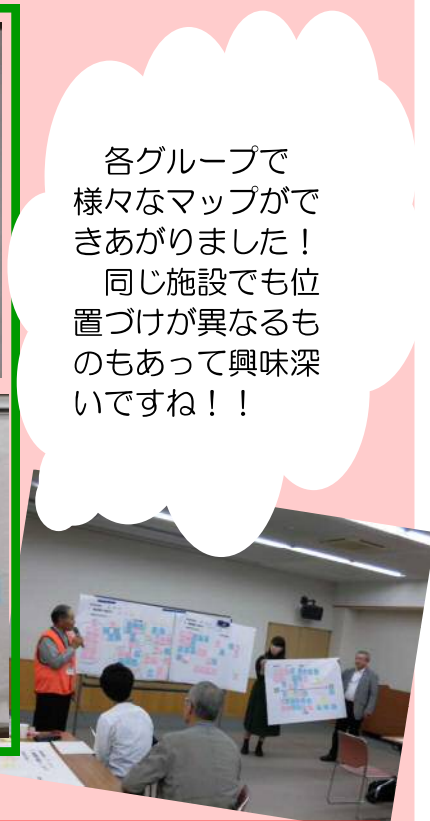
こうあるべきんですけど、この施設、実際はこんな問題が…！！

これらの課題は、一緒に検討できるかもしれないね！

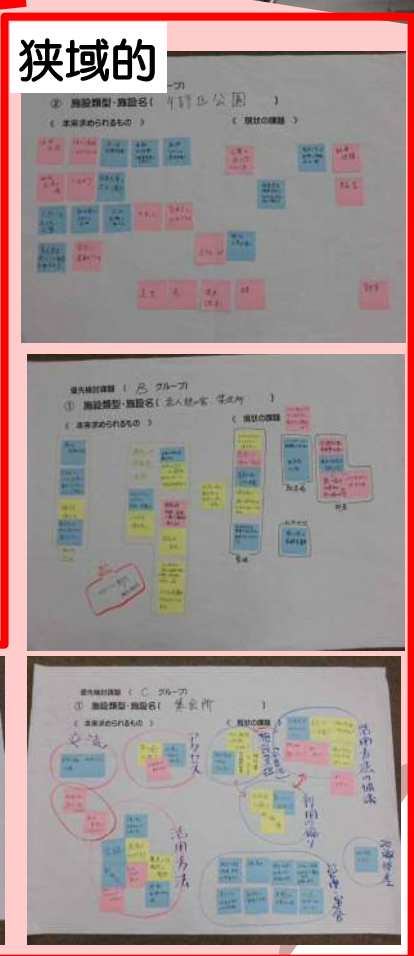
市役所、体育館、集会所、老人憩の家、文化の家、…4グループきれいに分れましたね…。



# ★グループワーク結果



各グループで  
様々なマップが  
できあがりまし  
た！  
同じ施設でも位  
置づけが異なる  
ものもあって興  
味深いですね！！



いろいろな施設ご  
とにみんなで課題  
を考えると、  
そこには**いくつか  
の共通する要素**  
が見いだせそう  
ですね！

グループ	広域的な施設		狭域的な施設	
	本来求められるもの	現状の課題	本来求められるもの	現状の課題
A	<b>市役所</b>		<b>街区公園</b>	
	戸籍、税、健康保険などの窓口業務	今後の少子高齢人口減少減収社会を考慮した自治体の再編	いつでも気軽に使える	騒音
	建物が高齢であること	市役所業務が拡大している	体を動かす(金スポーツ)(金高齢者)	雑草
	住民の安心安全	縦割りの行政で、横の連携が弱い	美観(水場、芝生、花、緑)	駐車場が足りない
	職員を運行する人材	各種サービスのワンストップ化(利便性向上)	高齢者にとっては、家からすぐ近くにあるとよい	高齢者にとっては、家からすぐ近くにあるとよい
B	<b>図書館</b>		<b>老人憩の家・集会所</b>	
	本の貸し借り	市の図書館をほとんど利用していない	歩いて行ける	騒がかかっていて、使い勝手が悪い
	文化的にリードする存在	飲食スペースの充実	若者男女でも使える	管理や許可の主体が分かっていない
	歴史的文献の保存	駐車場が足りない	高齢にいつでも使える	バリアフリーが不十分
	勉強する場所	移動図書館があってもいい	多様性	駐車場が足りない
C	<b>秋ヶ池体育館</b>		<b>集会所</b>	
	市民の健康増進・体力向上	今後数十年維持可能性	交流の場	維持管理の負担(家内など)
	交流の場	公営全体を利用したイベントの充実(マルシェなど)	比較的家の近くにある	一部の人が利用していない(若い人の利用が少ない)
	スポーツの盛衰	駐車場が足りない	会議する場所	使い方が分からない
	気軽に使える	休館期間やプールがない	勉強する場所	何のために使う施設か分からない
D	<b>文化の家</b>		<b>野球場・スポーツの杜</b>	
	市民が文化活動を行う場(練習、発表)	利用料金が安いから	スポーツをする場	予約がいっぱいでなかなか利用できない
	市民が文化芸術を楽しむ場(鑑賞)	維持コストが重くなる	スポーツをする場	空いているとき予約なしでも利用できない
	市の文化行政推進の場	市民全体というより、一部(プロ)の利用が多い	市民が気軽に体を動かす場	立地的に交通の便が悪い
	市の顔(式典会場などでも使用できる)	予約がいっぱいでなかなか利用できない	交流の場	観客の充実

これらを踏まえて、今後公共施設全体の総合的な整備・更新・管理・運営にあたって、どんな点に留意していったらいいの  
か、みんなでじっくり考えて、**長久手市の「公共施設等総合管理計画」**に提案を出してみよう！！

## 【次回以降のご案内】

- 第4回(11月11日)  
課題に対する提案
- ↓
- 第5回(11月26日)  
総まとめ(結論)

**【第4回】 11月11日(土)**  
**【第5回】 11月26日(日)**  
いずれも13:30から16:30まで  
会場：**まちづくりセンター2階 集会室1**

いつも参加している方も、はじめての方も、みんなで一緒に考えましょう！！

# 第4回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年11月11日(土) 13:30~16:30 【参加：19人】

## ★ 公共施設の基本方針について考えました

市のあらゆる公共施設の全体的な方針についてみんなで考える「公共施設のあり方検討市民ワーキング」もいよいよ後半戦に！！

今回（第4回）は、前回話し合った、「市の公共施設は、本来どうあるべきで、今何が問題なのか？」ということについて、その意見を基に、4つのテーマごとに「では、その課題についてどうしたらよいのか」ということをみなさんで考えました。各グループで白熱した議論も展開され、ワーキングは佳境へと向かっていきます！



《プログラム》	
あいさつ	13:30
振り返り	13:35
グループワーク	14:00
『市民が考える公共施設の基本方針』	
結果発表	16:00



## ★ グループワークの内容

市は、こう考えていますが...



本市の公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

**基本方針1** 誰もが安全で安心して使用できる公共施設等を目指します。  
耐震化や、老朽化対応、バリアフリー化の推進等により、誰もが安全で安心して使用できる公共施設等を目指します。

**基本方針2** 公共施設の更新時に機能の複合化を前提に検討するとともに、公民連携の促進や、広域連携などにより、トータルコストを縮減します。  
長期間のライフサイクルコストを考慮した施設の維持管理を行うとともに、公共施設の更新時に機能の必要性を勘案のうえ、複合化を前提に検討するほか、公民連携等による施設管理、広域連携による施設運用を行うなど、新たな手法を検討することにより、トータルコストの縮減を目指します。

**基本方針3** 将来計画に基づき、財政負担を平準化し、計画的に基金を積み立てます。  
公共施設等の将来にわたる更新等に必要とされる金額を推計し、長寿命化等により財政負担を平準化するとともに、財源不足が生じないよう、基金の積立てや起債の発行などを計画的に行います。

市は、総合管理計画において「公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針」を定めていますが、前回の結果から事務局と恒川ゼミで検討し、抽出した4つのテーマごとに、「市民が考える基本方針」を作る場合、そのタイトルと内容について、各グループで議論しました。

SAMPLE

市民が考える基本方針

基本方針2 [アクセス・立地]

タイトル

広域・狭域で考える市の拠点	アクセス・立地
4つのテーマごとに長久手の公共施設について考えよう！	
施設の有効利用 (利便性・効率性・多様性)	老朽化・庁外連携



ファシリテーター:  
名古屋大学大学院  
恒川和久准教授

## ★グループワーク結果

これからの時代、将来の負担となるような新しいハコモノは作らないほうがよいのではないですか？

Nピアみたいに民間施設をうまく間借りして、行政サービスを提供することもできるなら、老朽化した全ての公共施設を更新しようとしなくてもよいのでは？

各グループでテーマを決めて2~4つ、計10個の基本方針について話し合ったところ、同じテーマでも結果やまとめ方は様々、中には対象的なものも…。最終的にどうまとまっていくのか楽しみ！

## 市民が考える基本方針案（公共施設に関する提案）

基本方針1	【広域・狭域で考える市の拠点】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体の拠点から地域の拠点へ —市民中心の将来の拠点づくり—</li> <li>・現在の市役所の広域拠点化による長久手の中心部形成</li> </ul>	
基本方針2	【アクセス・立地】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近場の施設の共用</li> <li>・広域施設は公共交通、狭域施設は徒歩圏内</li> </ul>	
基本方針3	【施設の有効利用（利便性・効率性・多様性）】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・知って・見て・使う</li> <li>・その施設は、その使い方で合ってる？</li> <li>・小規模多機能な集会所にする</li> </ul>	
基本方針4	【老朽化・庁外連携】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な施設は建て替え、他で使える施設は一緒に使おう</li> <li>・杵ヶ池体育館の杵ヶ池公園と一体化した整備</li> <li>・既存施設をテナント化、行政機能を民間施設へ</li> </ul>	



FMを考える上で非常に重要な論点、思いもよらなかった意見など、今日も幅広い提案が出ました。次回はいよいよ最終回。今までの議論を踏まえて、皆さんの手でこのワーキングの成果を作り上げましょう！

## 【次回ご案内】

第5回（11月26日）

総まとめ（結論）

【最終回】

13:30から16:30まで

会場：まちづくりセンター2階 集会室1

いよいよ千秋楽！初めての方、いつもの方、久しぶりの方、みんなでこのワーキングの成果を作り上げよう！！

## 第5回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年11月26日(日) 13:30~16:30 【参加：23人】

### ★「公共施設に関する提言」を作成しました！

8月から開催している公共施設のあり方検討市民ワーキングもついに今回で最終回！これまで全5回にわたり展開された幅広い議論を、参加した市民全員の手でまとめあげていく作業は至難を極め、みなさんの市や公共施設に対する熱い想いが飛び交って、ワーキングの盛り上がりも最高潮に達しました！！

これまでのように意見をただ言い合うだけでなく、参加者全員が提案をまとめることをしっかりと意識して真剣に取り組む姿、会場全体の雰囲気は、まさに「市民参加のまちづくり」の現場そのものでした！

#### 《プログラム》

あいさつと振り返り	13:30
グループワーク①	13:45
提言内容案の検証	
グループワーク②	15:00
公共施設に関する提言の作成	
結果発表・総評	16:10
お礼・記念撮影	16:25



### ★ グループワークの内容

前回（第4回）のワーキングで、市が考える「公共施設に関する基本方針」に倣い、市民のみなでも考えてみた結果を踏まえ、名古屋大学恒川ゼミの学生と事務局が4つのテーマを再編し、素案として作成。前半のワーキングでは、その4つの素案について、「内容の検証」と、「足りない視点」がないか、知恵を絞って議論しました。



- 広域で考える市の拠点**
  - ・複合化、交通、自治体連携 ...
- 狭域で考える市の拠点**
  - ・機能と立地の整理、施設間連携、気軽に利用できる ...
- 市民の使い勝手の向上**
  - ・施設管理の一元化、利用しやすさ ...
- 施設に対する行政運営**
  - ・施設の整備方針、民間施設の活用、大学の活用 ...



後半は、それぞれ自分の関心があるテーマごとに集まり、これまでの意見をまとめて、「公共施設に関する提言」を作成する作業を行いました。各班それぞれの手法で、これまで出た意見を丁寧に紡ぎながら、公共施設のあり方を考える上で、その論点の核を見いだしていきました。



## ★グループワーク結果

誰もが「ふらっと」「フラット」に使える施設

まちの中心となる大きな施設は、複合化や連携を活かして市民のメリットを最大限に…

公共施設に関する提言  
提言 2 【狭域で考える市の拠点について】

公共施設に関する提言  
提言 3 【市民の使い勝手の向上について】

施設情報の見える化!

公共施設を総合的に管理する組織体制がまず必要だ!!

公共施設に関する提言  
提言 4 【施設に対する行政運営について】

全施設を計画的、総合的に管理する  
市長直属の委員会をつくる

※みなさんが検討したそれぞれの提言内容は、名古屋大学恒川研究室監修のもと最終的にとりまとめ、市公共施設等総合管理計画更新版の作成にあたり、参考意見とさせていただきます。

## ★全てのワーキングを終えて…（総評）

このワーキングを通じて、皆さんが公共施設全体のこと考えるきっかけになっただけでなく、施設ごとの様々な課題や現状をご理解されたと思います。

また、具体的な課題解決については、今後施設ごとに考えていく必要があるでしょう。



（事務局から）

今後みなさんの意見を踏まえて、公共施設等総合管理計画を見直していきますが、次は、具体的に「市役所」にテーマを絞ったワークショップの開催も予定していますので、皆さん積極的にご参加ください。

# おつかれさまでした!

